

《第7期中標津町総合計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



令和5年3月

中標津町総務部政策推進課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
（1）調査の目的	1
（2）調査対象及び調査方法	1
（3）配布数及び回収結果	1
（4）本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
（1）一般町民（18歳以上の町民）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
（1）まちへの愛着度について	5
問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか・	5
（2）今後の定住意向について	7
問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか・	7
（3）住み続けたい主な理由	9
（4）住みたくない主な理由	10
2 まちの取り組みについて	11
問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか・	11
問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか・	12
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか・	15
問7 あなたは町内会に加入していますか・	16
問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じま すか・	19
問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか・	20
問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活 動に参画できていると感じますか・	21
問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り 組みが必要だと思いますか・	24
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操 作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困っ たことがありますか・	25
問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか・	27
問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか・	28
問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか・	29
問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向 についてお尋ねします・	30
問17 町立病院の医療体制に満足していますか・	33

問 1 8 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
問 1 9 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか	35
問 2 0 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いませんか・・・	36
問 2 1 町内での飲食や買い物に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	37
問 2 2 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか・	38
問 2 3 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか・・	39
問 2 4 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていま すか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
問 2 5 日々の生活の中で景観を意識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	41
問 2 6 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
問 2 7 中標津空港利用の利便性に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	43
問 2 8 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか	44
問 2 9 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか・・・・・・・・	45
問 3 0 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか・・・・・・・・	46
問 3 1 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか・・・・・・・・	47
問 3 2 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意 識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	48
問 3 3 3 R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル： 再生使用）をしていますか・・・・・・・・・・・・・・・・	49
問 3 4 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか	50
問 3 5 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足 していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	51
問 3 6 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか・・・・・・・・	52
問 3 7 運動やスポーツに取り組んでいますか・・・・・・・・	53
問 3 8 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか・・・・・・・・	54
問 3 9 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思う ものがありますか・・・・・・・・	55
問 4 0 第7期中標津町総合計画のまちづくりの基本理念について、あなたが 感じる町の達成度合いをお聞かせください・・・・・・・・	56

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述・・・・・・・・	58
（1）自由記述の記入状況・・・・・・・・	58

Ⅳ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第7期中標津町総合計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調査対象 : 18歳以上の町民
- ◆ 抽出法 : 無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
- ◆ 調査方法 : 郵送配付（郵送回答又はインターネット回答）
- ◆ 調査時期 : 令和4年5月～6月
- ◆ 調査区域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配布数 : 1,000票
- ◆ 有効回収数 : 398票
- ◆ 有効回収率 : 39.80%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

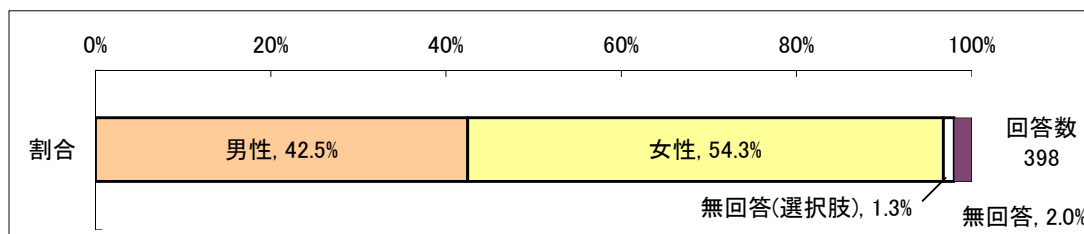
- 比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100％を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数＝〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100％として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般町民（18歳以上の町民）

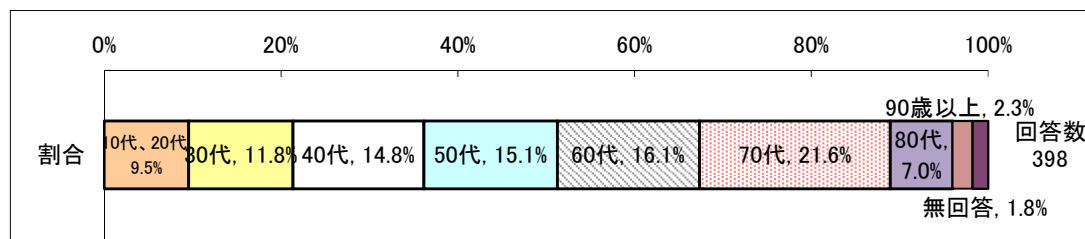
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が169名・42.5%、「女性」が216名・54.3%、「無回答」の選択肢を選んだ方が5名・1.3%となっています。



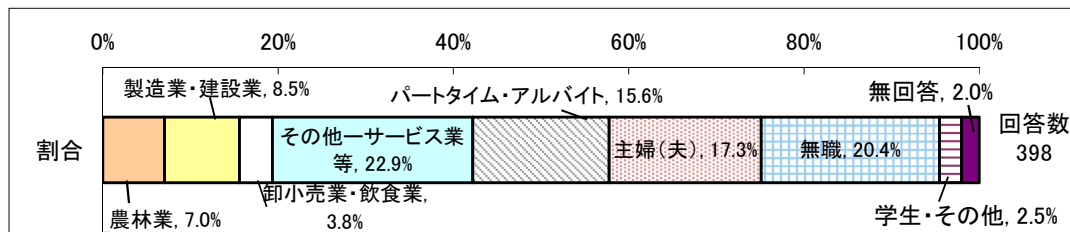
② 年齢

回答者の年齢構成は、「70代」が86名・21.6%で最も多く、次いで「60代」が64名・16.1%、「50代」が60名・15.1%、「40代」が59名・14.8%、「30代」が47名・11.8%、「10代・20代」が38名・9.5%、「80代」が28名・7.0%、「90歳以上」が9名・2.3%の順となっています。



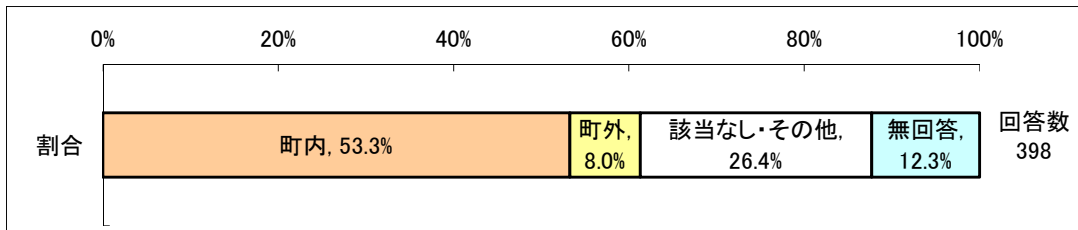
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が91名・22.9%で最も多く、次いで「無職」が81名・20.4%、「主婦（夫）」が69名・17.3%、「パートタイム・アルバイト」が62名・15.6%、「製造業・建設業」が34名・8.5%、「農林業」が28名・7.0%、「卸小売業・飲食業」が15名・3.8%、「学生・その他」が10名・2.5%、「無回答」が8名・2.0%の順となっています。



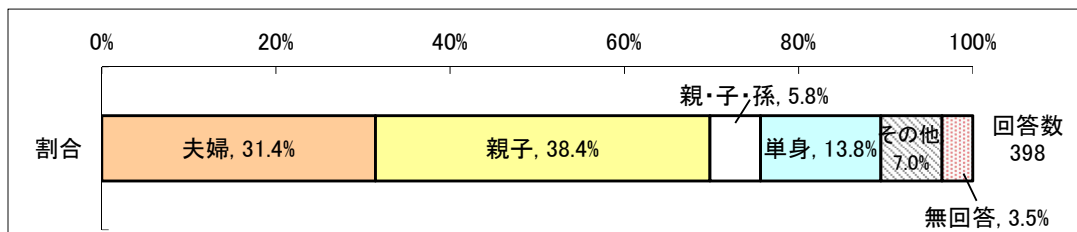
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が212名・53.3%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が105名・26.4%、「無回答」が49名・12.3%、「町外」が32名・8.0%の順となっています。



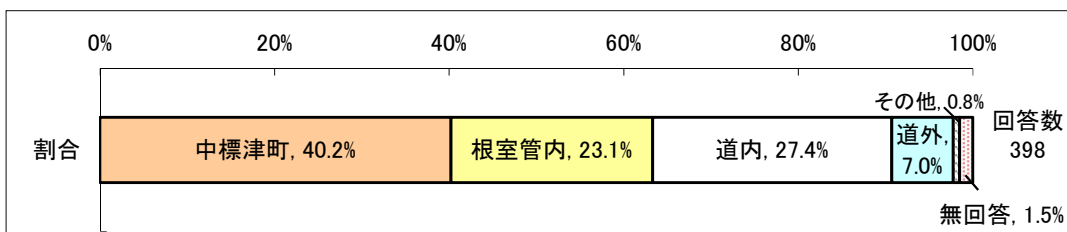
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が153名・38.4%で最も多く、次いで「夫婦」が125名・31.4%、「単身」が55名・13.8%、「その他」が28名・7.0%、「親・子・孫」が23名・5.8%の順となっています。



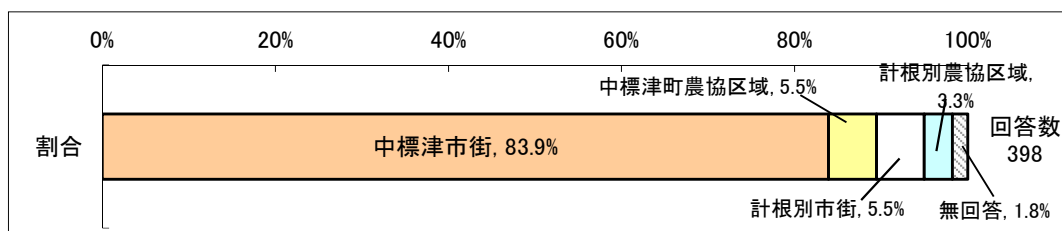
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が160名・40.2%で最も多く、次いで「道内」が109名・27.4%、「根室管内」が92名・23.1%、「道外」が28名・7.0%、「その他」が3名・0.8%の順となっています。



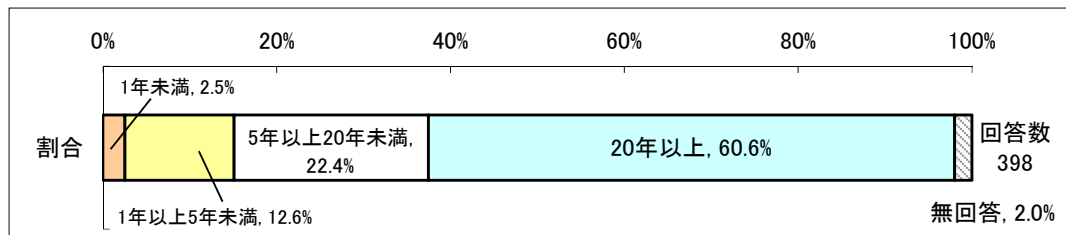
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が334名・83.9%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が22名・5.5%、「計根別市街」が22名・5.5%、「計根別農協区域」が13名・3.3%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が241名・60.6%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が89名・22.4%、「1年以上5年未満」が50名・12.6%、「1年未満」が10名・2.5%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

● “愛着を感じている”が83.7%、“愛着を感じていない”は15.3%。

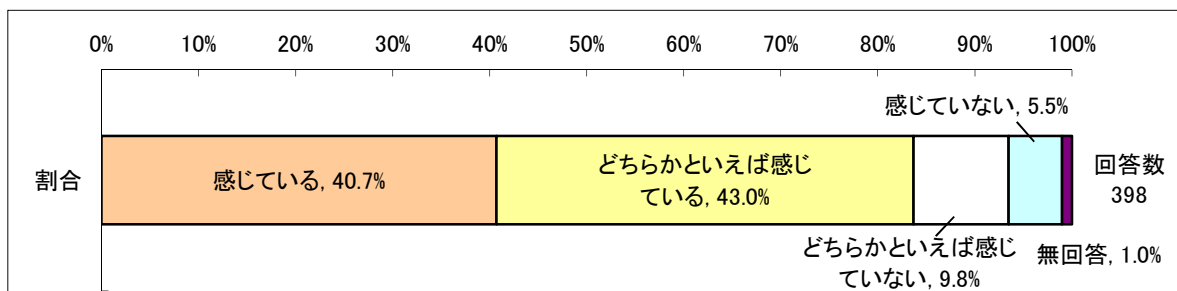
感じている 40.7% どちらかといえば感じている 43.0%	感じていない 5.5% どちらかといえば感じていない 9.8%
------------------------------------	------------------------------------

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

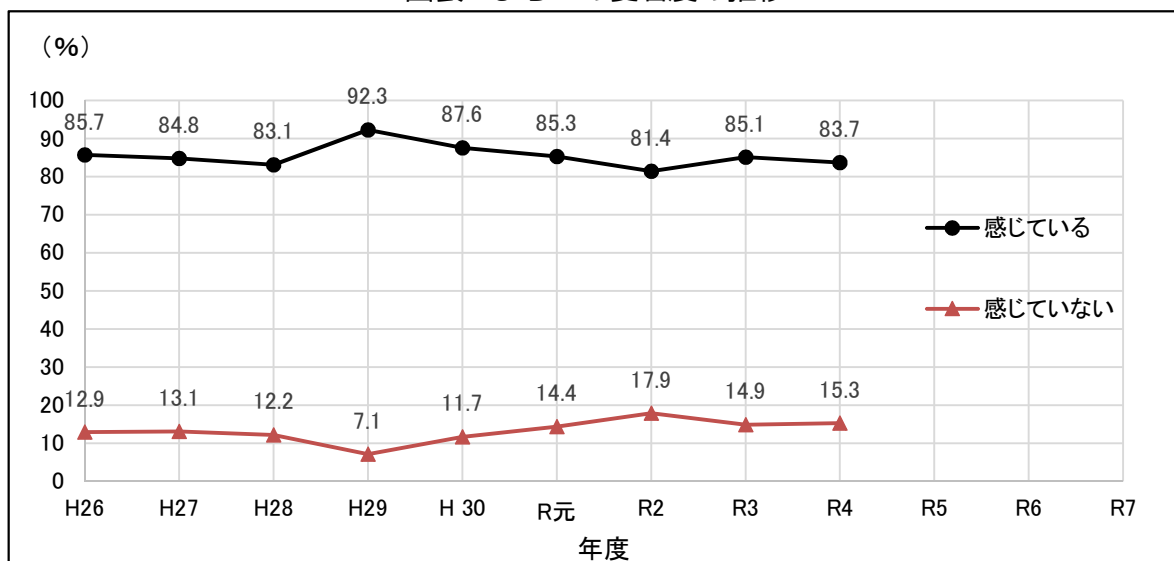
結果として「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“愛着を感じている”人は83.7%となり、総じてまちへの愛着度は高いと言えます。【図表1】

また、これまでの推移をみると“愛着を感じている”人の割合は高い水準で横ばいとなっており、継続して高い愛着度を維持していると言えます。【図表2】

図表1 まちへの愛着度について（全体）



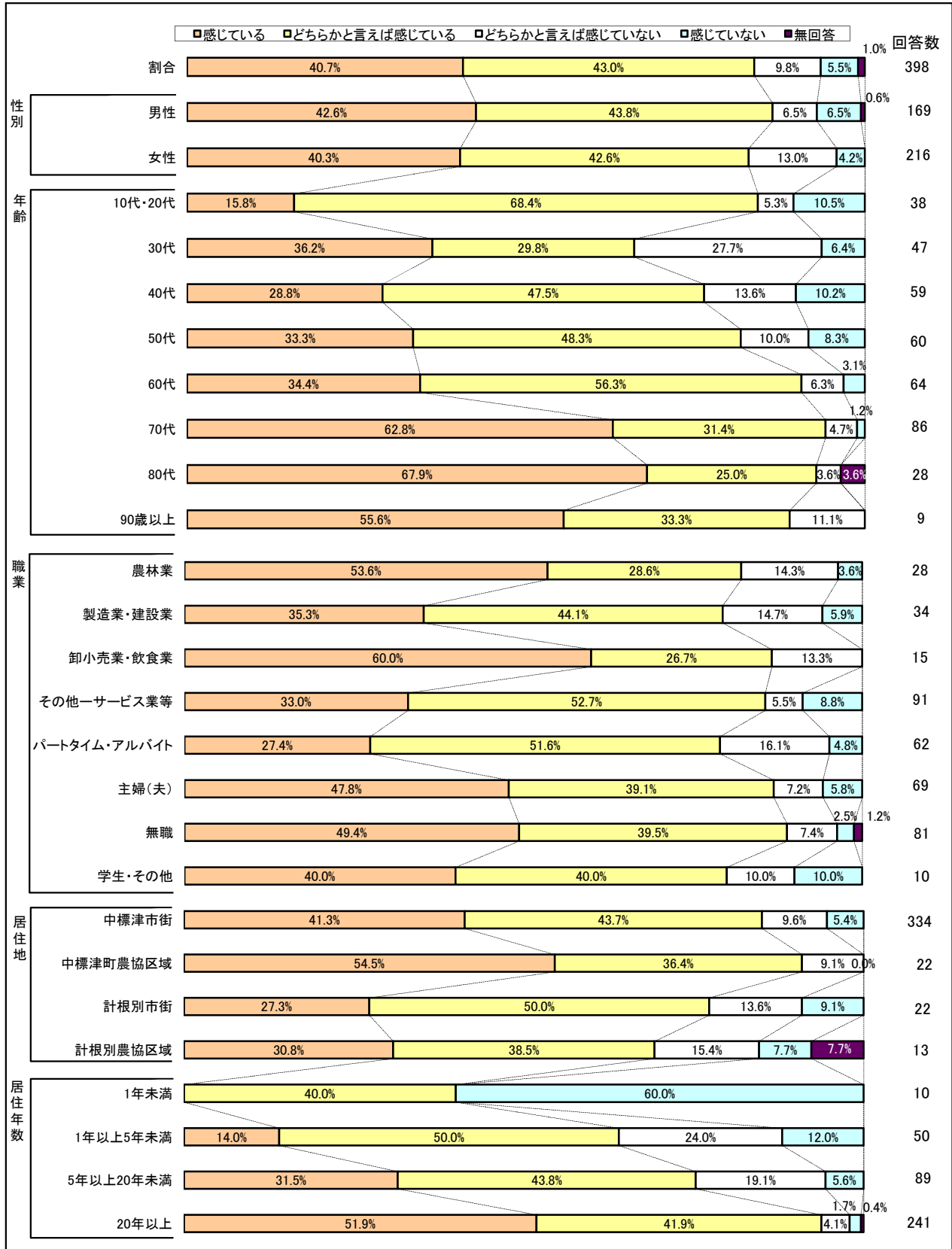
図表2 まちへの愛着度の推移



男女別の“愛着を感じている”割合は男性86.4%、女性82.9%とほぼ同数です。
 年齢別では、70代が94.2%“愛着を感じている”となっていますが、一方で30代では66.0%と低くなっています。

また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにつれて徐々に割合が高くなり、
 居住年数20年以上では93.8%の町民が“愛着を感じている”と回答しています。【図表3】

図表3 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

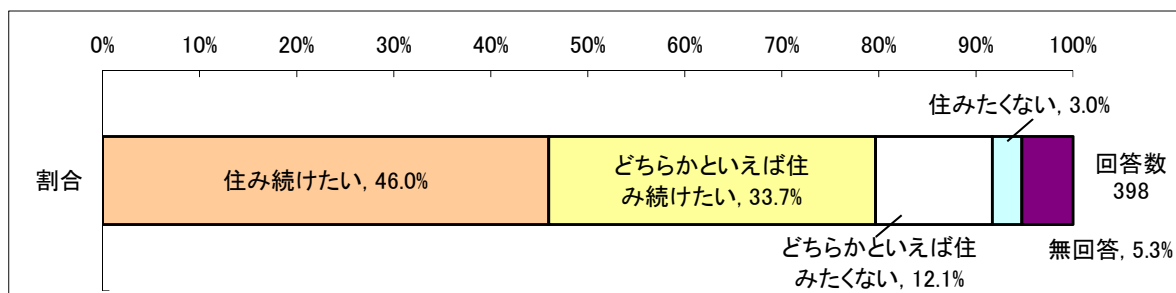
● “住み続けたい”が79.7%、“住みたくない”は15.1%。

住み続けたい 46.0%	住みたくない 3.0%
どちらかといえば住み続けたい 33.7%	どちらかといえば住みたくない 12.1%

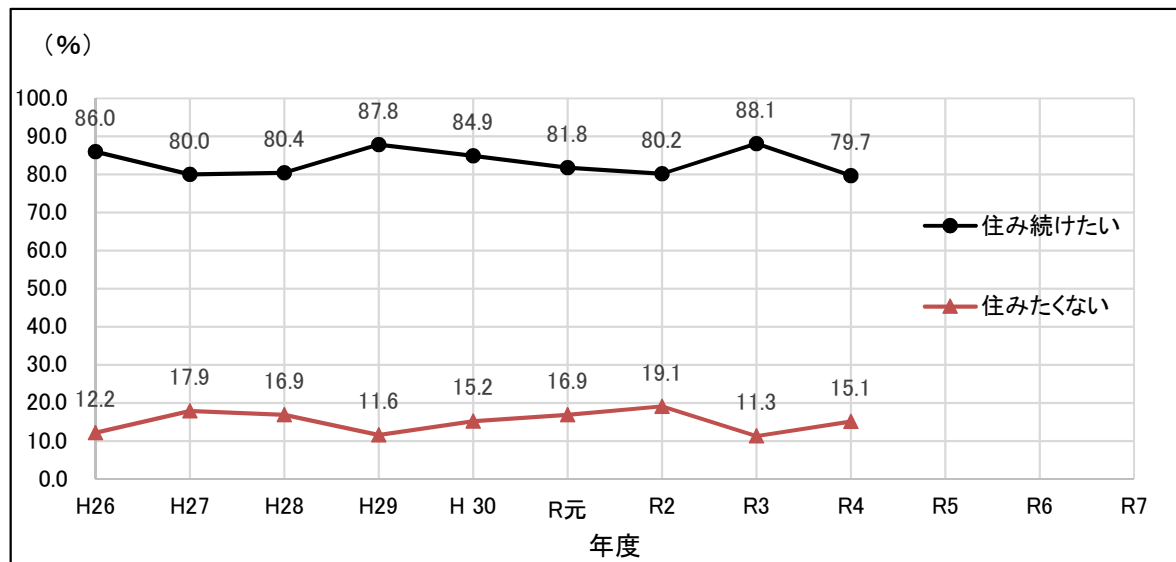
今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が183名・46.0%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（134名・33.7%）をあわせた317名・79.7%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

また、これまでの推移をみると“住み続けたい”人の割合は高い水準で横ばいとなっており、令和3年度は特に高い結果（88.1%）となっていました。【図表5】

図表4 今後の定住意向について（全体）

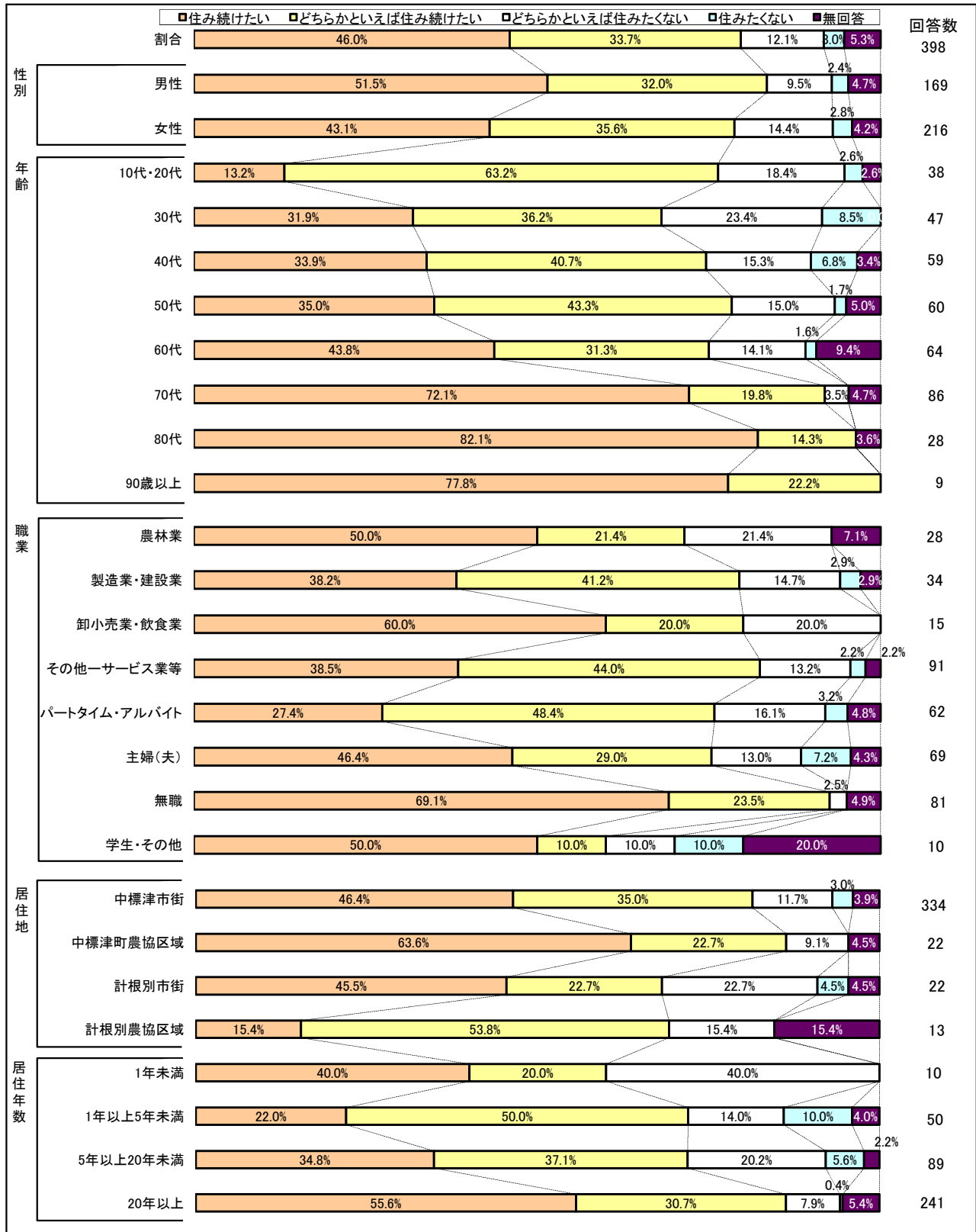


図表5 今後の定住意向の推移



男女別で“住み続けたい”割合は、男性が88.1%、女性が87.6%とほぼ同数です。
 年齢別では、90歳以上の“住み続けたい”割合が、100.0%と最も高い結果となっており、
 一方で30代では“住み続けたい”割合が68.1%と最も低い結果となっています。
 また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにつれて徐々に割合が高くなり、
 居住年数20年以上では86.3%の町民が“住み続けたい”と回答しています。【図表6】

図表6 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



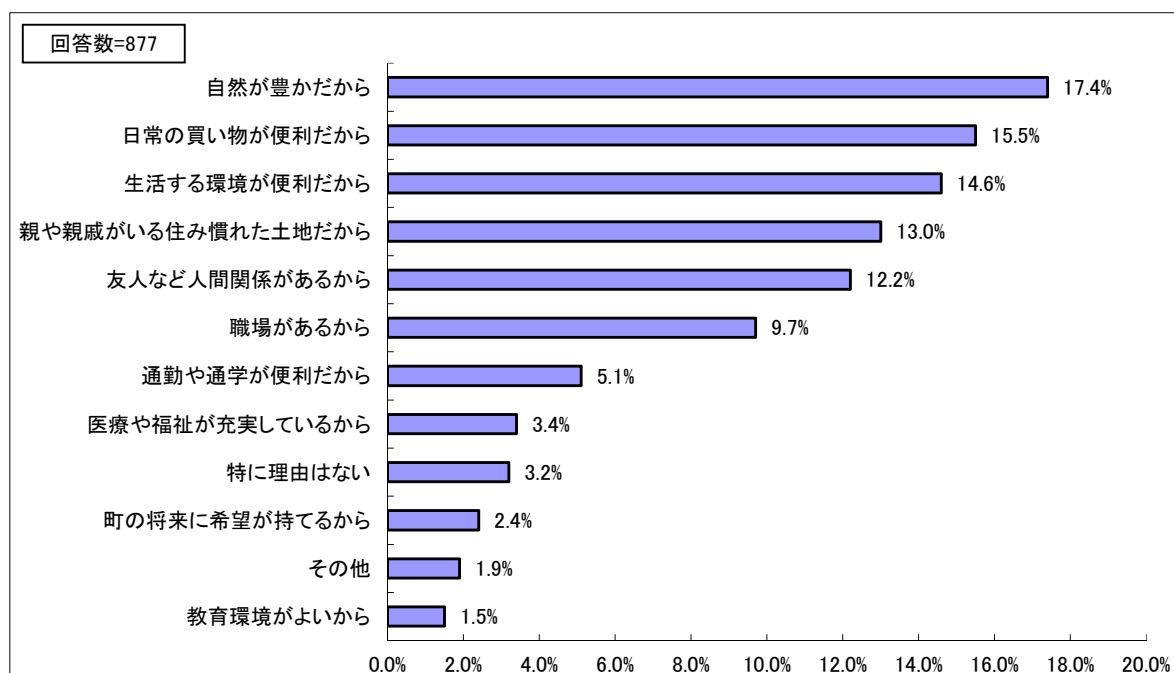
(3) 住み続けたい主な理由

問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。（問3で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を選択した方のみ）【複数回答】

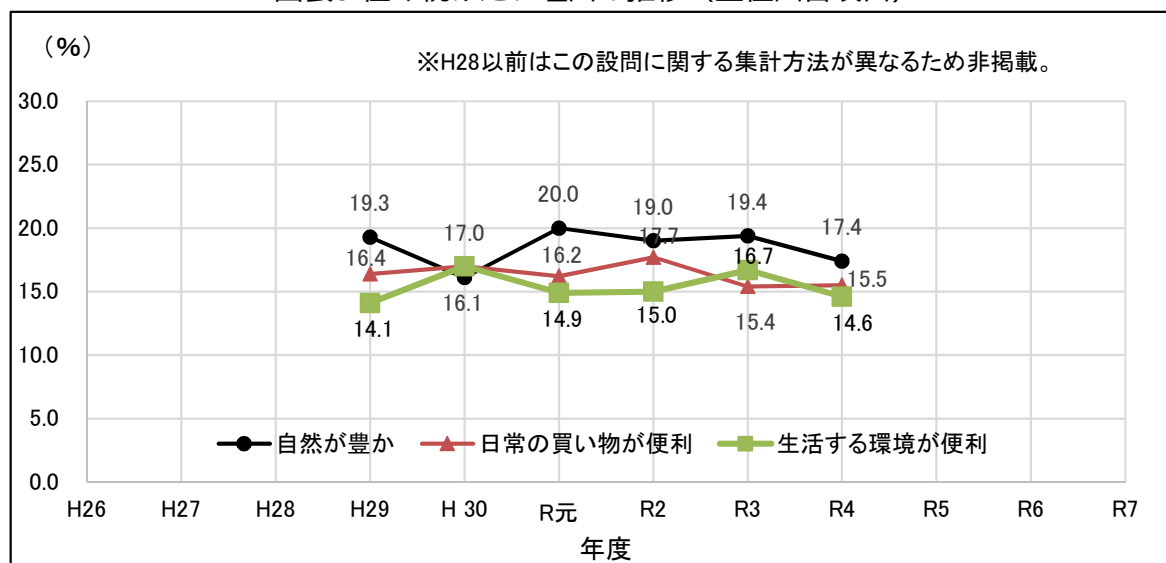
- 「自然が豊かだから」が第1位。次いで「日常の買い物が便利だから」、「生活する環境が便利だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人（全体の79.7%・317名）に理由をたずねたところ、図表7のとおりとなりました。【図表7】

図表7 住み続けたい主な理由（全体／複数回答）



図表8 住み続けたい理由の推移（上位回答項目）



(4) 住みたくない主な理由

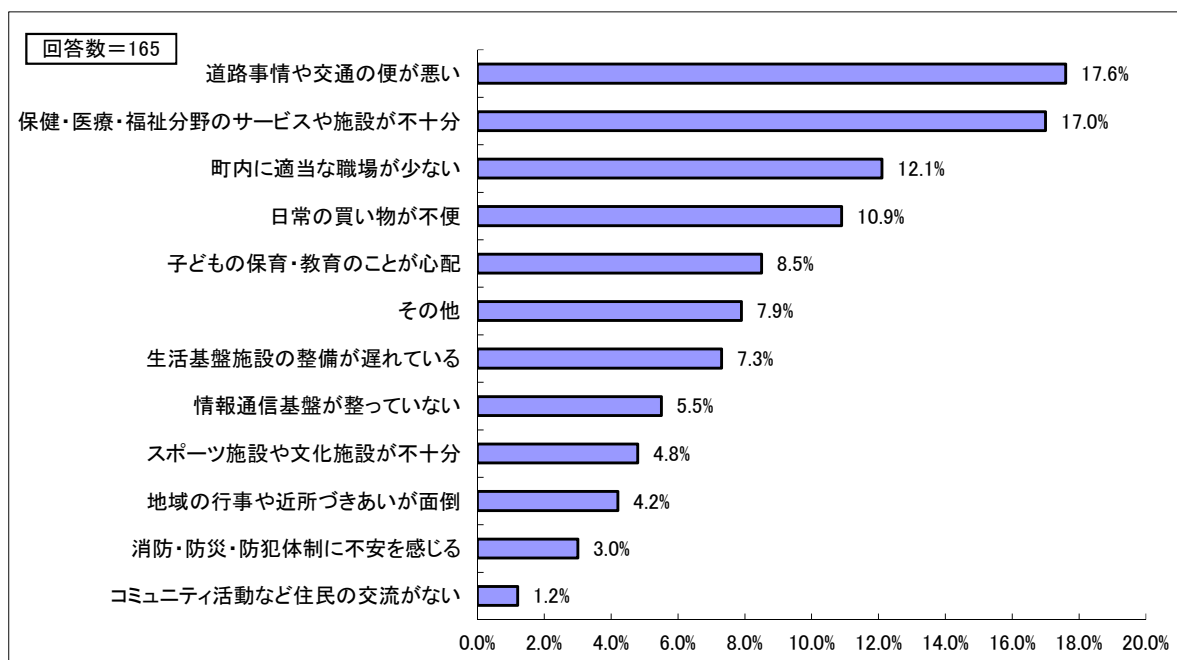
問3-2 住みたくない主な理由は何ですか。（問3で「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「道路事情や交通の便が悪い」が第1位。次いで「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」、「町内に適当な職場が少ない」の順。

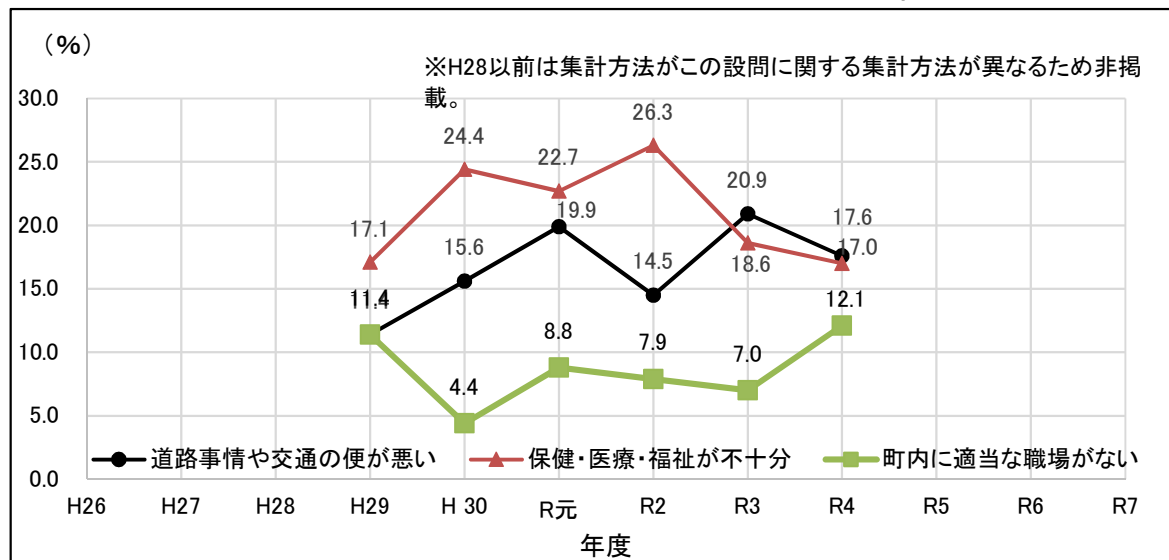
問3で“住みたくない”と回答した人（全体の15.1%・60名）に理由をたずねたところ、図表9のとおりとなりました。【図表9】

また、上位項目のこれまでの推移をみると「保健・医療・福祉が不十分」の割合が減少傾向である一方、「道路事情や交通の便が悪い」「町内に適当な職場がない」の割合は増加傾向にあります。【図表10】

図表9 住みたくない主な理由（全体／複数回答）



図表10 住みたくない理由の推移（上位回答項目）



2 まちの取り組みについて

問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている”が58.6%、“関心を持っていない”が30.7%。

関心を持っている 17.1%
 どちらかといえば関心を持っている 41.5%

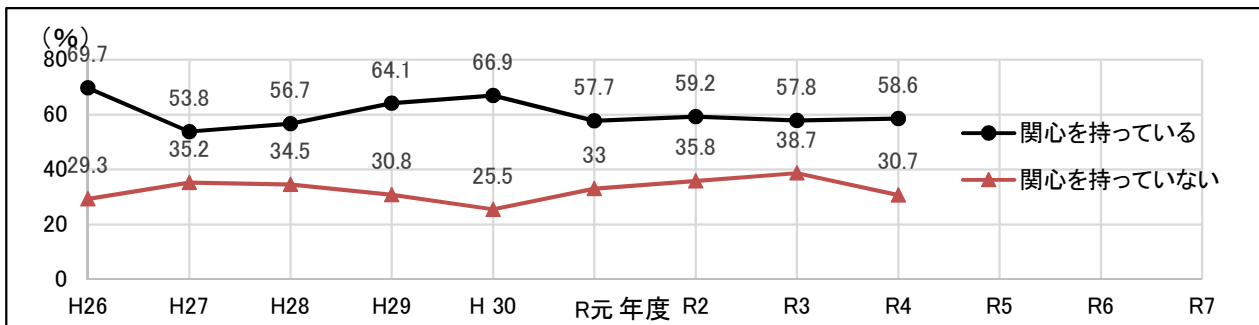
関心を持っていない 10.1%
 どちらかといえば関心を持っていない 20.6%

「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が41.5%で、これに「関心を持っている」(17.1%)をあわせた“関心を持っている”という人が58.6%となりました。

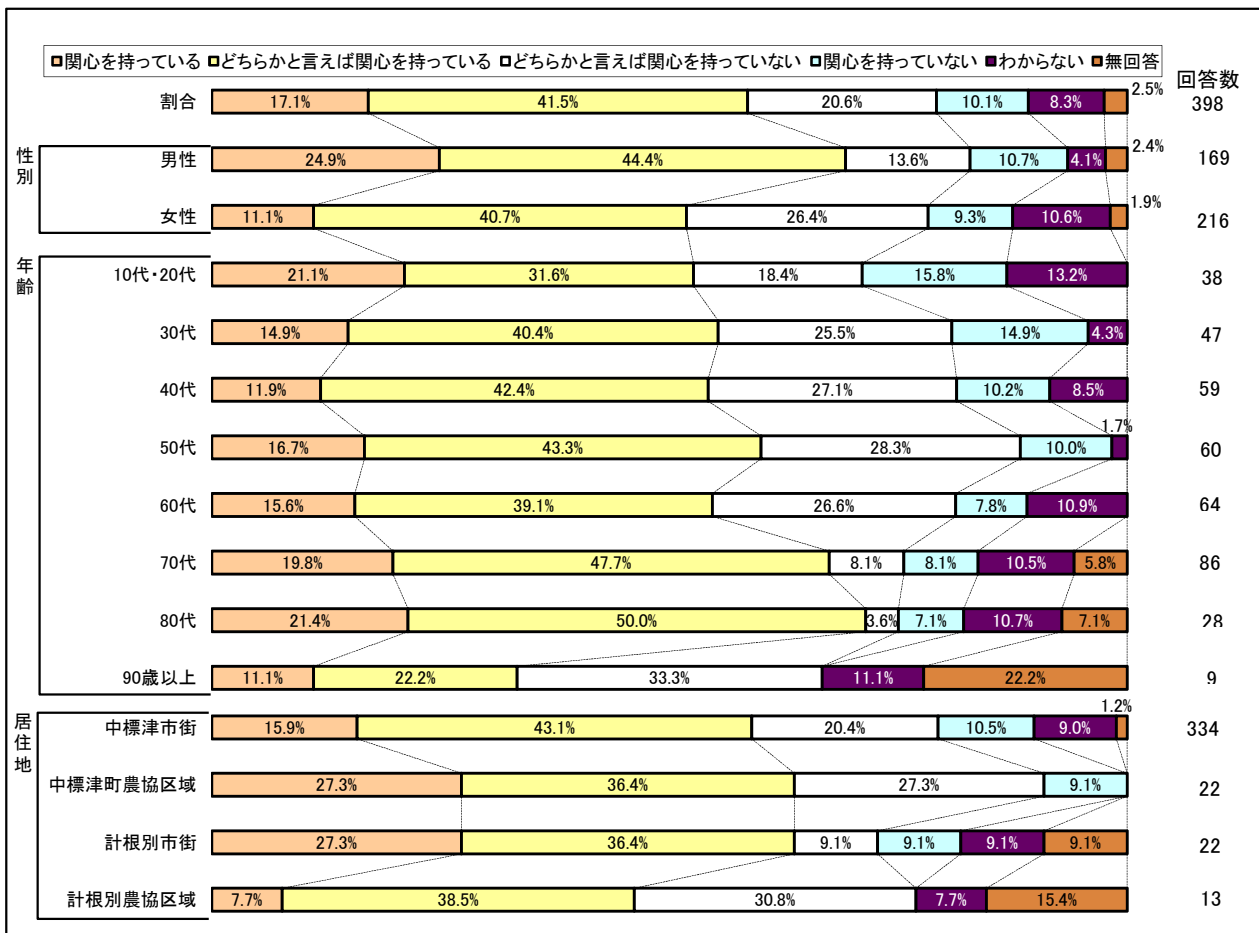
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表11】

男女別では男性（69.3%）が女性（51.8%）よりも関心が高いことが伺えます。【図表12】

図表11 町の計画や取り組みへの関心度の推移



図表12 まちの計画や取り組みへの関心について（全体、性別、年齢、居住地）



問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。



● “そう感じる”が59.1%、“そう感じない”は28.1%。

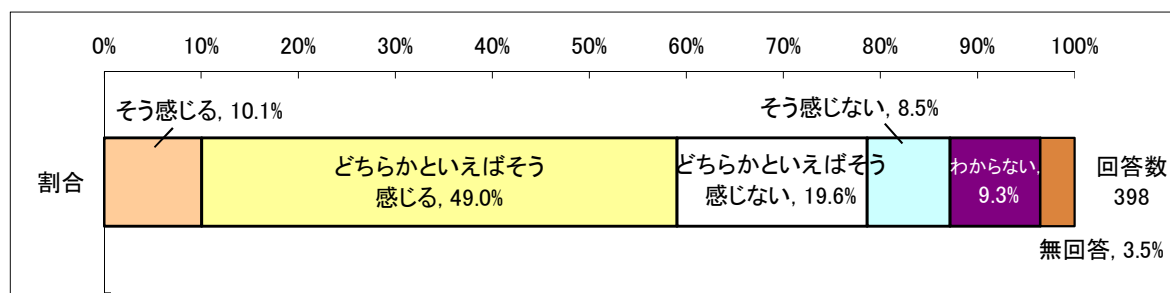
そう感じる 10.1% どちらかといえばそう感じる 49.0%	そう感じない 8.5% どちらかといえばそう感じない 19.6%
------------------------------------	-------------------------------------

町の情報について知りたい情報が得られているかどうかについて「そう感じる」と答えた人が10.1%で、これに「どちらかといえばそう感じる」（49.0%）をあわせた“そう感じる”人は59.1%となりました。

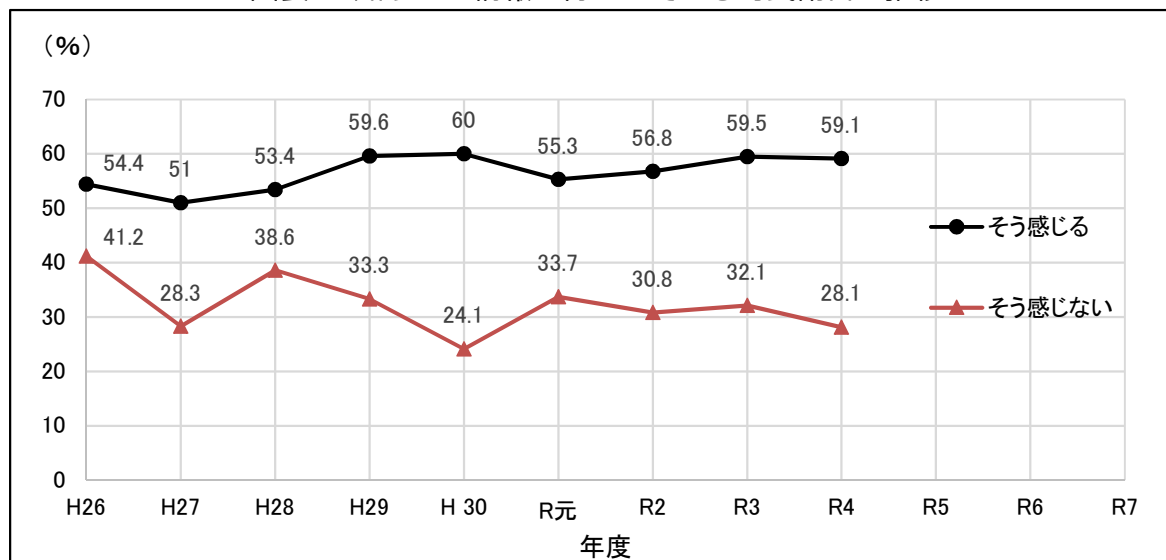
また、これまでの推移をみると“そう感じる”人の割合は概ね横ばいで推移しています。

【図表14】

図表13 知りたい情報が得られているか（全体）



図表14 知りたい情報が得られている町民割合の推移

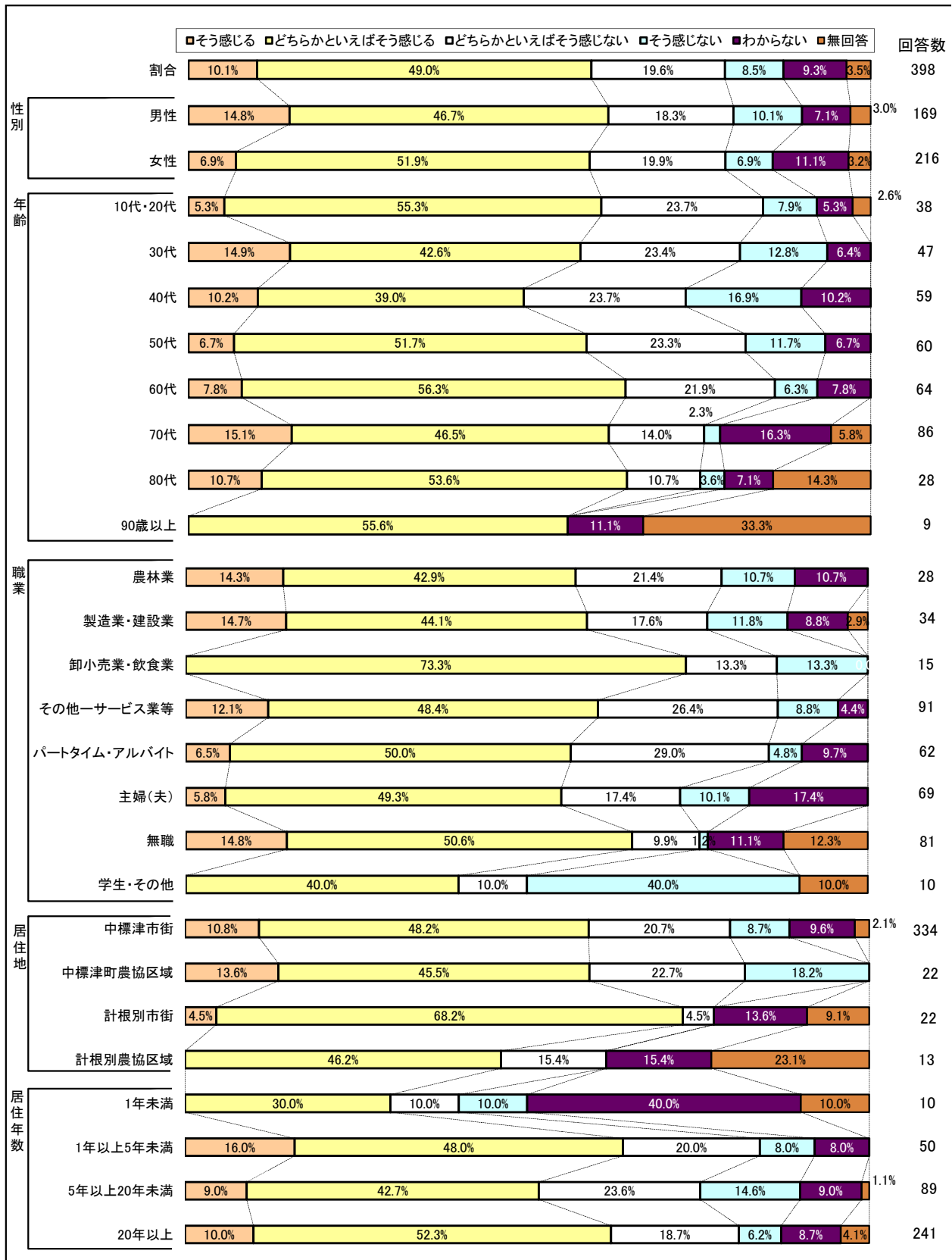


男女別の“そう感じる”割合は男性61.5%、女性58.8%とほぼ同数です。

年齢別では、60代以上で“そう感じる”割合が比較的高い傾向にあり、一方で40代では49.2%と低くなっています。

また、居住地別では計根別市街で72.7%と特に高い結果となり、居住年数別では、居住年数が1年未満の方で“そう感じる”割合が30%と低い結果となりました。【図表15】

図表15 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

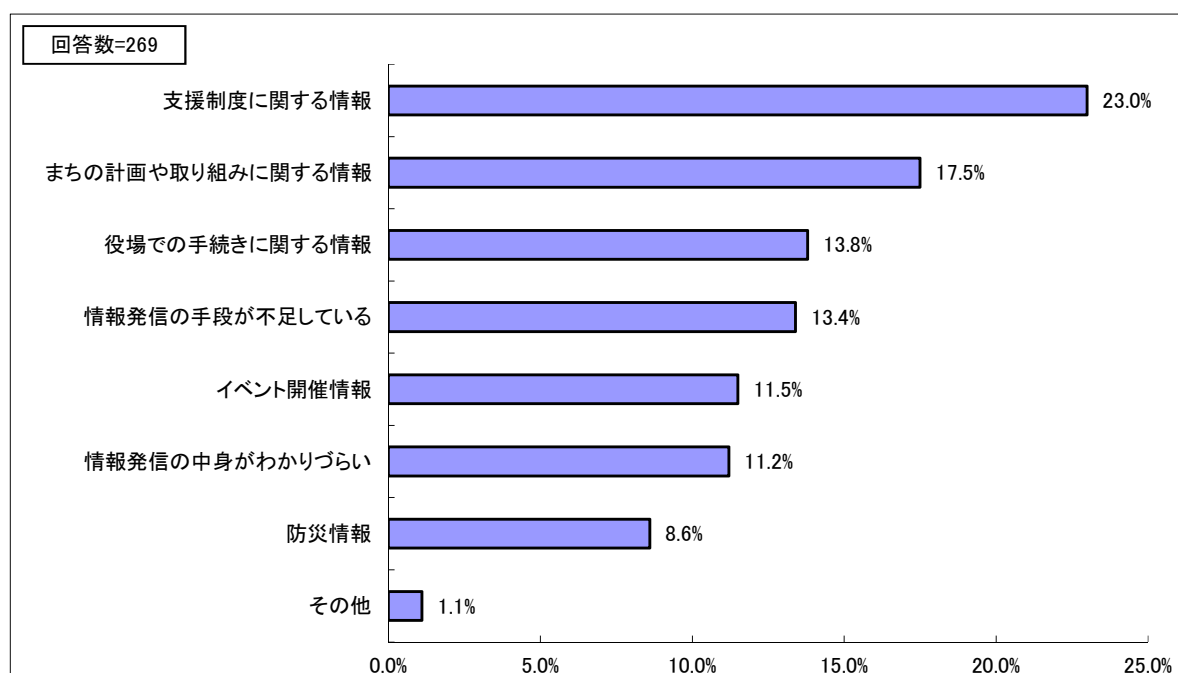


問5-1 特にどのような情報が不足していると感じますか（問5で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「支援制度に関する情報」が第1位。次いで「まちの計画や取り組みに関する情報」、「役場での手続きに関する情報」の順。

問5で“そう感じない”と回答した人（全体の28.1%・112名）に特にどのような情報が不足しているかたずねたところ「支援制度に関する情報」が最も高い結果となりました。【図表16】
年齢別では10代～30代では「イベント開催情報」が最も高い結果となった他、「支援制度に関する情報」は全年代で高く、40代～70代では最も高い結果となりました。【図表17】

図表16 特に不足している情報（全体／複数回答）



図表17 特に不足している情報（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	まちの計画や取り組みに関する情報 22.7	支援制度に関する情報 20.9	情報発信の手段が不足している 16.4
	女性	支援制度に関する情報 24.3	役場での手続きに関する情報 16.7	同率複数のため省略 -
年齢	10代・20代	イベント開催情報 28.0	支援制度に関する情報 20.0	まちの計画や取り組みに関する情報 16.0
	30代	イベント開催情報 20.4	支援制度に関する情報 18.4	情報発信の中身がわかりづらい 16.3
	40代	支援制度に関する情報 25.4	まちの計画や取り組みに関する情報 18.6	情報発信の手段が不足している 16.9
	50代	支援制度に関する情報 22.2	まちの計画や取り組みに関する情報 20.4	役場での手続きに関する情報 16.7
	60代	支援制度に関する情報 21.3	情報発信の手段が不足している 21.3	役場での手続きに関する情報 19.1
	70代	支援制度に関する情報 33.3	まちの計画や取り組みに関する情報 23.3	同率複数のため省略 -
	80代	防災情報 50.0	まちの計画や取り組みに関する情報 25.0	支援制度に関する情報 (同率2位) 25.0
	90歳以上	※回答なし		

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。



● “そう感じる”が36.7%、“そう感じない”が42.7%。

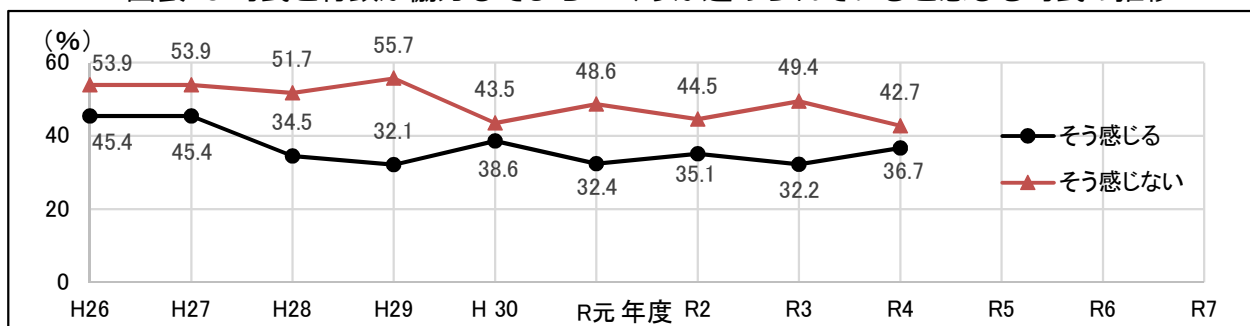
「そう感じる」 6.0% 「どちらかといえばそう感じる」 30.7%	「そう感じない」 15.3% 「どちらかといえばそう感じない」 27.4%
---------------------------------------	--

「そう感じる」（6.0%）と「どちらかといえばそう感じる」（30.7%）をあわせて“そう感じる”人は36.7%となりました。

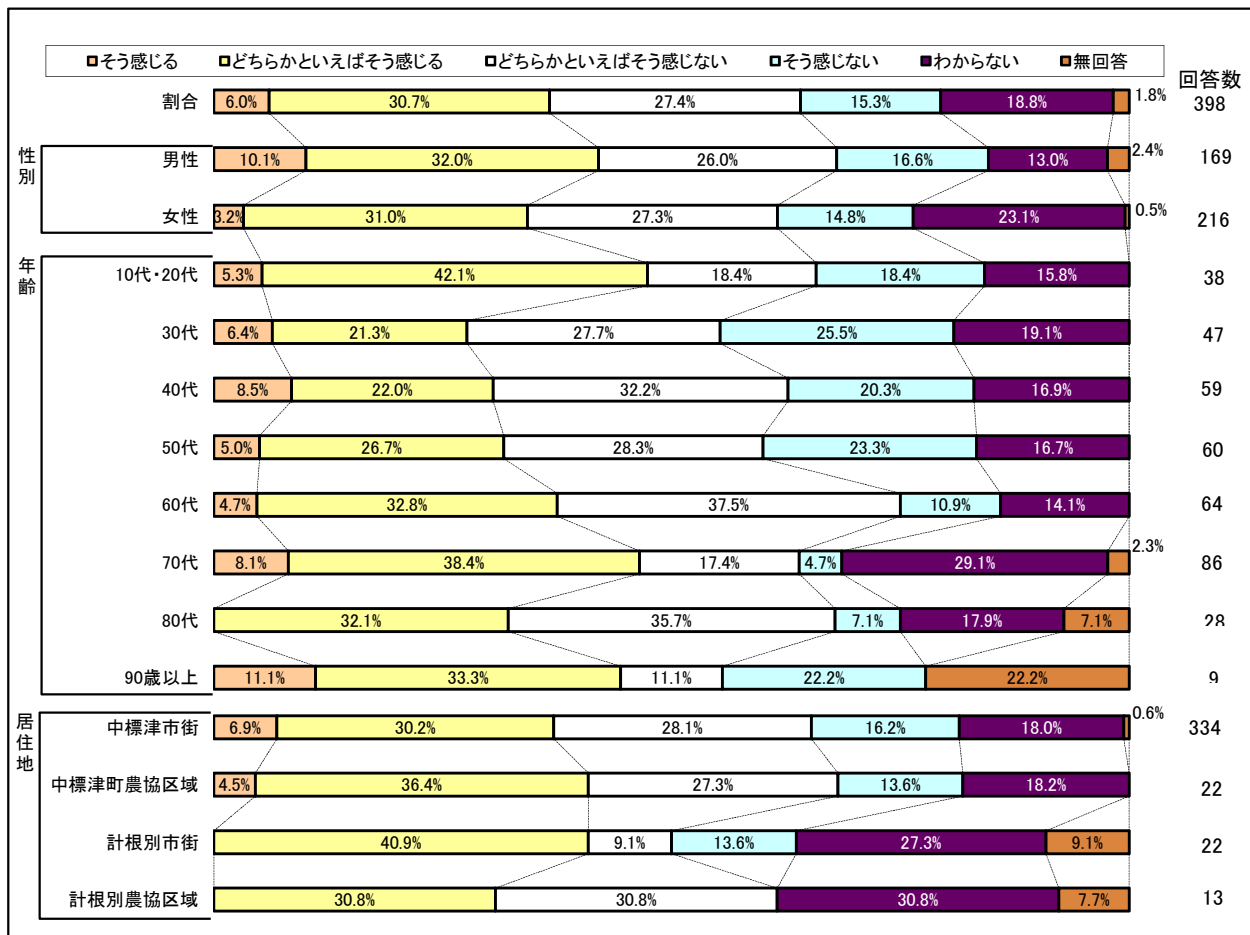
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表18】

男女別では男性（42.1%）が女性（34.2%）よりも“そう感じる”割合が高く、年齢別では10代・20代（47.4%）、70代（46.5%）で特に高い結果となりました。【図表19】

図表18 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる町民の推移



図表19 町民と行政が協力してまちづくりが進められているか（全体、性別、年齢、居住地）



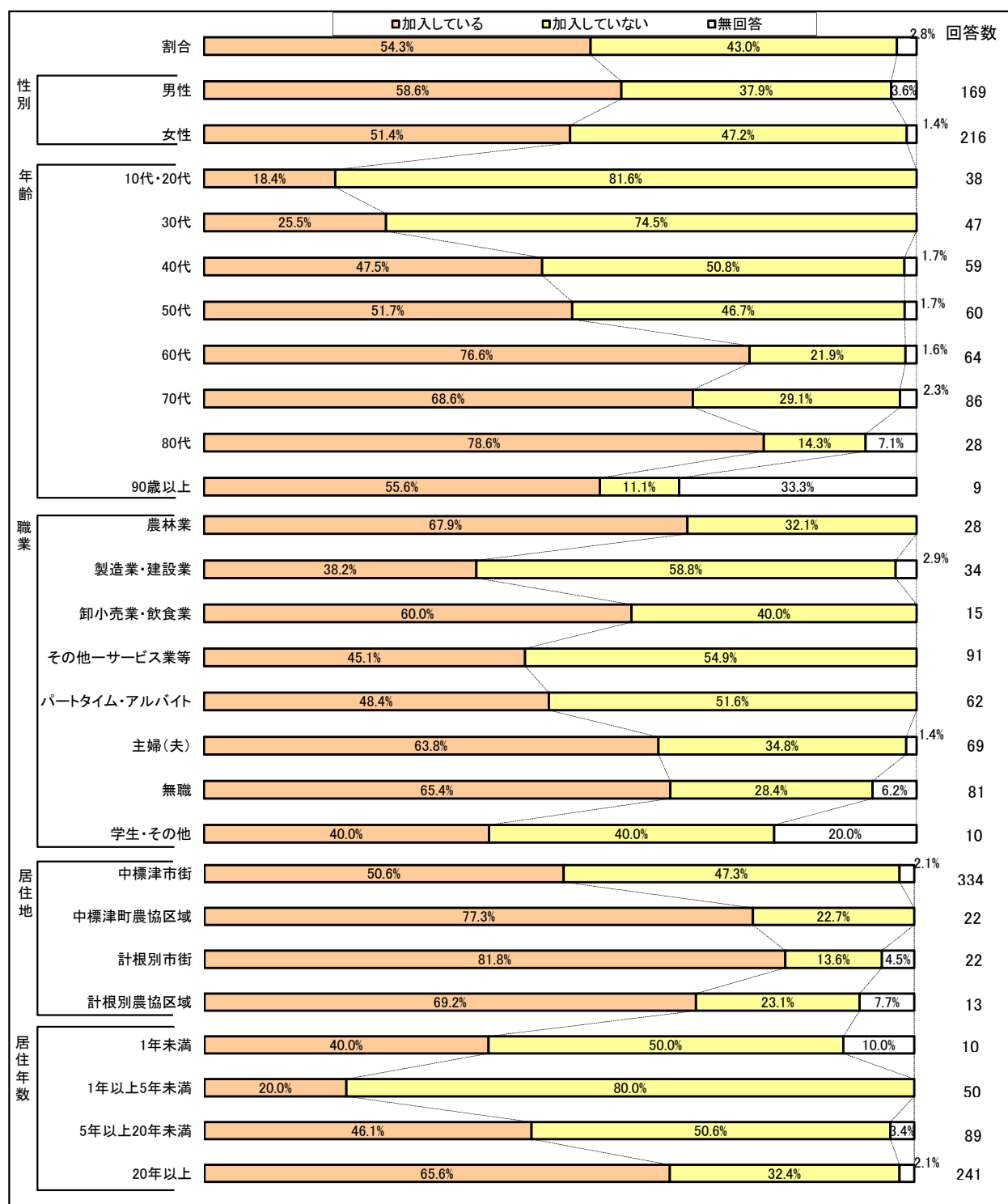
問7 あなたは町内会に加入していますか。

● “加入している”が54.3%、“加入していない”は43.0%。

町内会に“加入している”と回答した人は全体で54.3%、男性で58.6%、女性で51.4%と男性の方が若干高い結果となった他、年齢別では10代～30代で特に低く、60代以上で特に高い結果となりました。

また、居住年数別では1年以上5年未満で特に低い結果となりました。【図表20】

図表20 町内会に加入しているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



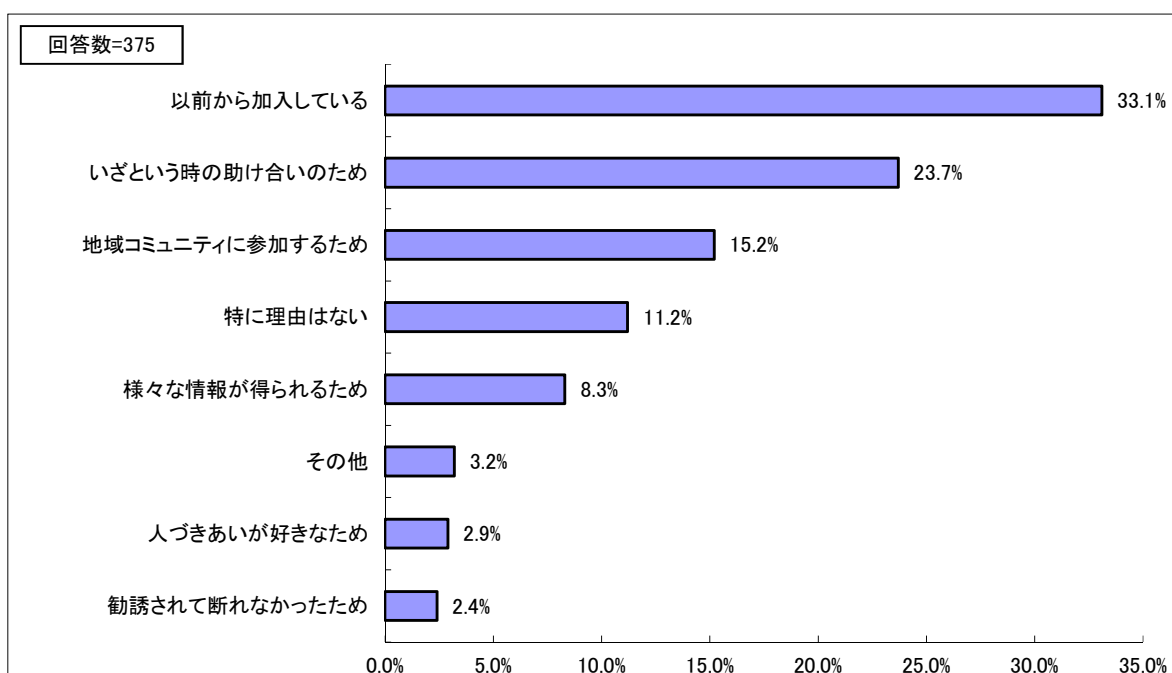
問7-1 町内会に加入している主な理由は何ですか。（問7で「加入している」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「以前から加入している」が第1位。次いで「いざという時の助け合いのため」、
「地域コミュニティに参加するため」の順。

問7で“加入している”と回答した人（全体の54.3%・216名）に加入している主な理由をたずねたところ「以前から加入している」が最も高い結果となりました。【図表21】

次いで「いざという時の助け合いのため」が高く、30代を除く全ての年代で高い結果となりました。【図表22】

図表21 町内会に加入している主な理由（全体／複数回答）



図表22 町内会に加入している主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	以前から加入している 29.7	いざという時の助け合いのため 24.0	地域コミュニティに参加するため 17.1
	女性	以前から加入している 35.6	いざという時の助け合いのため 24.5	地域コミュニティに参加するため 13.8
年齢	10代・20代	特に理由はない 50.0	以前から加入している 37.5	いざという時の助け合いのため 12.5
	30代	地域コミュニティに参加するため 25.0	特に理由はない (同率1位) 25.0	その他 18.8
	40代	以前から加入している 26.7	いざという時の助け合いのため 22.2	特に理由はない (同率2位) 22.2
	50代	以前から加入している 37.3	いざという時の助け合いのため 19.6	地域コミュニティに参加するため 15.7
	60代	以前から加入している 36.6	いざという時の助け合いのため 23.7	地域コミュニティに参加するため 16.1
	70代	以前から加入している 36.3	いざという時の助け合いのため 26.5	地域コミュニティに参加するため 14.7
	80代	以前から加入している 31.1	いざという時の助け合いのため 28.9	地域コミュニティに参加するため 15.6
	90歳以上	いざという時の助け合いのため 50.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

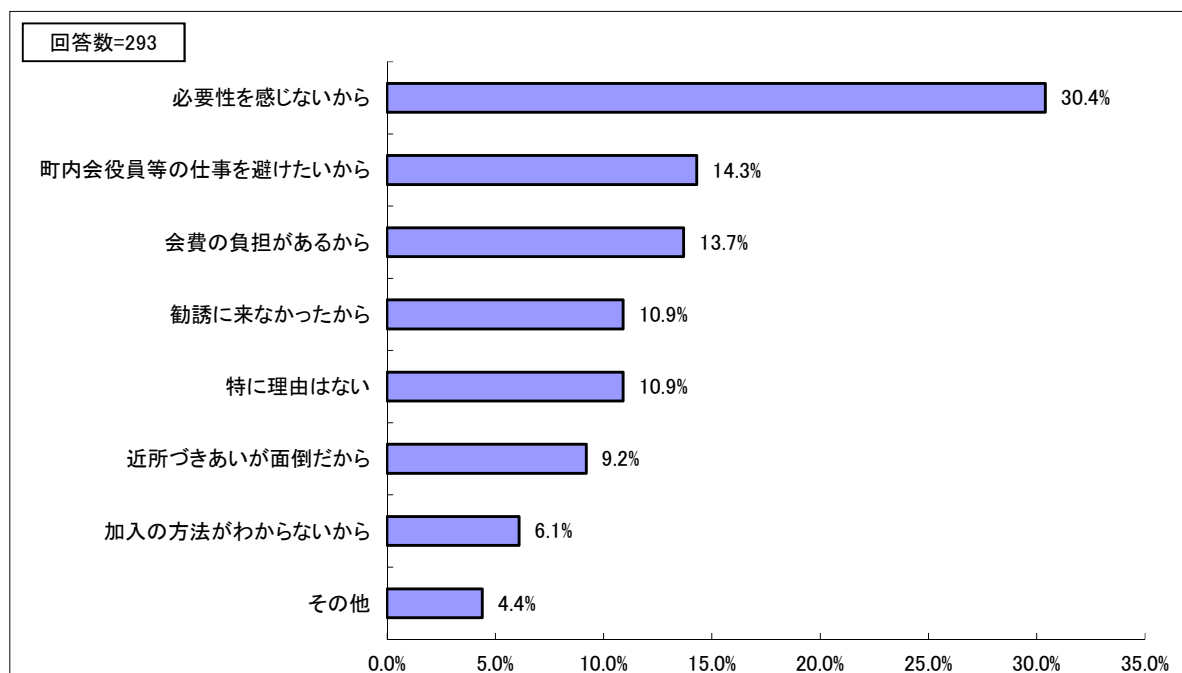
問7-2 町内会に加入していない主な理由は何ですか。（問7で「加入していない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「必要性を感じないから」が第1位。次いで「町内会役員等の仕事を避けたいから」、「会費の負担があるから」の順。

問7で“加入していない”と回答した人（全体の43.0%・171名）に加入していない主な理由をたずねたところ「必要性を感じないから」が最も高い結果となりました。【図表23】

「必要性を感じないから」は全ての年代で最も高い結果となった他、10代～30代では「勧誘に来なかったから」、40代以上では「町内会役員等の仕事を避けたいから」も比較的高い結果となりました。【図表24】

図表23 町内会に加入していない主な理由（全体／複数回答）



図表24 町内会に加入していない主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	必要性を感じないから 30.3	町内会役員等の仕事を避けたいから 11.9	同率複数のため省略 -
	女性	必要性を感じないから 30.1	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.9	会費の負担があるから 14.8
年齢	10代・20代	必要性を感じないから 26.5	勧誘に来なかったから 17.6	会費の負担があるから 16.2
	30代	必要性を感じないから 30.8	特に理由はない 21.2	勧誘に来なかったから 15.4
	40代	必要性を感じないから 23.2	町内会役員等の仕事を避けたいから 19.6	同率複数のため省略 -
	50代	必要性を感じないから 32.6	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.2	同率複数のため省略 -
	60代	必要性を感じないから 40.0	町内会役員等の仕事を避けたいから 24.0	会費の負担があるから 16.0
	70代	必要性を感じないから 32.4	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	80代	必要性を感じないから 75.0	町内会役員等の仕事を避けたいから 25.0	回答なし -
	90歳以上	必要性を感じないから 100.0	回答なし -	回答なし -

問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じますか。



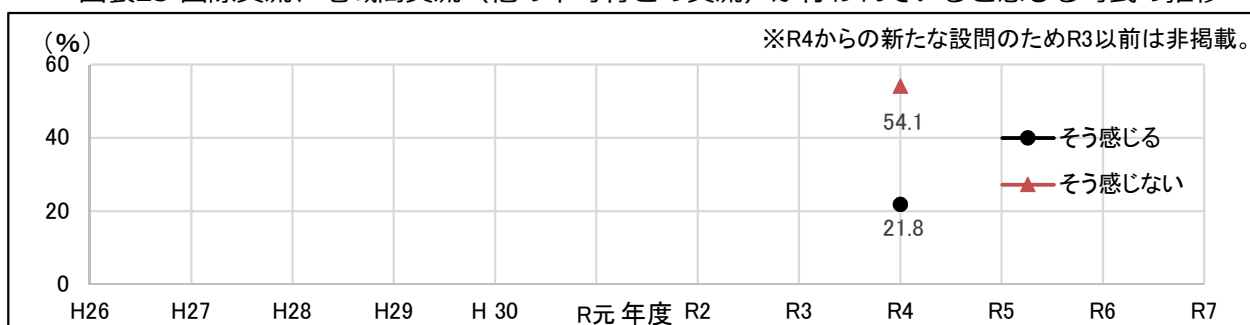
● “そう感じる”が21.8%、“そう感じない”が54.1%。

（そう感じる 4.0%	（そう感じない 23.9%
どちらかといえばそう感じる 17.8%）	どちらかといえばそう感じない 30.2%）

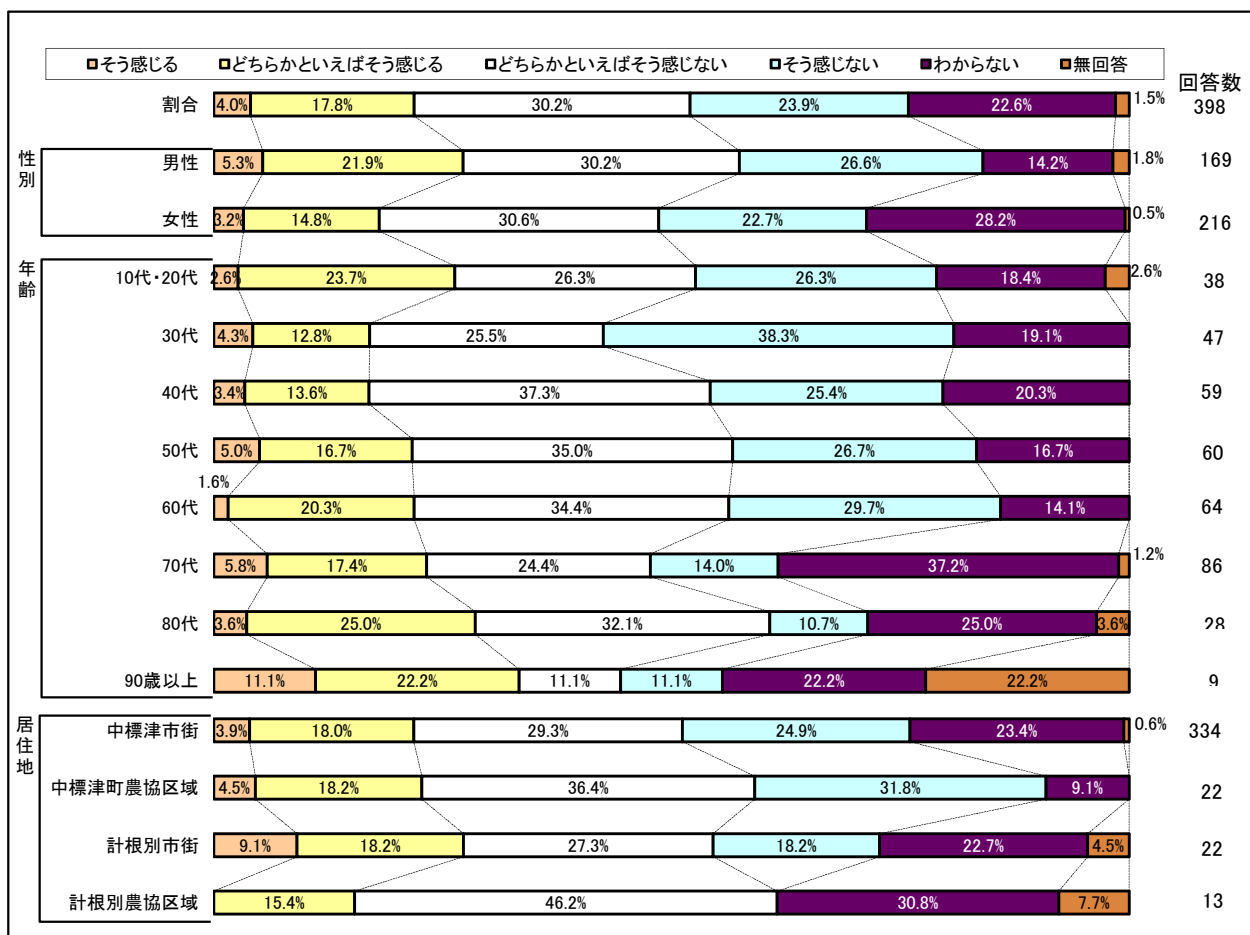
「そう感じる」（4.0%）と「どちらかといえばそう感じる」（17.8%）をあわせて“そう感じる”人は21.8%となり、「そう感じない」（23.9%）と「どちらかといえばそう感じない」（30.2%）をあわせた“そう感じない”人の54.1%よりも大きく低い結果となりました。

男女別では男性（27.2%）が女性（18.0%）よりも“そう感じる”割合が高く、年齢別では10代・20代、80代以上で特に高い結果となりました。【図表26】

図表25 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じる町民の推移



図表26 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

● “そう感じる”が60.8%、“そう感じない”が31.4%。

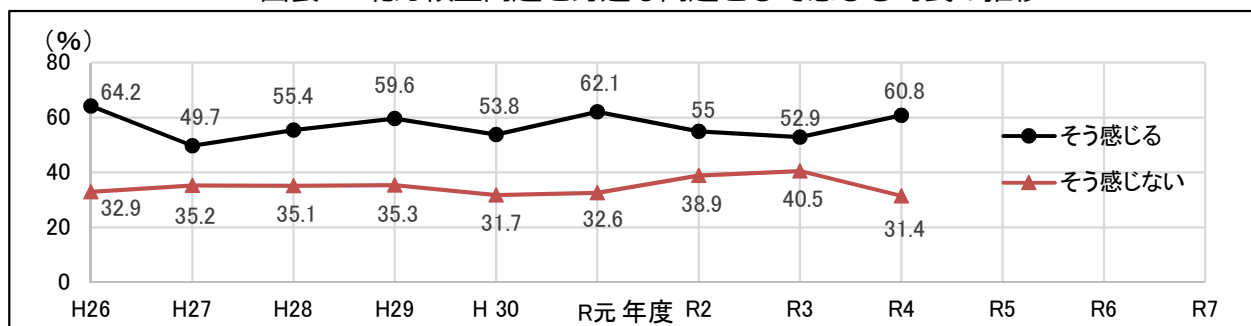
そう感じる 26.4% どちらかといえばそう感じる 34.4%	そう感じない 14.3% どちらかといえばそう感じない 17.1%
------------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（26.4%）と「どちらかといえばそう感じる」（34.4%）をあわせて“そう感じる”人は60.8%となりました。

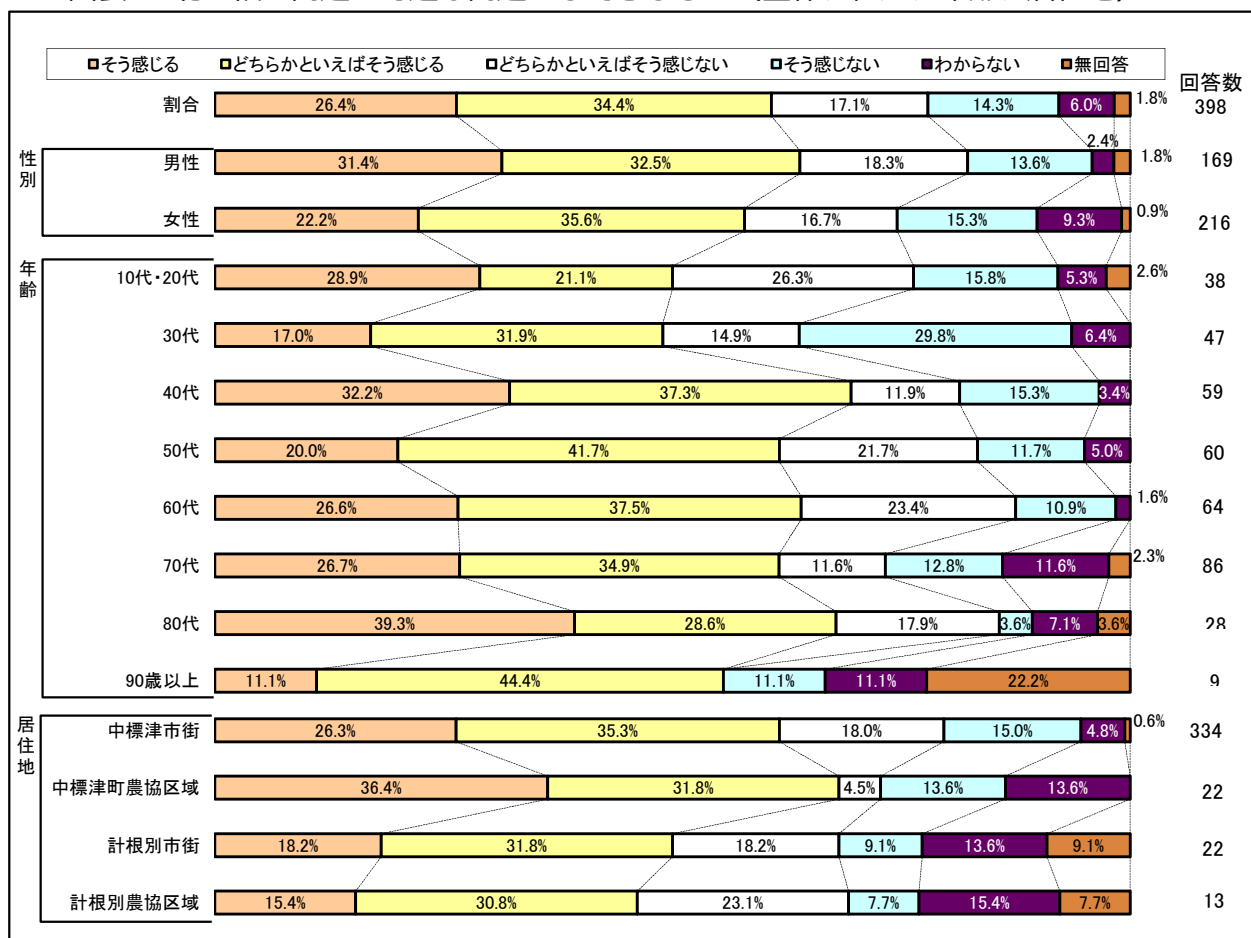
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表27】

男女別では男性（63.9%）が女性（57.8%）よりも“そう感じる”割合が高く、年齢別では40代（69.5%）、80代（67.9%）で特に高い結果となりました。【図表28】

図表27 北方領土問題を身近な問題として感じる町民の推移



図表28 北方領土問題を身近な問題として感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

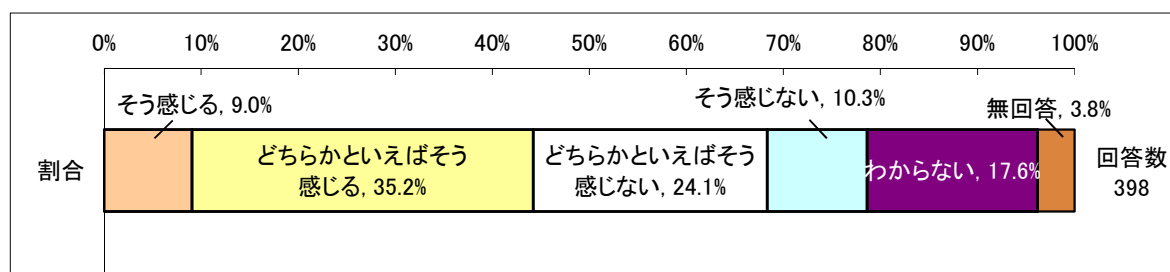
● “そう感じる”が44.2%、“そう感じない”は34.4%。

そう感じる 9.0% どちらかといえばそう感じる 35.2%	そう感じない 10.3% どちらかといえばそう感じない 24.1%
-----------------------------------	--------------------------------------

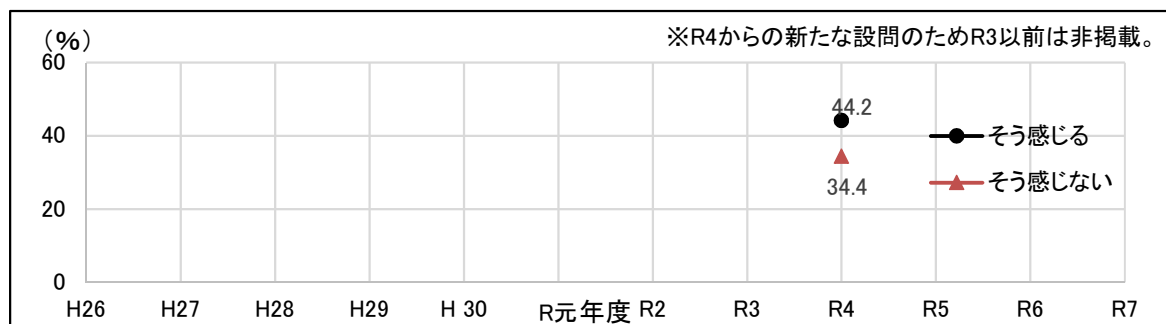
「そう感じる」（9.0%）と「どちらかといえばそう感じる」（35.2%）をあわせて“そう感じる”人は44.2%となり、「そう感じない」（10.3%）と「どちらかといえばそう感じない」（24.1%）をあわせた“そう感じない”人の34.4%よりも高い結果となりました。

また、「わからない」と回答した人が17.6%と比較的多い結果となりました。【図表29】

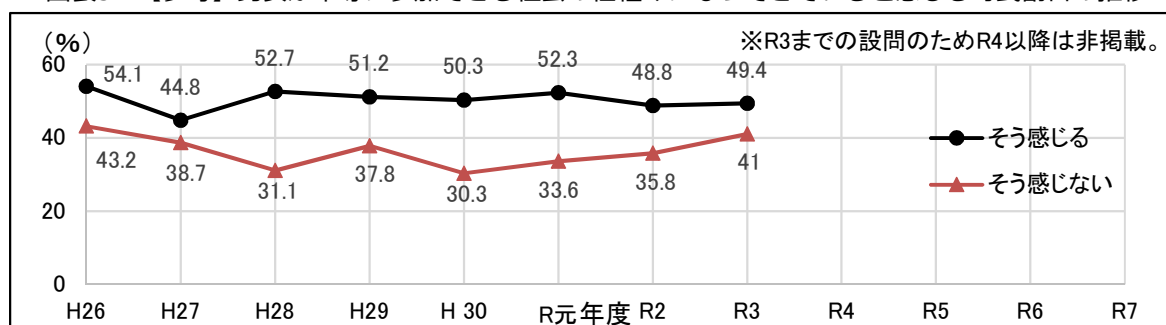
図表29 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じるか（全体）



図表30 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じる町民割合の推移



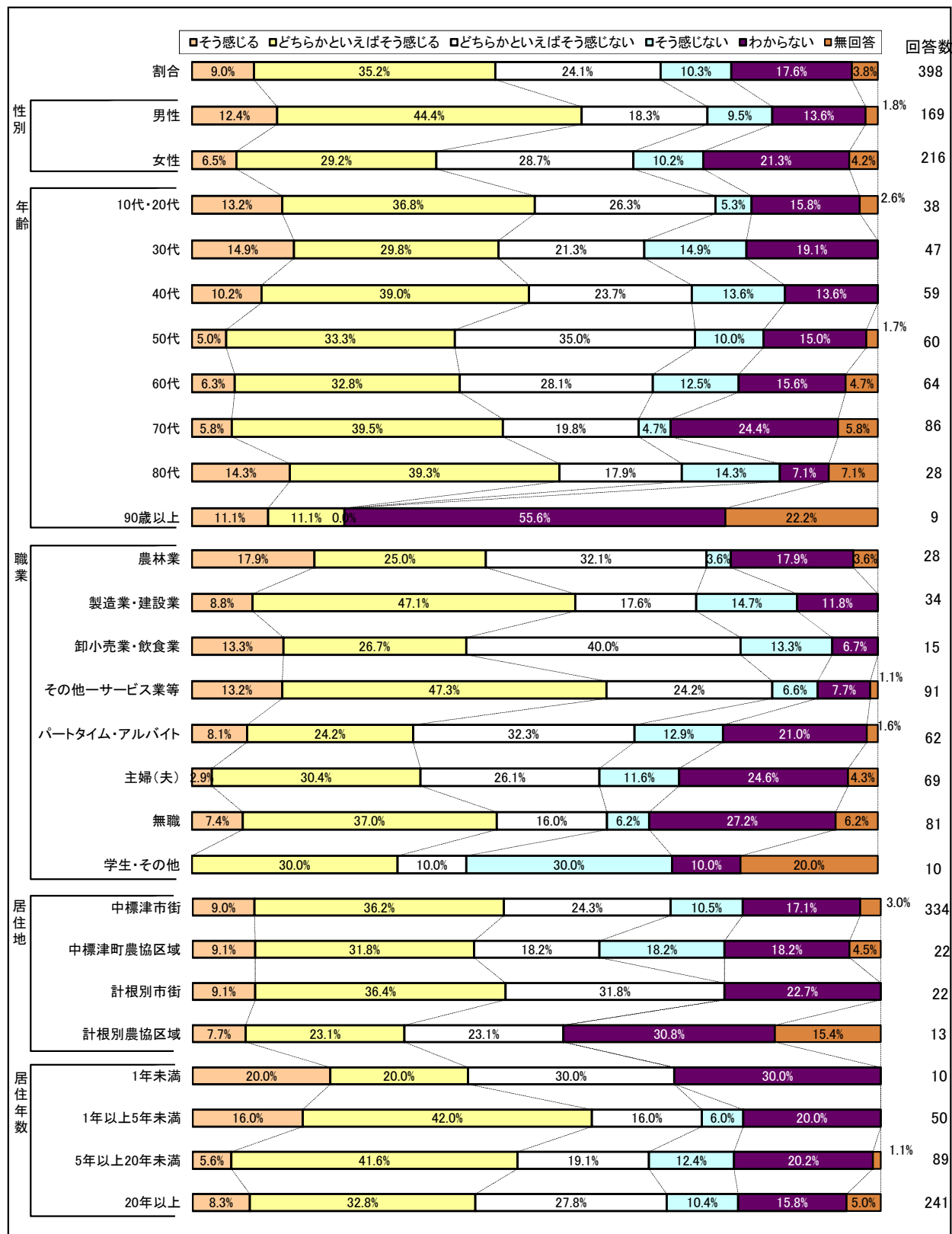
図表31 【参考】男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じる町民割合の推移



男女別の“そう感じる”割合は男性56.8%、女性35.7%と男女で認識に大きな差がある結果となりました。年齢別では、50代（38.3%）・60代（39.1%）で比較的低い結果となった他、90歳以上は「わからない」と回答した人が55.6%と半数以上となりました。

職業別ではパートタイム・アルバイト（32.3%）、主婦（夫）（33.3%）、学生・その他（30.0%）で低い結果となっています。【図表32】

図表32 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

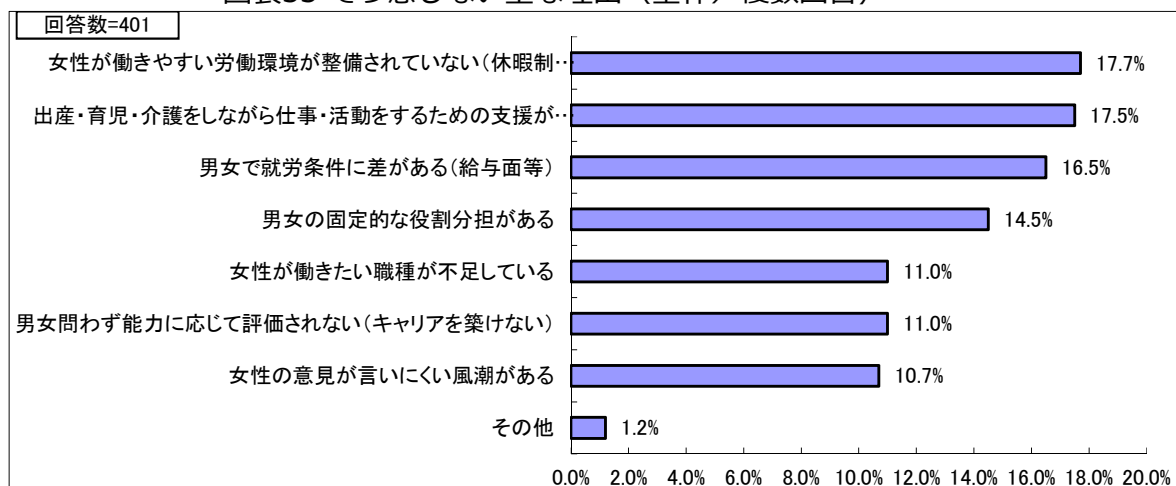


問10-1 そう感じない主な理由は何ですか。（問10で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「女性が働きやすい労働環境が整備されてない」が第1位。次いで「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」の順。

問10で“そう感じない”と回答した人（全体の34.4%・137名）にそう感じない主な理由をたずねたところ「女性が働きやすい労働環境が整備されていない」が最も高い結果となりました。【図表33】男女別では、女性で「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」が最も高い結果となりました。【図表34】

図表33 そう感じない主な理由（全体／複数回答）



図表34 そう感じない主な理由（性別、年齢、職業／複数回答）（上位3位 %）

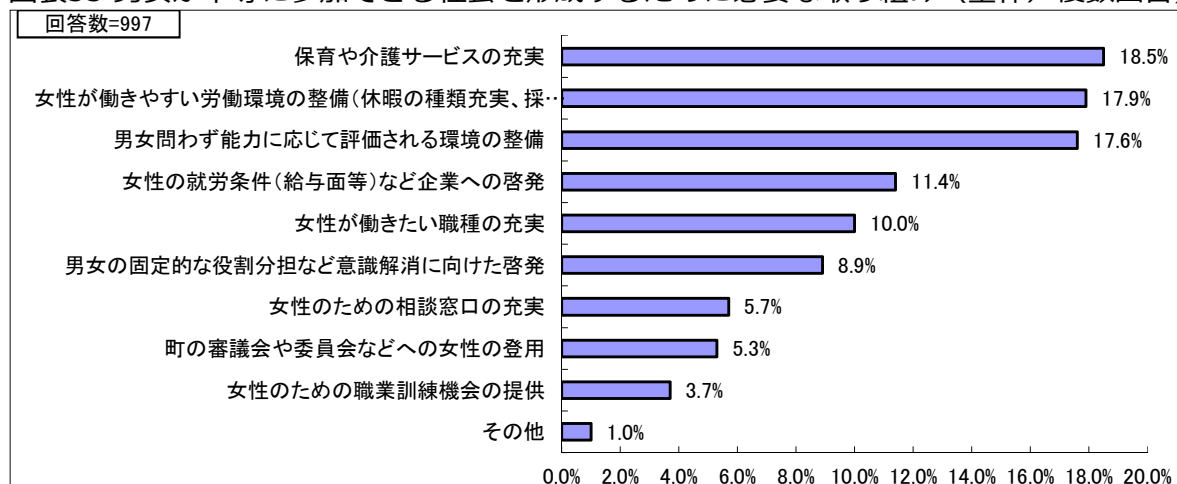
		第1位	第2位	第3位
性別	男性	女性が働きやすい労働環境 17.8	男女で就労条件に差がある 17.0	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 16.3
	女性	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.3	女性が働きやすい労働環境 17.5	男女で就労条件に差がある 17.0
年齢	10代・20代	男女の固定的な役割分担 21.1	女性が働きやすい労働環境 15.8	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率2位) 15.8
	30代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 27.3	男女の固定的な役割分担 20.5	女性が働きやすい労働環境 18.2
	40代	女性が働きやすい労働環境 22.9	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 18.6	女性が働きたい職種 17.1
	50代	女性が働きやすい労働環境 20.2	男女で就労条件に差がある 17.0	女性が働きたい職種 13.8
	60代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 22.7	男女で就労条件に差がある 17.3	女性の意見が言いにくい風潮 14.7
	70代	男女で就労条件に差がある 22.2	女性が働きやすい労働環境 20.6	同率複数のため省略
	80代	男女の固定的な役割分担 26.7	男女で就労条件に差がある 20.0	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率2位) 20.0
	90歳以上	※回答なし		
職業	農林業	男女の固定的な役割分担 28.0	女性が働きやすい労働環境 20.0	同率複数のため省略
	製造業・建設業	女性が働きたい職種 16.7	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 16.7	同率複数のため省略
	卸小売業・飲食業	男女の固定的な役割分担 20.8	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 20.8	同率複数のため省略
	その他-サービス業等	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.8	女性が働きやすい労働環境 19.5	同率複数のため省略
	パートタイム・アルバイト	男女で就労条件に差がある 18.8	女性が働きやすい労働環境 17.6	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 16.5
	主婦(夫)	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 21.0	女性が働きやすい労働環境 17.3	男女で就労条件に差がある 16.0
	無職	男女で就労条件に差がある 20.9	男女の固定的な役割分担 16.3	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率2位) 16.3
	学生・その他	(同率1位4件21.4%)「男女の固定的な役割分担」「女性が働きやすい労働環境」「男女で就労条件に差がある」「出産・育児・介護をしながら仕事をする支援」		

問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「保育や介護サービスの充実」が第1位。次いで「女性が働きやすい労働環境の整備」「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」の順。

男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組みをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実」「女性が働きやすい労働環境の整備」「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」がほとんどの年代・職種で高い結果となりました。【図表35・36】

図表35 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表36 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	男女問わず能力に応じて評価 19.9	保育や介護サービスの充実 18.7	女性が働きやすい労働環境整備 16.9
	女性	女性が働きやすい労働環境整備 18.6	保育や介護サービスの充実 18.3	男女問わず能力に応じて評価 16.0
年齢	10代・20代	女性が働きやすい労働環境整備 18.1	男女問わず能力に応じて評価 17.2	保育や介護サービスの充実 16.4
	30代	保育や介護サービスの充実 21.5	女性が働きやすい労働環境整備 19.4	同率複数のため省略
	40代	女性が働きやすい労働環境整備 20.1	保育や介護サービスの充実 18.3	男女問わず能力に応じて評価 15.2
	50代	女性が働きやすい労働環境整備 18.1	男女問わず能力に応じて評価 (同率1位) 18.1	保育や介護サービスの充実 14.8
	60代	男女問わず能力に応じて評価 19.9	保育や介護サービスの充実 17.9	女性が働きやすい労働環境整備 15.9
	70代	保育や介護サービスの充実 22.2	男女問わず能力に応じて評価 19.2	女性が働きやすい労働環境整備 16.2
	80代	女性が働きやすい労働環境整備 21.2	男女問わず能力に応じて評価 (同率1位) 21.2	保育や介護サービスの充実 15.4
	90歳以上	男女問わず能力に応じて評価 33.3	女性が働きたい職種の充実 22.2	同率複数のため省略
				-
職業	農林業	女性が働きやすい労働環境整備 22.9	男女問わず能力に応じて評価 17.1	保育や介護サービスの充実 15.7
	製造業・建設業	女性が働きやすい労働環境整備 17.7	男女問わず能力に応じて評価 16.7	同率複数のため省略
	卸小売業・飲食業	保育や介護サービスの充実 17.1	審議会や委員会への女性登用 14.6	同率複数のため省略
	その他-サービス業等	保育や介護サービスの充実 21.9	女性が働きやすい労働環境整備 17.8	男女問わず能力に応じて評価 (同率2位) 17.8
	パートタイム・アルバイト	男女問わず能力に応じて評価 19.7	女性が働きやすい労働環境整備 17.9	保育や介護サービスの充実 13.9
	主婦(夫)	女性が働きやすい労働環境整備 19.4	保育や介護サービスの充実 18.3	男女問わず能力に応じて評価 16.8
	無職	男女問わず能力に応じて評価 19.7	保育や介護サービスの充実 (同率1位) 19.7	女性が働きやすい労働環境整備 17.5
	学生・その他	保育や介護サービスの充実 26.7	女性が働きやすい労働環境整備 16.7	男女問わず能力に応じて評価 13.3

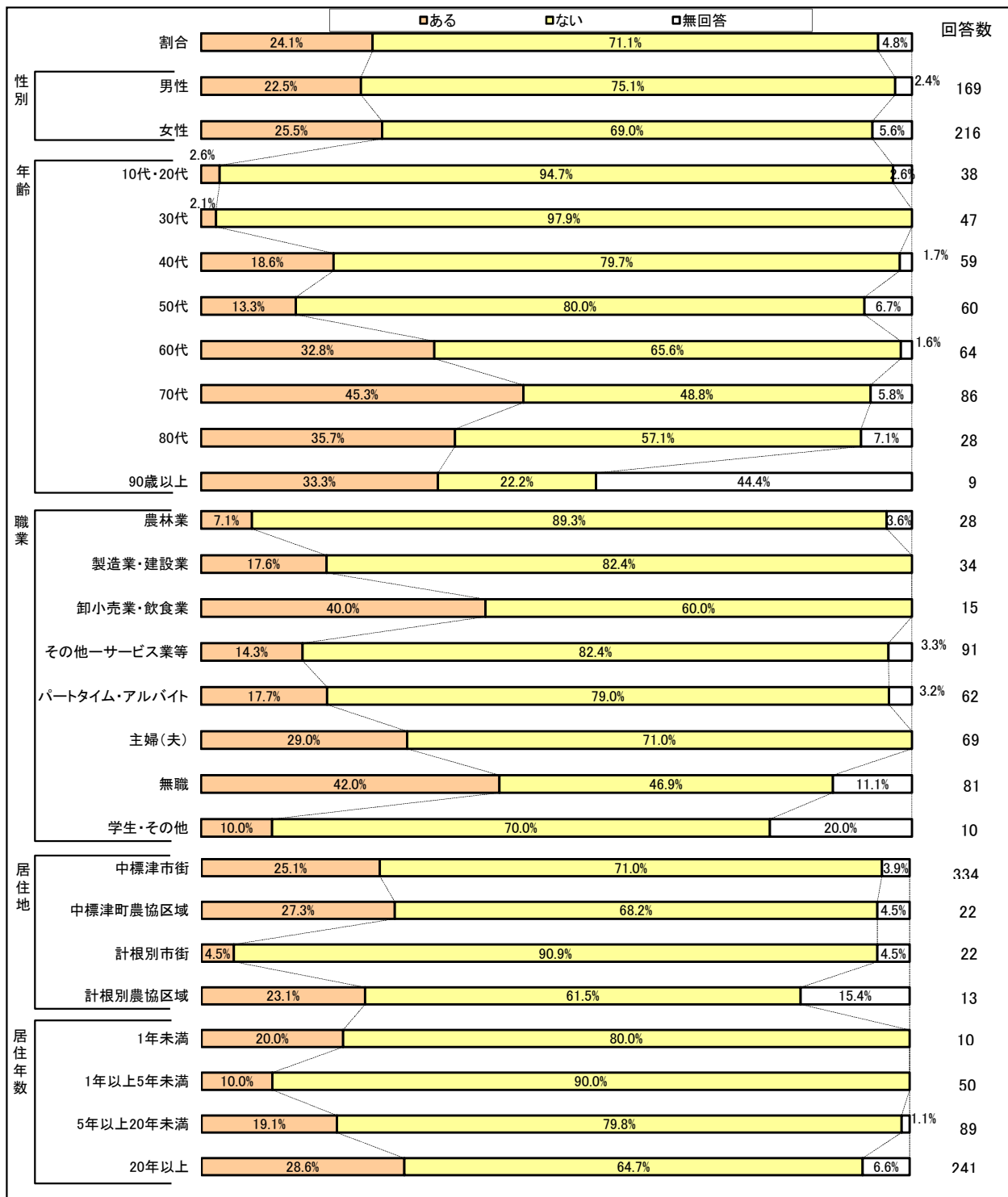
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

● “ある”が24.1%、“ない”は71.1%。

“ある”と回答した人は全体で24.1%、“ない”と回答した人は全体で71.1%となりました。年齢別では60代以上のすべての世代で“ある”人が3割を超えており、70代では45.3%と最も高い結果となりました。

また、居住地別では計根別市街地で“ある”が4.5%と特に低い結果となりました。【図表37】

図表37 情報通信機器を持っていない又は操作が苦手で困ったことがあるか。（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



問12-1 主に何からまちの情報を取得しますか。（問12で「ある」を選択した方のみ）

【複数回答】

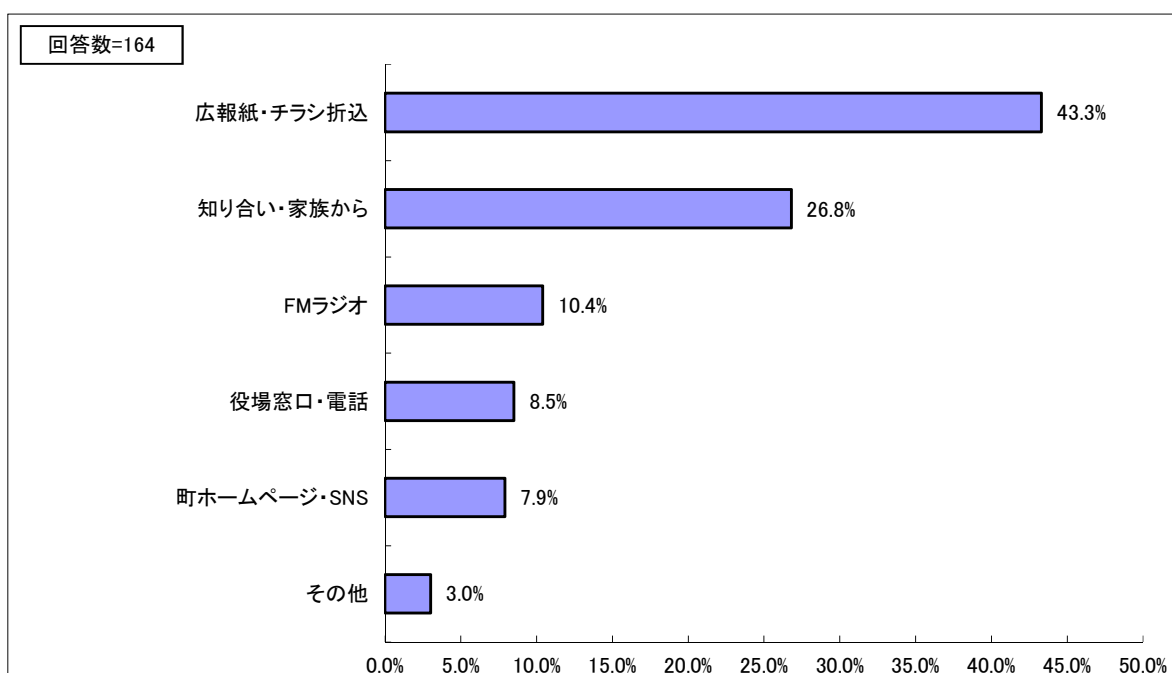
- 「広報紙・チラシ折込」が第1位。次いで「知り合い・家族から」、「FMラジオ」の順。

問12で“ある”と回答した人（全体の24.1%・96名）に主に何からまちの情報を取得しているかたずねたところ「広報紙・チラシ」が最も高く、次いで「知り合い・家族から」が高い結果となりました。【図表38】

年齢別では10～30代で「町ホームページ・SNS」が最も高い結果となりました。

【図表39】

図表38 主に何からまちの情報を取得しているか（全体／複数回答）



図表39 主に何からまちの情報を取得しているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	広報紙・チラシ折込 41.8	知り合い・家族から 26.9	FMラジオ 14.9
	女性	広報紙・チラシ折込 45.1	知り合い・家族から 26.4	役場窓口・電話 11.0
年齢	10代・20代	町ホームページ・SNS 100.0	回答なし -	回答なし -
	30代	町ホームページ・SNS 50.0	知り合い・家族から (同率1位) 50.0	回答なし -
	40代	広報紙・チラシ折込 33.3	知り合い・家族から (同率1位) 33.3	町ホームページ・SNS 16.7
	50代	広報紙・チラシ折込 33.3	知り合い・家族から (同率1位) 33.3	役場窓口・電話 26.7
	60代	広報紙・チラシ折込 51.4	知り合い・家族から 21.6	FMラジオ 16.2
	70代	広報紙・チラシ折込 48.4	知り合い・家族から 22.6	FMラジオ 12.9
	80代	広報紙・チラシ折込 37.5	知り合い・家族から (同率1位) 37.5	同率複数のため省略 -
	90歳以上	広報紙・チラシ折込 66.7	知り合い・家族から 33.3	回答なし -

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる”が66.6%、“そう感じない”が16.6%。

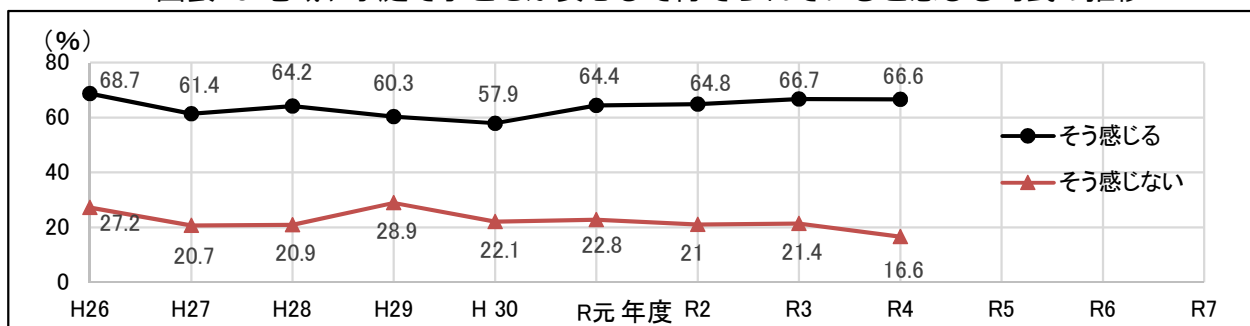
そう感じる 14.3% どちらかといえばそう感じる 52.3%	そう感じない 5.8% どちらかといえばそう感じない 10.8%
------------------------------------	-------------------------------------

「そう感じる」（14.3%）と「どちらかといえばそう感じる」（52.3%）をあわせて“そう感じる”人は66.6%となりました。

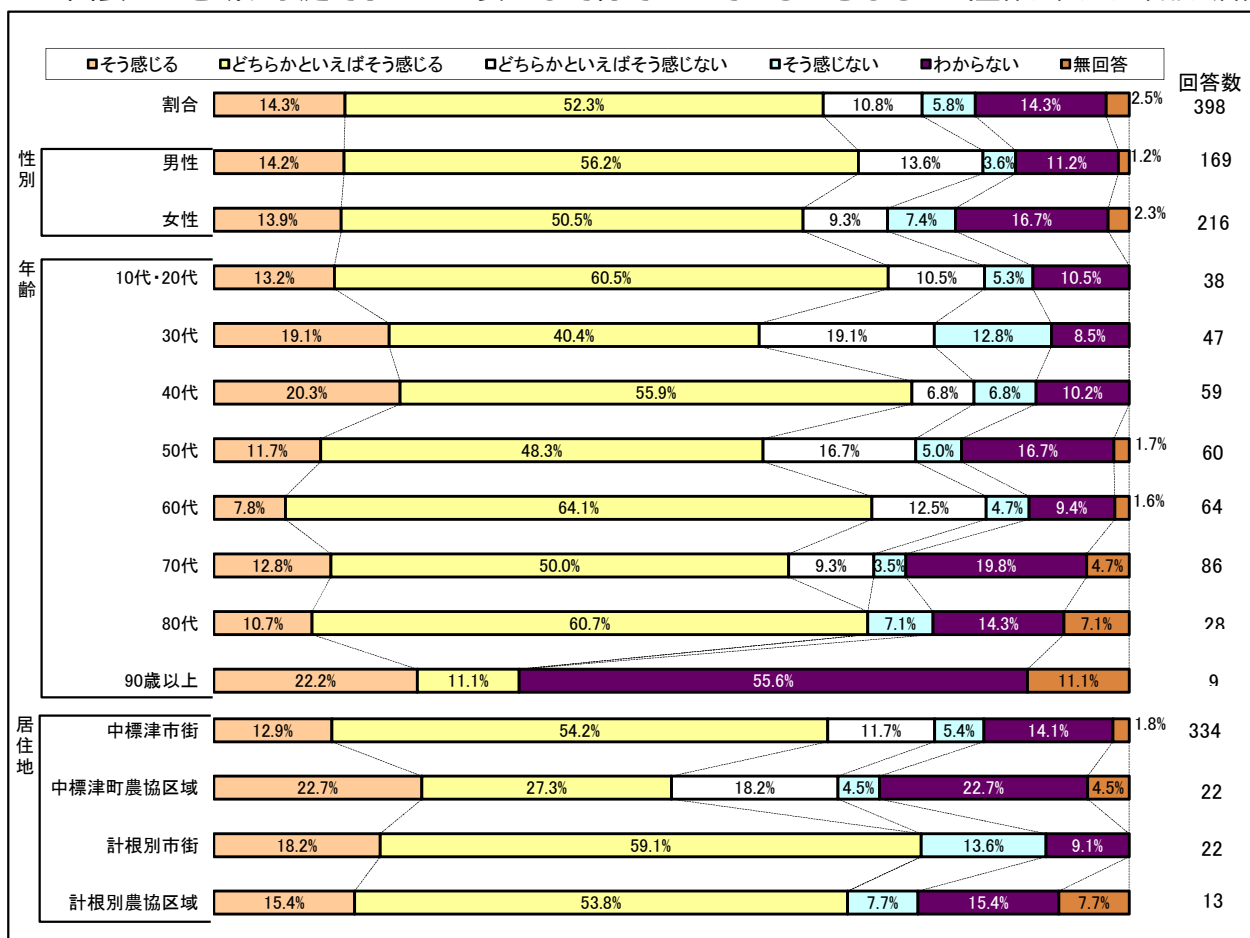
これまでの推移を見ると“そう感じない”人が若干の減少傾向にあります。【図表40】

年齢別では“そう感じる”人が30代（59.5%）、50代（60.0%）と若干低く、居住地別では中標津農協区域（50.0%）が比較的低い結果となりました。【図表41】

図表40 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じる町民の推移



図表41 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。



● “そう感じる”が46.9%、“そう感じない”が31.5%。

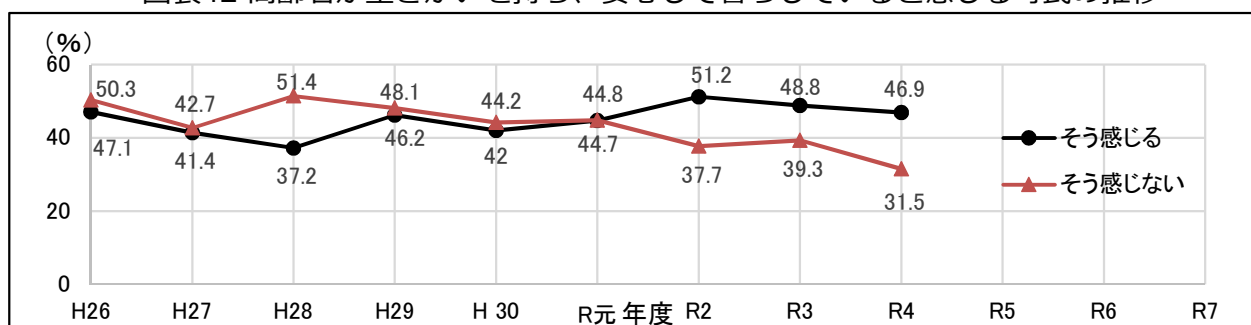
(そう感じる 7.5% どちらかといえばそう感じる 39.4%)	(そう感じない 10.1% どちらかといえばそう感じない 21.4%)
-------------------------------------	--

「そう感じる」（7.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（39.4%）をあわせて“そう感じる”人は46.9%となりました。

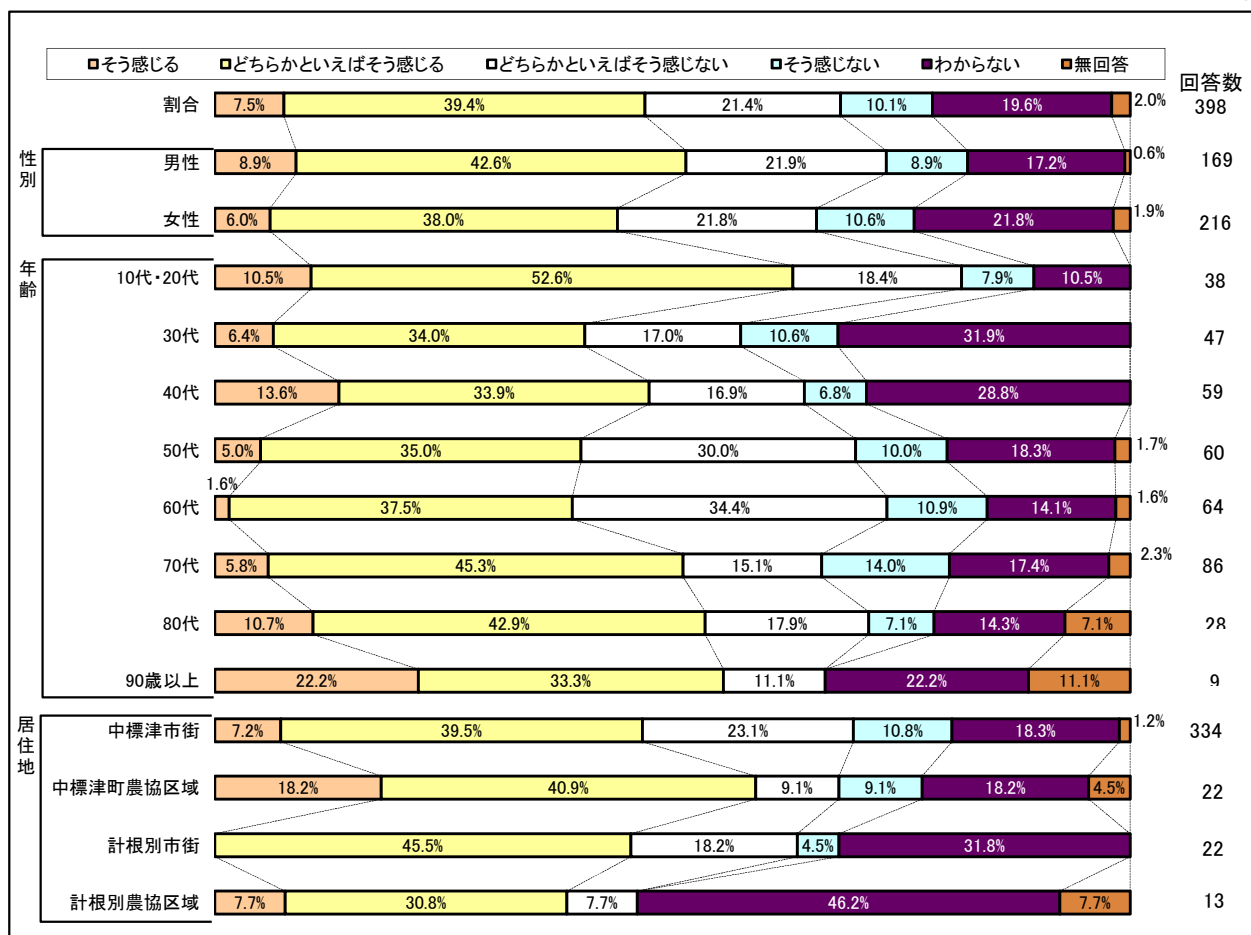
これまでの推移を見ると“そう感じない”人が減少傾向にあります。【図表42】

年齢別では30～60代で“そう感じる”人が比較的少なく、10・20代、70代以上で高い結果となりました。【図表43】

図表42 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる町民の推移



図表43 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。



● “そう感じる”が40.5%、“そう感じない”が30.7%。

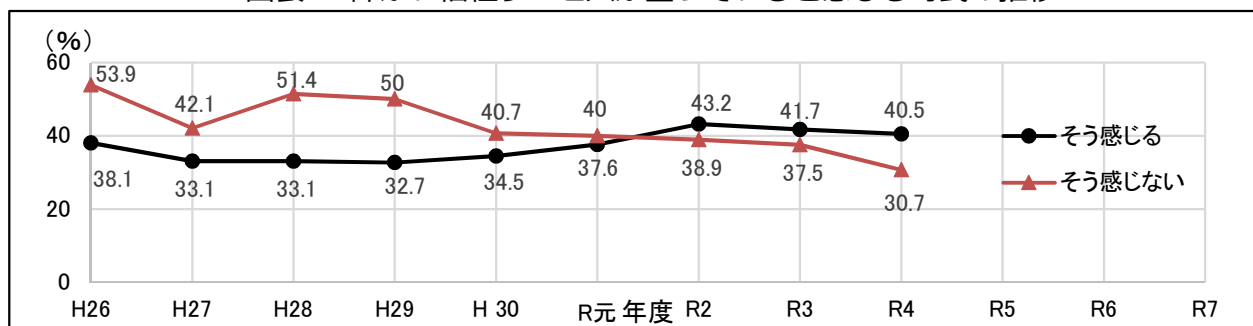
そう感じる 7.3% どちらかといえばそう感じる 33.2%	そう感じない 11.1% どちらかといえばそう感じない 19.6%
-----------------------------------	--------------------------------------

「そう感じる」（7.3%）と「どちらかといえばそう感じる」（33.2%）をあわせた“そう感じる”人は40.5%となりました。

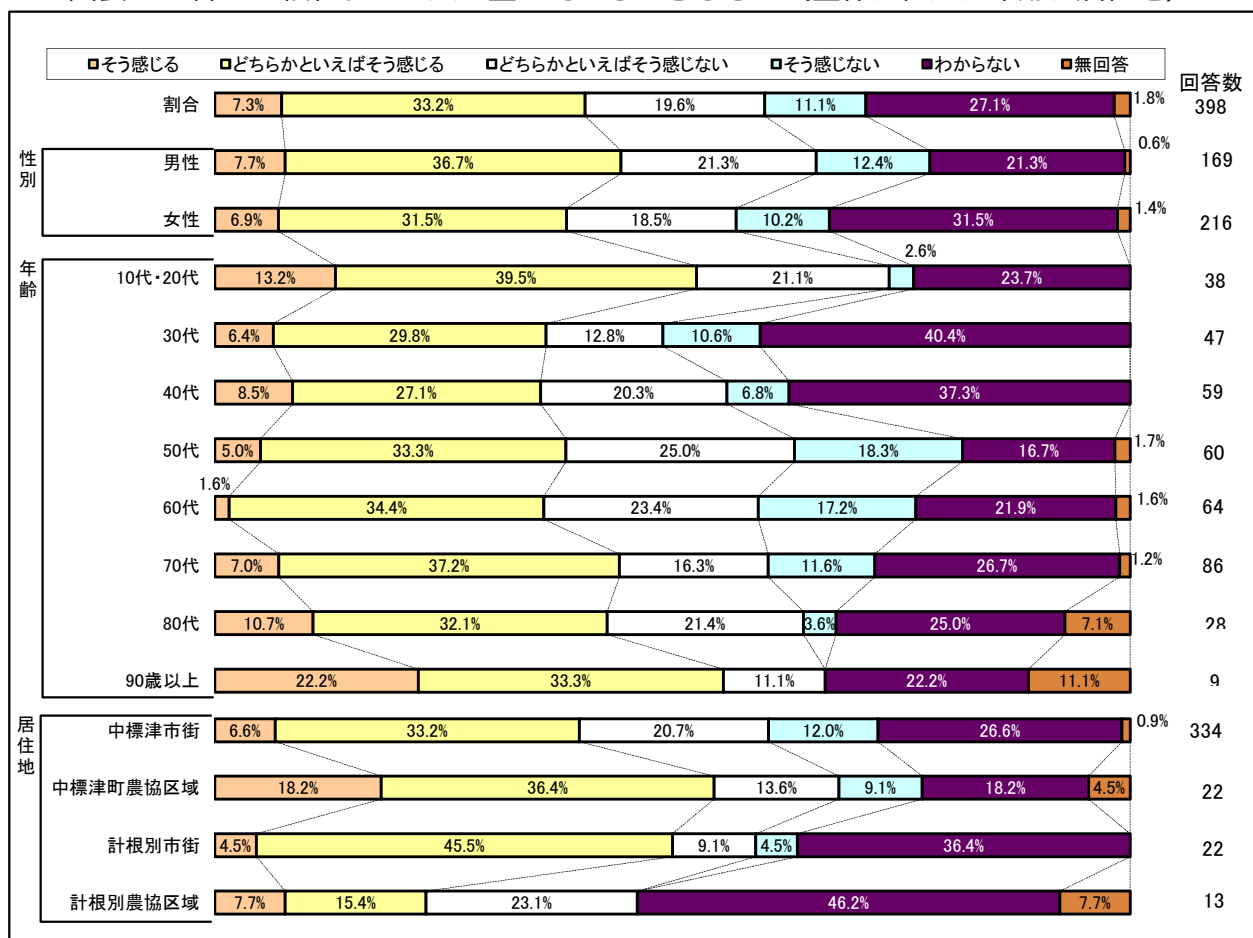
これまでの推移を見ると“そう感じる”人は増加傾向、“そう感じない”人は減少傾向にあります。

【図表44】年齢別では10・20代、70代以上で比較的高い結果となった他、居住地別では計根別農協区域（23.1%）で低い結果となりました。【図表45】

図表44 障がい福祉サービスが整っていると感じる市民の推移



図表45 障がい福祉サービスが整っていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。



- “参加している”が22.6%、“参加していない”が65.6%。
“参加したい”が37.4%、“参加したくない”が50.8%。

地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向について確認したところ次のとおりとなりました。

①現在参加しているし今後も参加したい 18.3%	③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない 4.3%
②現在参加していないが今後は参加したい 19.1%	④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない 46.5%

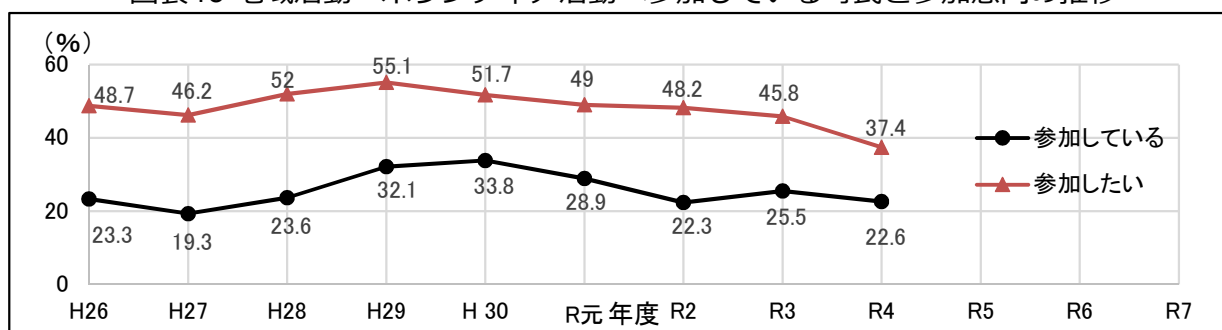
現在“参加している”人は①と③を合わせた22.6%、“参加していない”人は②と④をあわせた65.6%となり、今後“参加したい”人は①と②をあわせた37.4%、“参加したくない”人は③と④をあわせた50.8%となります。

これまでの推移を見ると“参加したい”人が減少傾向である他、“参加している”人はH29～R元年度をピークにそれ以前の水準まで減少していることがわかります。【図表46】

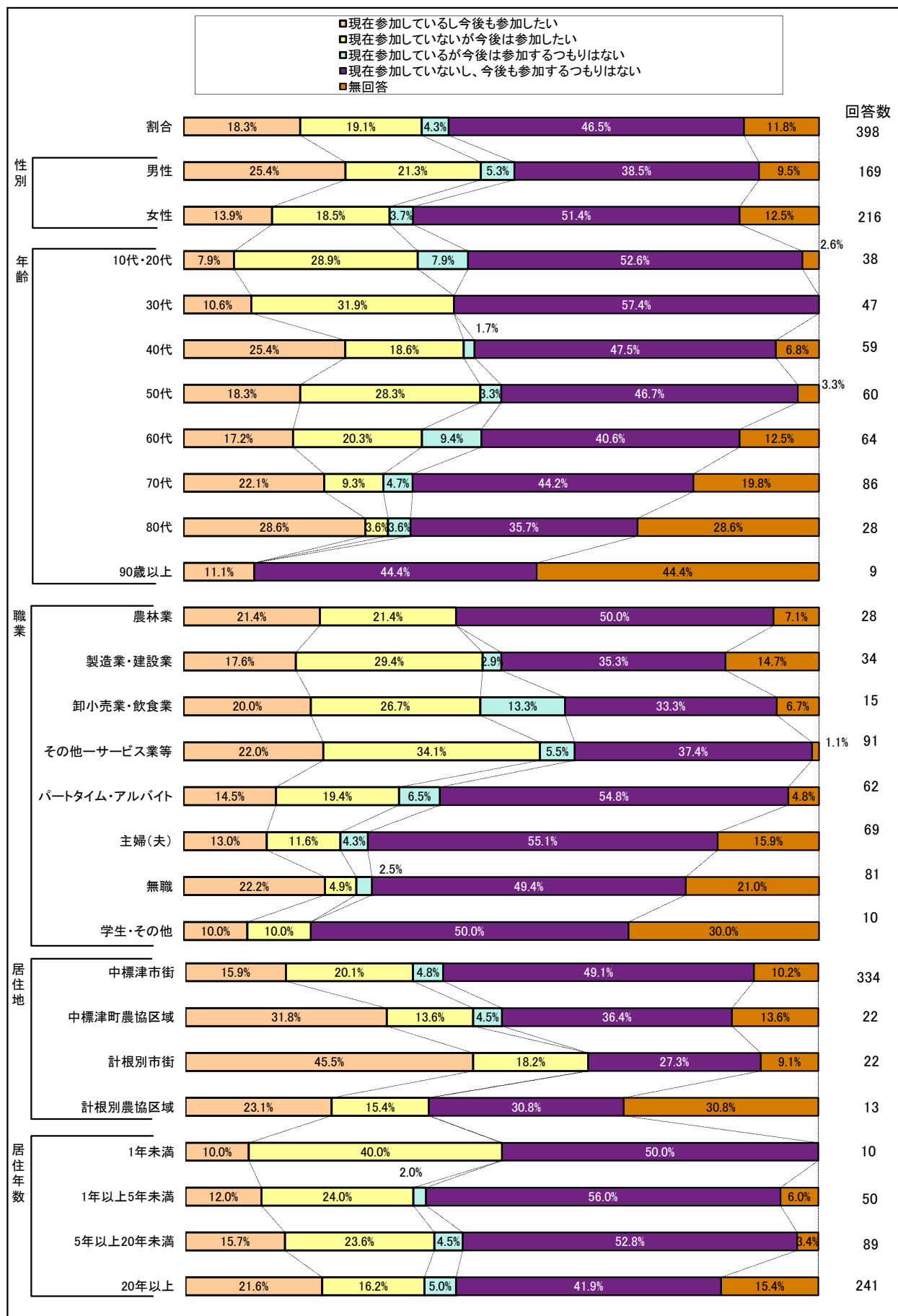
①について見ると、性別では男性（25.4%）の方が女性（13.9%）よりも高く、年齢別では40代（25.4%）、80代（28.6%）と高い結果となっている他、居住地別では、計根別市街地（45.5%）が非常に高い結果となり、次いで中標津農協区域（31.8%）も高い結果となっています。居住年数別では居住年数が長くなるほど割合が高くなる傾向が伺えます。

【図表47】

図表46 地域活動・ボランティア活動へ参加している町民と参加意向の推移



図表47 地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



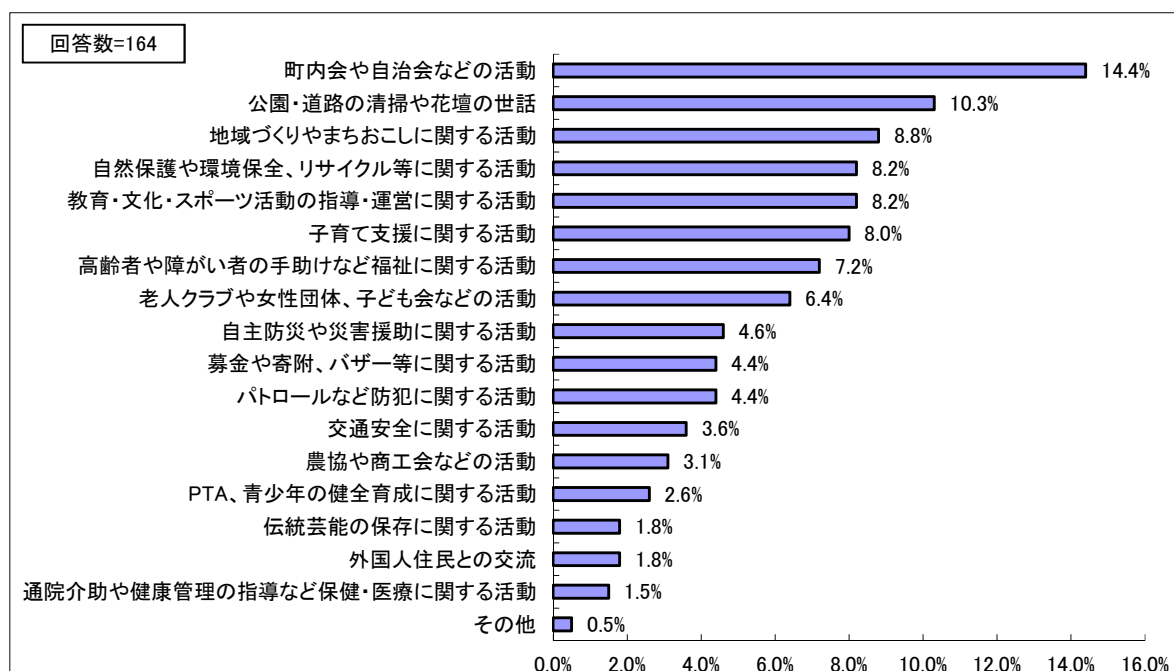
問16-1 あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加
したいと思いますか。（問16で“参加したい”を選択した方のみ）【複数回答】

- 「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」、「地域づくりやまちおこしに関する活動」の順。

問16で“参加したい”と回答した人（全体の37.4%・149名）に参加したい地域活動等についてたずねたところ「町内会や自治会などの活動」が最も高く、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」「地域づくりやまちおこしに関する活動」が高くなりました。【図表48】

年齢別では40代以降で「町内会や自治会などの活動」が最も高い結果となった一方、10代～30代では「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」、「子育て支援に関する活動」が高い結果となりました。【図表49】

図表48 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表49 参加したい地域活動等について（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会活動 16.1	地域づくりやまちおこし 11.1	公園・道路清掃、花壇の世話 10.1
	女性	町内会や自治会活動 12.7	公園・道路清掃、花壇の世話 10.6	高齢者や障がい者の手助け (同率2位) 10.6
年齢	10代・20代	教育・文化・スポーツの指導・運営 15.6	子育て支援活動 11.1	同率複数のため省略 -
	30代	子育て支援活動 16.4	教育・文化・スポーツの指導・運営 10.9	町内会や自治会活動 9.1
	40代	町内会や自治会活動 12.2	地域づくりやまちおこし 10.8	公園・道路清掃、花壇の世話 9.5
	50代	町内会や自治会活動 14.3	(同率2位3件10.0%) 「公園・道路清掃、花壇の世話」 「自然保護・環境保全・リサイクル」「地域づくりやまちおこし」	同率複数のため省略 -
	60代	町内会や自治会活動 17.6	地域づくりやまちおこし 13.2	同率複数のため省略 -
	70代	町内会や自治会活動 22.2	公園・道路清掃、花壇の世話 20.4	同率複数のため省略 -
	80代	町内会や自治会活動 28.6	老人クラブや女性団体等の活動 19.0	公園・道路清掃、花壇の世話 14.3
	90歳以上	町内会や自治会活動 100.0	回答なし -	回答なし -

問17 町立病院の医療体制に満足していますか。



● “満足している”が34.2%、“満足していない”が50.5%。

満足している 6.3%	満足していない 21.9%
どちらかといえば満足している 27.9%	どちらかといえば満足していない 28.6%

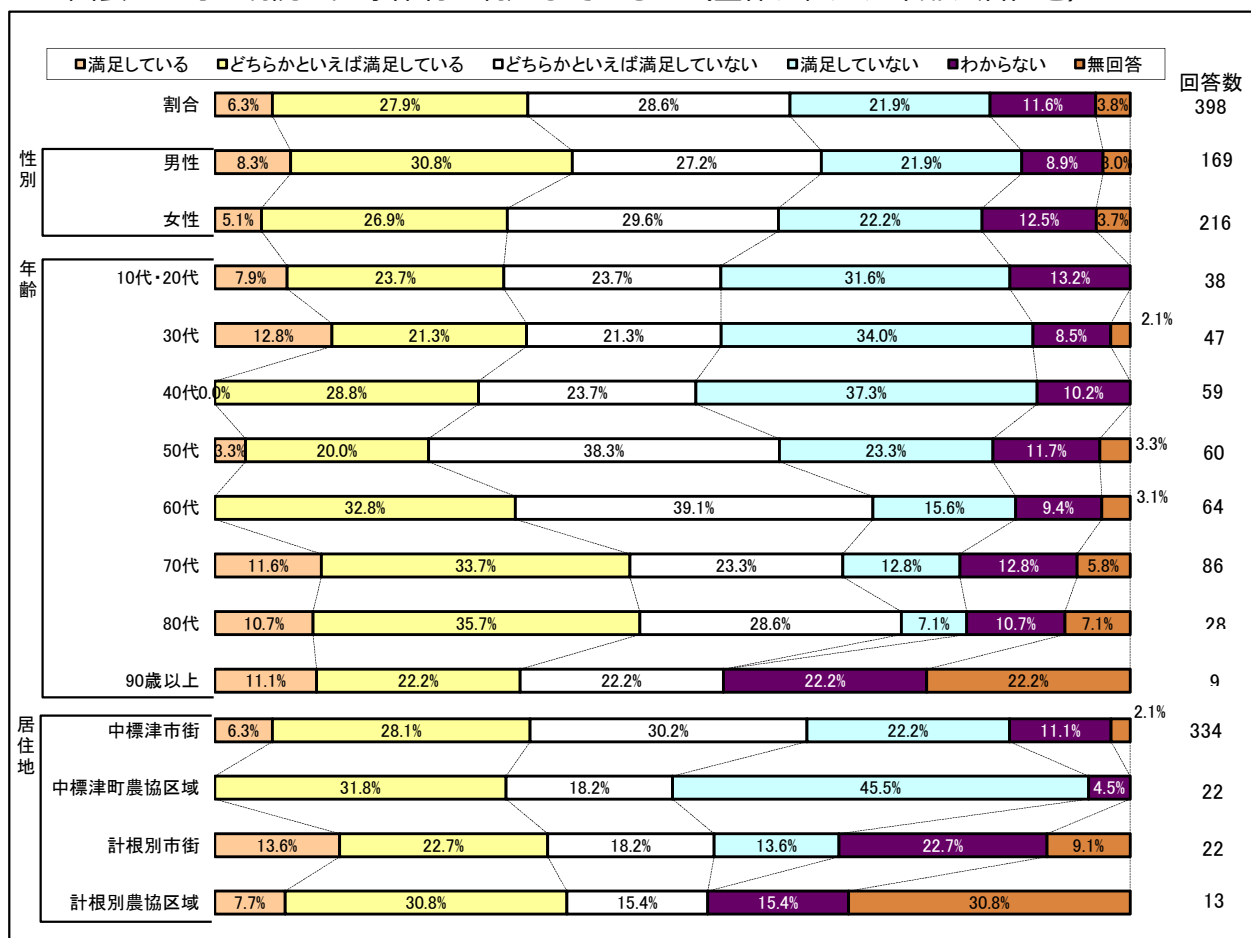
「満足している」（6.3%）と「どちらかといえば満足している」（27.9%）をあわせた“満足している”人は34.2%となり、「満足していない」（21.9%）と「どちらかといえば満足していない」（28.6%）をあわせた“満足していない”人の50.5%を下回る結果となりました。

年齢別の“満足している”人は50代（23.3%）で最も低く、70代（45.3%）、80代（46.4%）で特に高い結果となりました。【図表51】

図表50 町立病院の医療体制に満足している町民の推移



図表51 町立病院の医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。



● “そう感じる”が42.7%、“そう感じない”が39.5%。

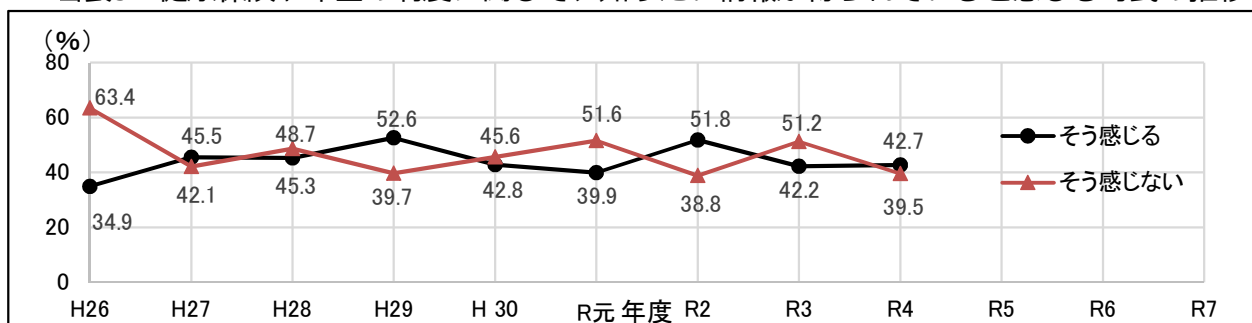
(そう感じる 8.3%
 どちらかといえばそう感じる 34.4%)
 (そう感じない 14.1%
 どちらかといえばそう感じない 25.4%)

「そう感じる」(8.3%)と「どちらかといえばそう感じる」(34.4%)をあわせた“そう感じる”人は42.7%となりました。

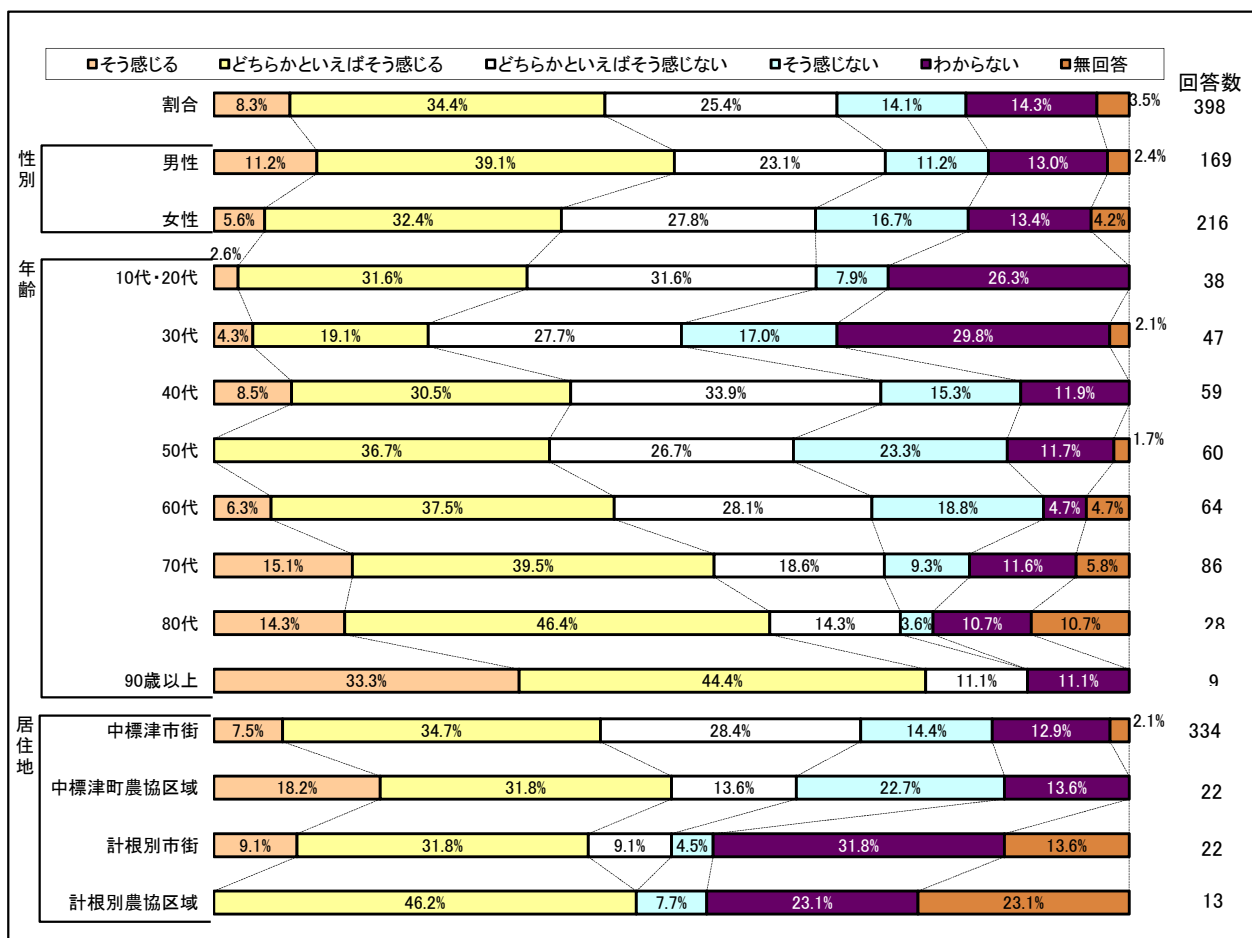
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表52】

性別では男性(50.3%)が女性(38.0%)よりも高く、年齢別では年齢が上がるにつれて“そう感じる”割合が高くなっていき90歳以上(77.7%)で最も高くなっています。【図表53】

図表52 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じる町民の推移



図表53 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られているか(全体、性別、年齢、居住地)



問19 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。



● “そう感じる”が67.6%、“そう感じない”が25.9%。

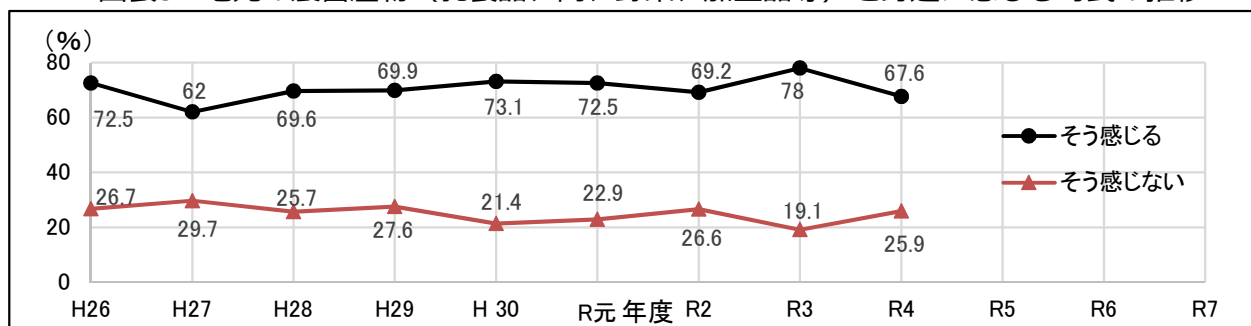
（そう感じる 25.1%	）	（そう感じない 11.3%	）
どちらかといえばそう感じる 42.5%	）	どちらかといえばそう感じない 14.6%	）

「そう感じる」（25.1%）と「どちらかといえばそう感じる」（42.5%）をあわせた“そう感じる”人は67.6%となりました。

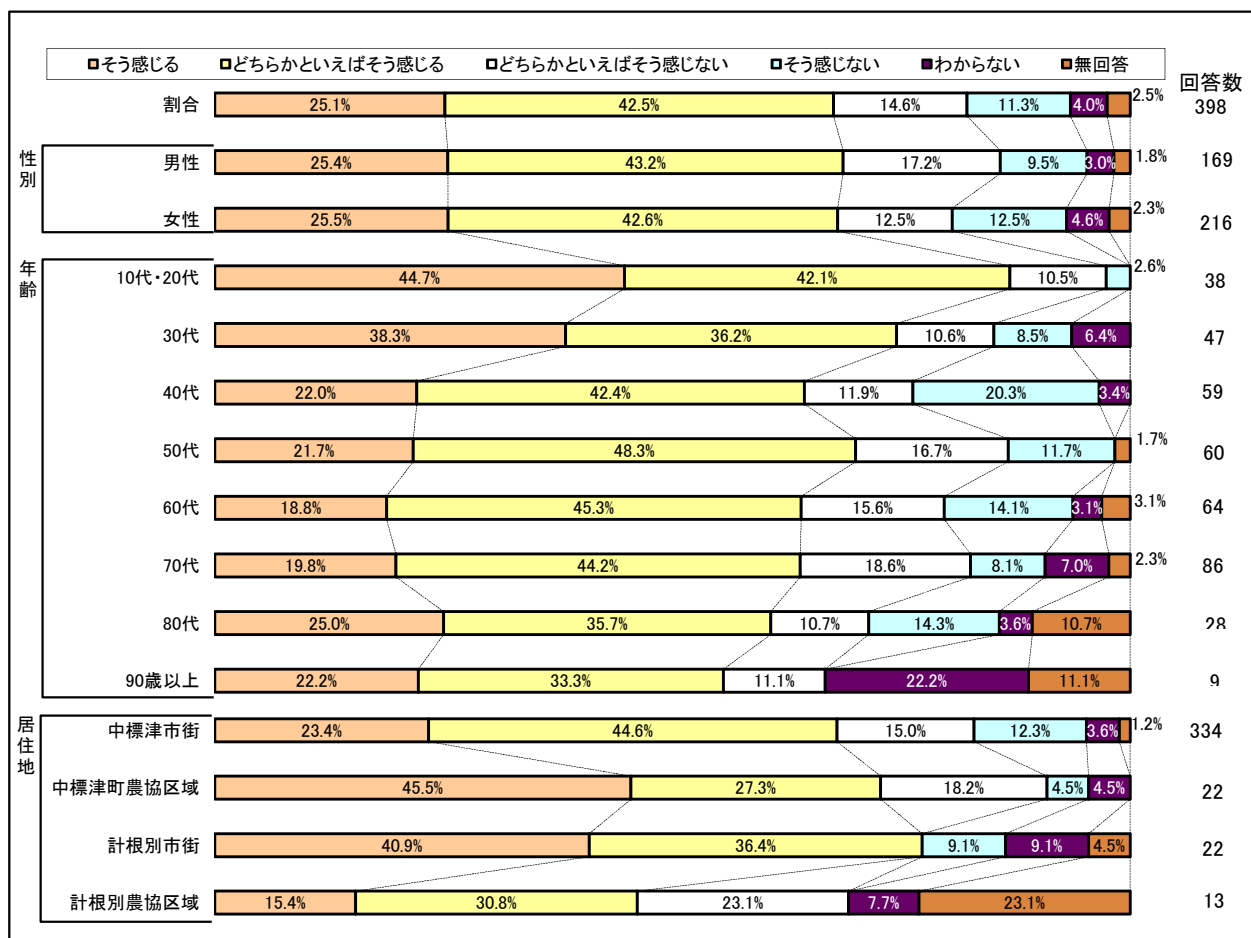
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表54】

年齢別では10代・20代（86.8%）と特に高く、次いで30代（74.5%）、以降年齢が上がるにつれて徐々に“そう感じる”人は少なくなっています。【図表55】

図表54 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じる町民の推移



図表55 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。



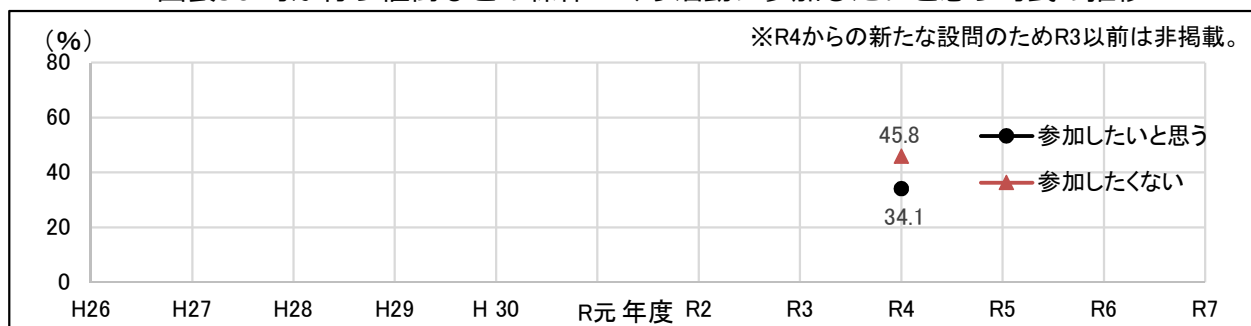
● “参加したいと思う”が34.1%、“参加したくない”が45.8%。

参加したいと思う 8.0%	参加したくない 21.4%
どちらかといえば参加したいと思う 26.1%	どちらかといえば参加したくない 24.4%

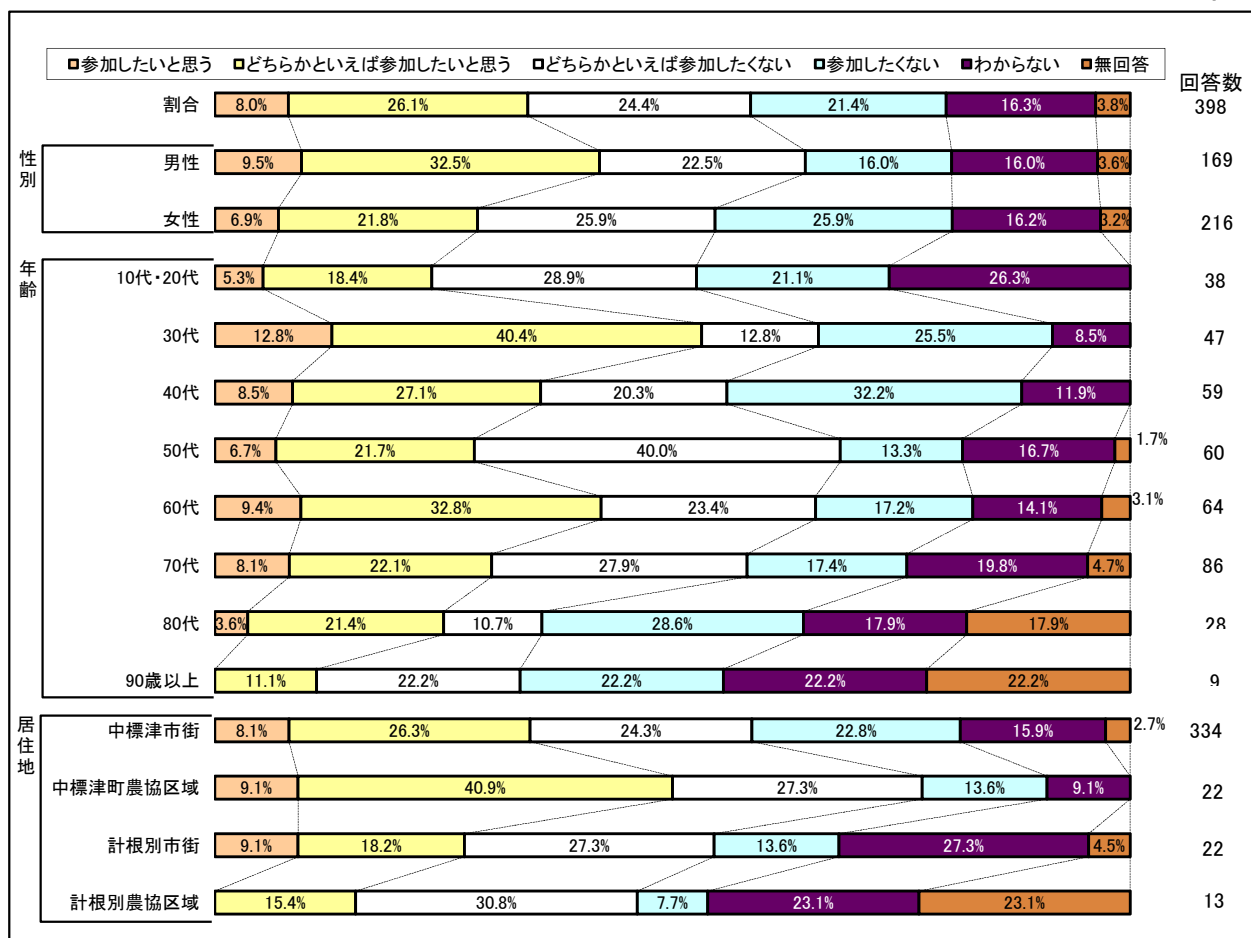
「参加したいと思う」（8.0%）と「どちらかといえば参加したいと思う」（26.1%）をあわせた“参加したいと思う”人は34.1%となりました。

性別では、男性（42.0%）が女性（28.7%）よりも高い結果となり、年齢別では30代（53.2%）が最も高く、居住地別では中標津農協区域（50.0%）が最も高い結果となりました。【図表57】

図表56 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思う町民の推移



図表57 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。



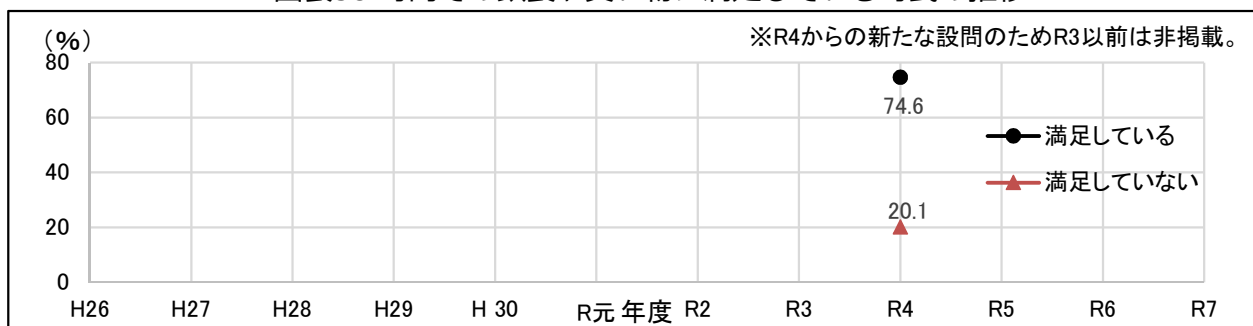
● “満足している”が74.6%、“満足していない”が20.1%。

(満足している 26.4%
 どちらかといえば満足している 48.2%)
 (満足していない 7.5%
 どちらかといえば満足していない 12.6%)

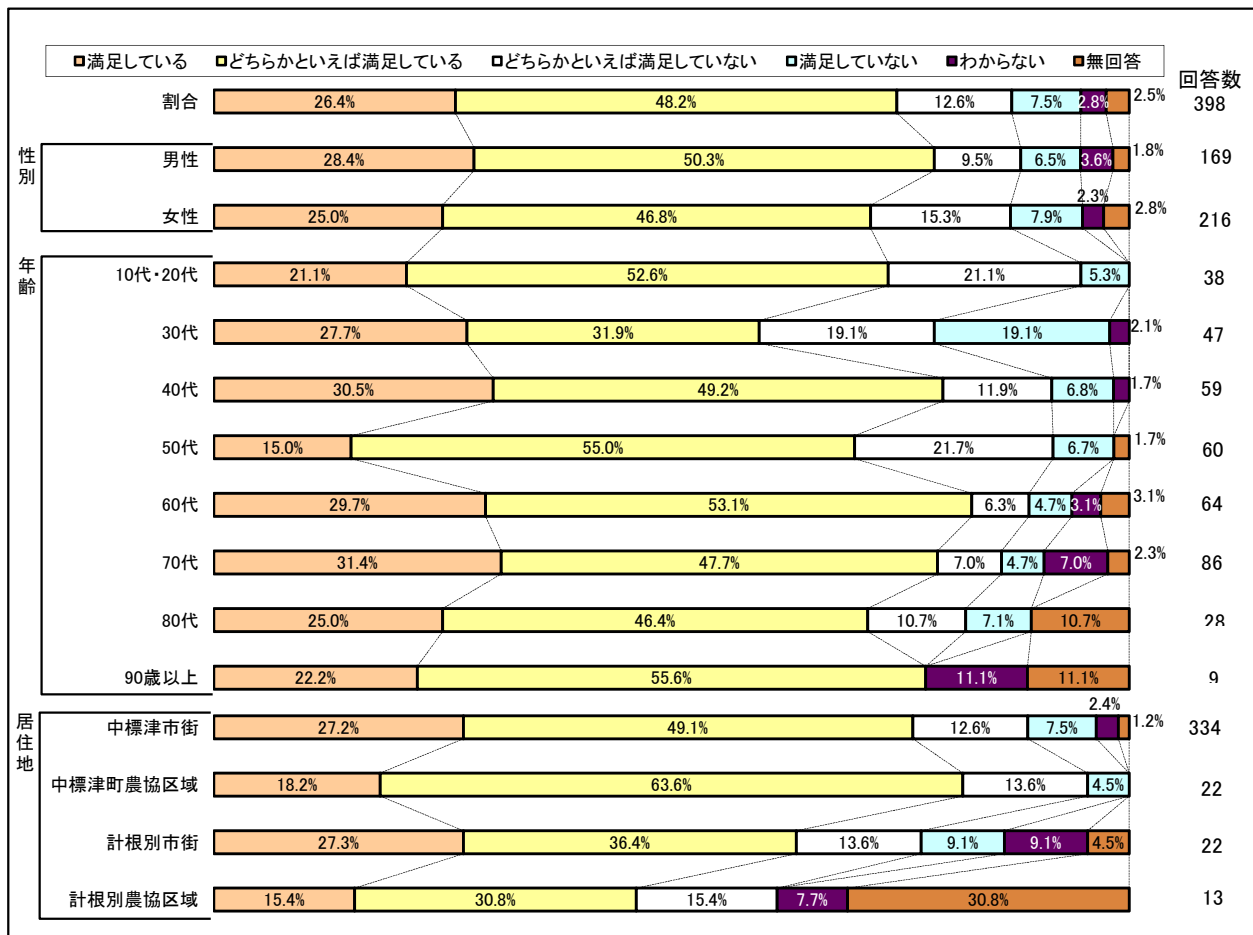
「満足している」(26.4%)と「どちらかといえば満足している」(48.2%)をあわせた“満足している”人は74.6%となりました。

性別では男性(78.7%)が女性(71.8%)よりも高い結果となった他、年齢別では30代の“満足している”人は59.6%で最も低い結果となりました。居住地別では中標津農協区域(81.8%)が最も高く、計根別農協区域(46.2%)が最も低い結果となりました。【図表59】

図表58 町内での飲食や買い物に満足している町民の推移



図表59 町内での飲食や買い物に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。



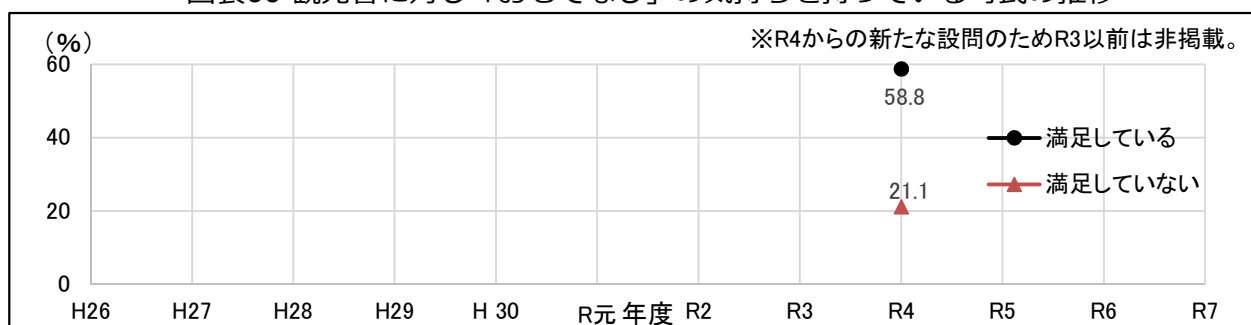
● “持っている”が58.8%、“持っていない”が21.1%。

持っている 15.6%	持っていない 7.0%
どちらかといえば持っている 43.2%	どちらかといえば持っていない 14.1%

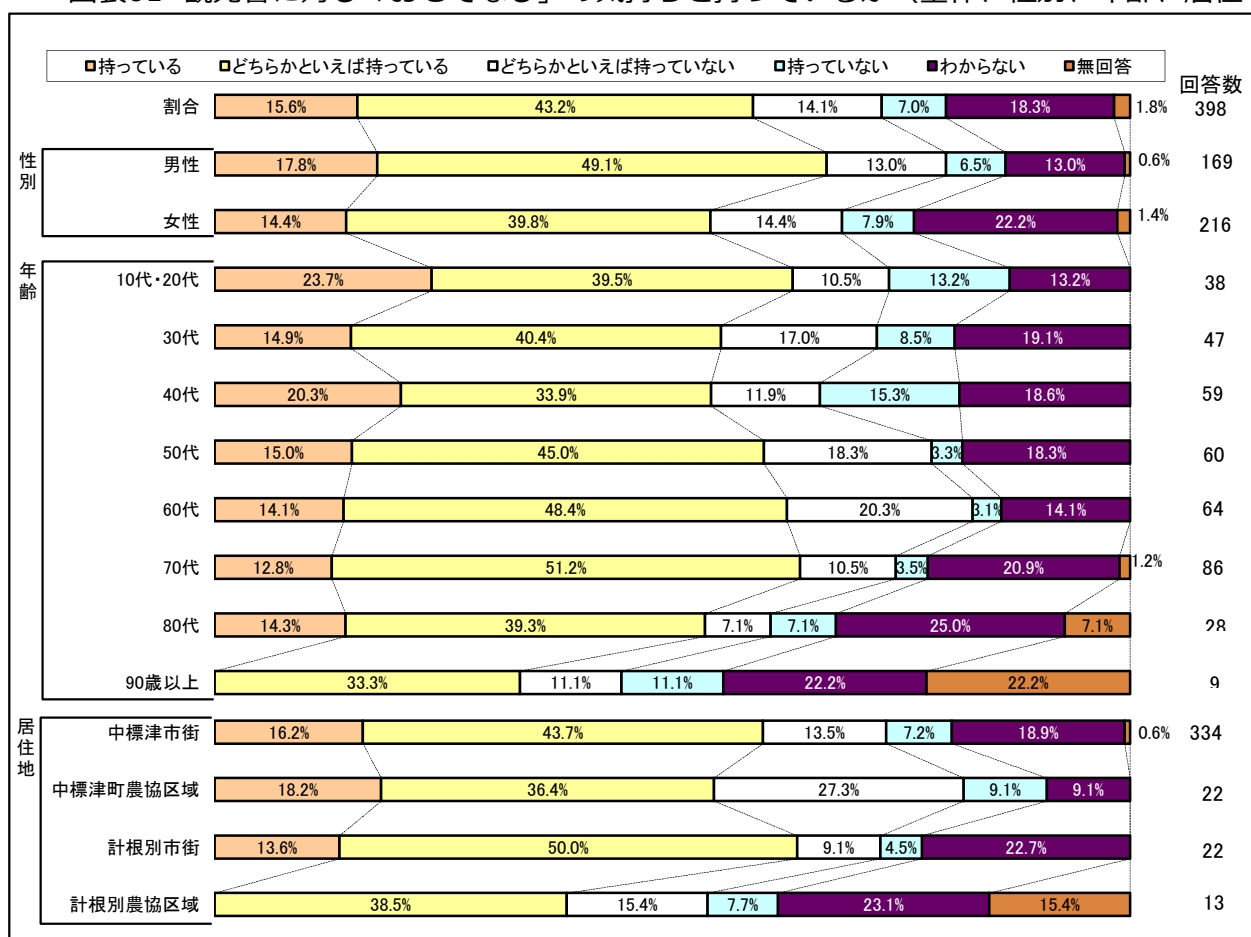
「持っている」（15.6%）と「どちらかといえば持っている」（43.2%）をあわせた“持っている”人は58.8%となりました。

性別では男性（66.9%）が女性（54.2%）よりも高い結果となった他、年齢別では90歳以上（33.3%）で最も低く、他の各年代で大きな差はない結果となりました。居住地別では計根別農協区域（38.5%）が最も低い結果となりました。【図表61】

図表60 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っている町民の推移



図表61 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか。

● “満足している”が34.4%、“満足していない”が27.6%。

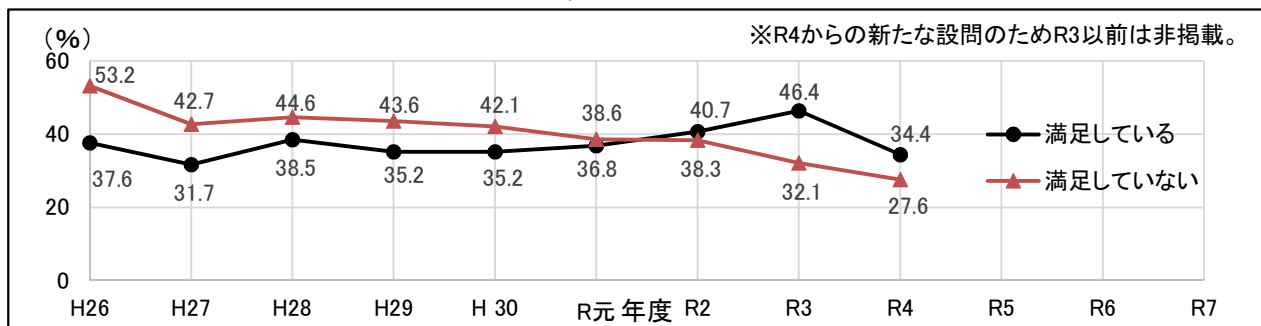
満足している 6.3%	満足していない 8.3%
どちらかといえば満足している 28.1%	どちらかといえば満足していない 19.3%

「満足している」（6.3%）と「どちらかといえば満足している」（28.1%）をあわせた“満足している”人は34.4%となりました。

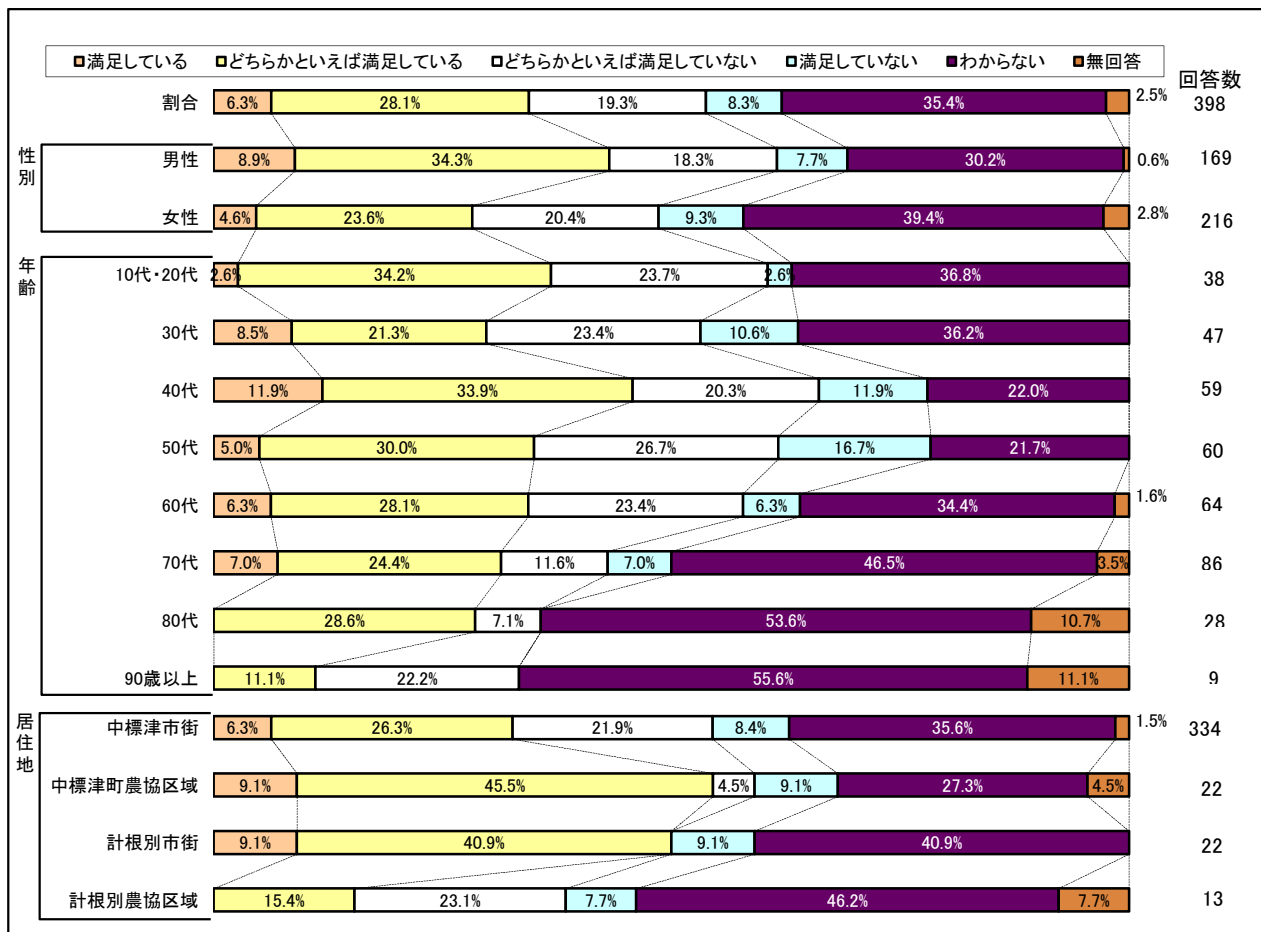
これまでの推移をみるとR3からR4にかけて大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多いことから、その影響が大きいと思われます。【図表62】

性別では男性（43.2%）が女性（28.2%）より高く、年齢別では40代（45.8%）が最も高く、居住地別では計根別農協区域（15.4%）で最も低い結果となっています。【図表63】

図表62 雇用対策に満足している町民の推移



図表63 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていますか。



● “そう感じる”が67.4%、“そう感じない”が24.6%。

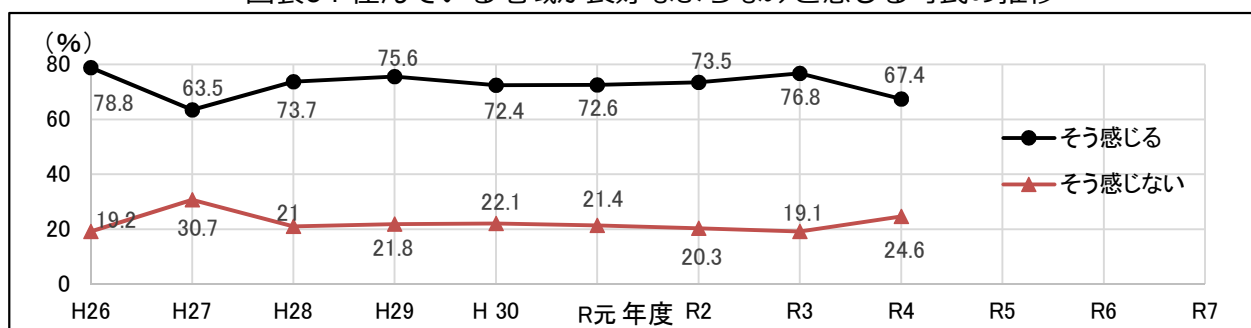
そう感じる 16.6% どちらかといえばそう感じる 50.8%	そう感じない 7.0% どちらかといえばそう感じない 17.6%
------------------------------------	-------------------------------------

「そう感じる」（16.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（50.8%）をあわせた“そう感じる”人は67.4%となりました。

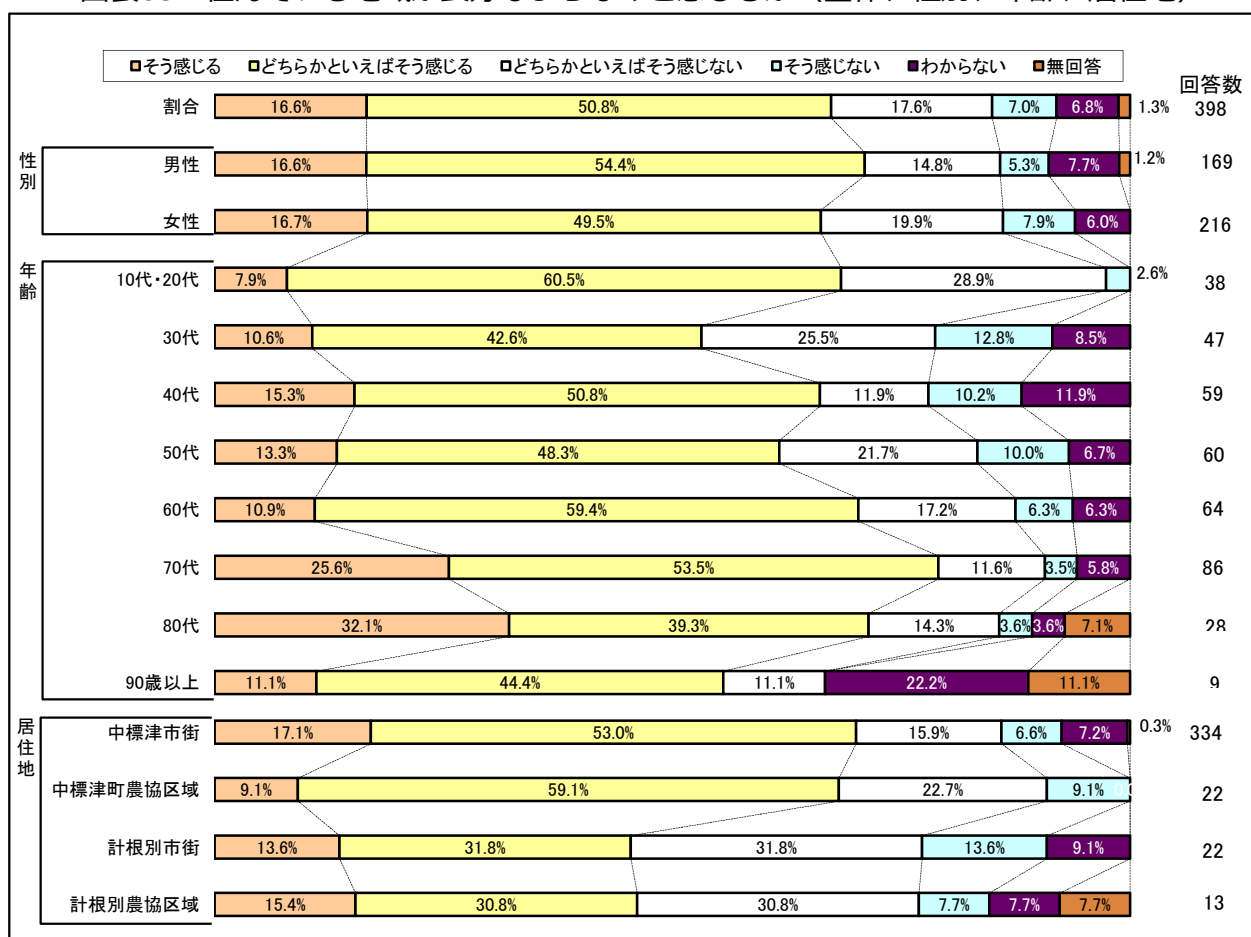
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表64】

年齢別では70代（79.1%）で最も高く、30代（53.2%）で最も低い結果となり、居住地別では計根別市街（45.4%）、計根別農協区域（46.2%）で特に低い結果となりました。【図表65】

図表64 住んでいる地域が良好なまちなみと感じる町民の推移



図表65 住んでいる地域が良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

● “意識している”が70.6%、“意識していない”が21.9%。

意識している 26.9%	意識していない 8.3%
どちらかといえば意識している 43.7%	どちらかといえば意識していない 13.6%

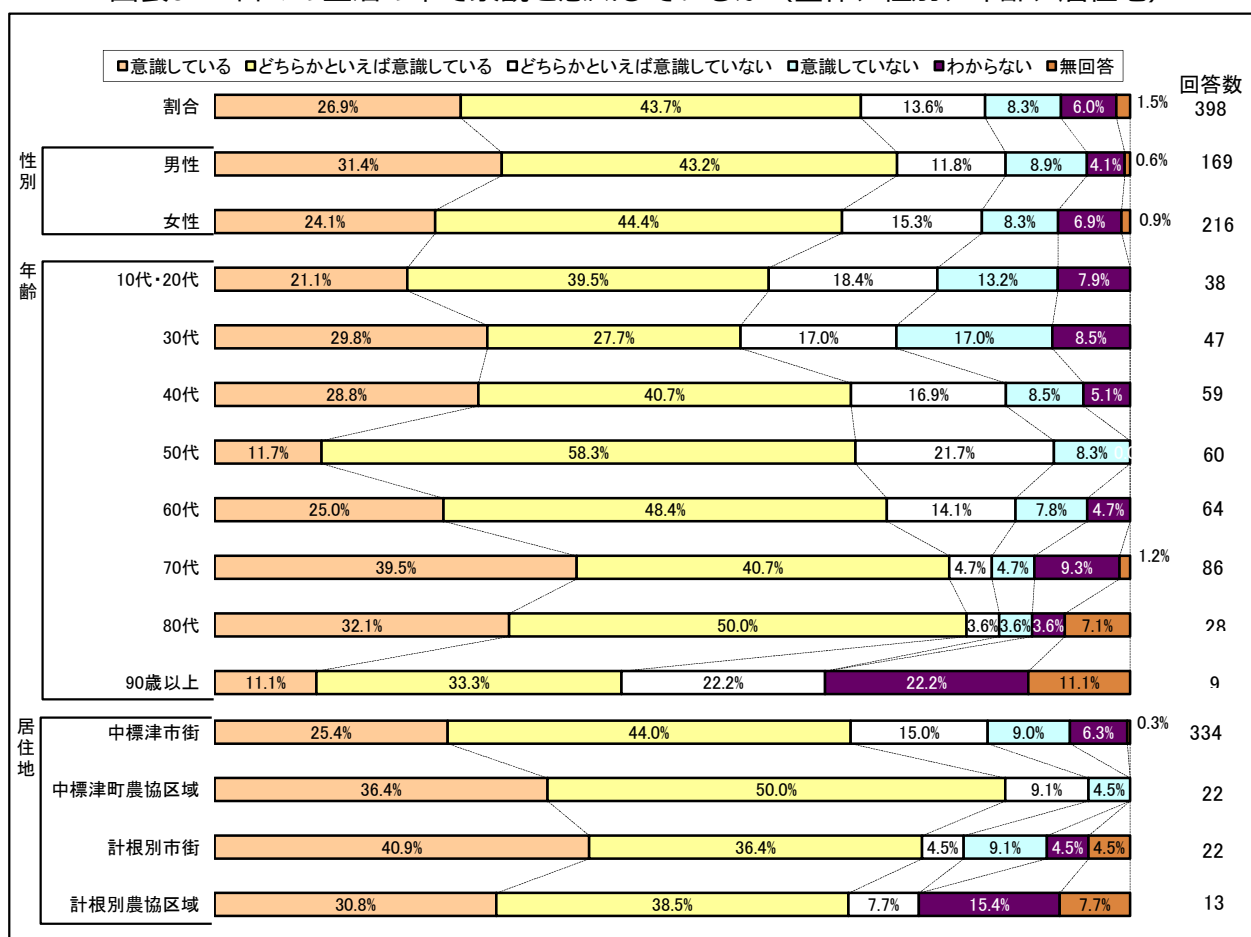
「意識している」（26.9%）と「どちらかといえば意識している」（43.7%）をあわせた“意識している”人は70.6%となりました。

性別では男性（74.6%）が女性（68.5%）よりも高く、年齢別では80代までは年代が上がるにつれて“意識している”人の割合が高くなる傾向があります。居住地別では、中標津農協区域（86.4%）で非常に高い結果となりました。【図表67】

図表66 日々の生活の中で景観を意識している町民の推移



図表67 日々の生活の中で景観を意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問26 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

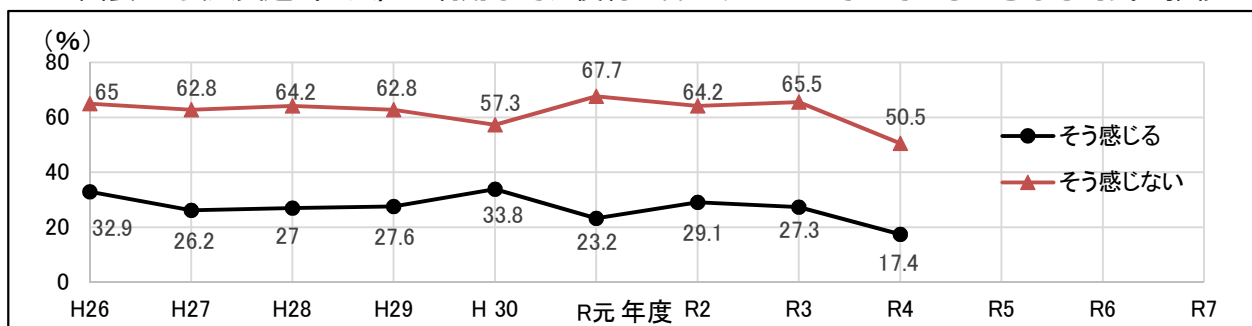


● “そう感じる”が17.4%、“そう感じない”が50.5%。

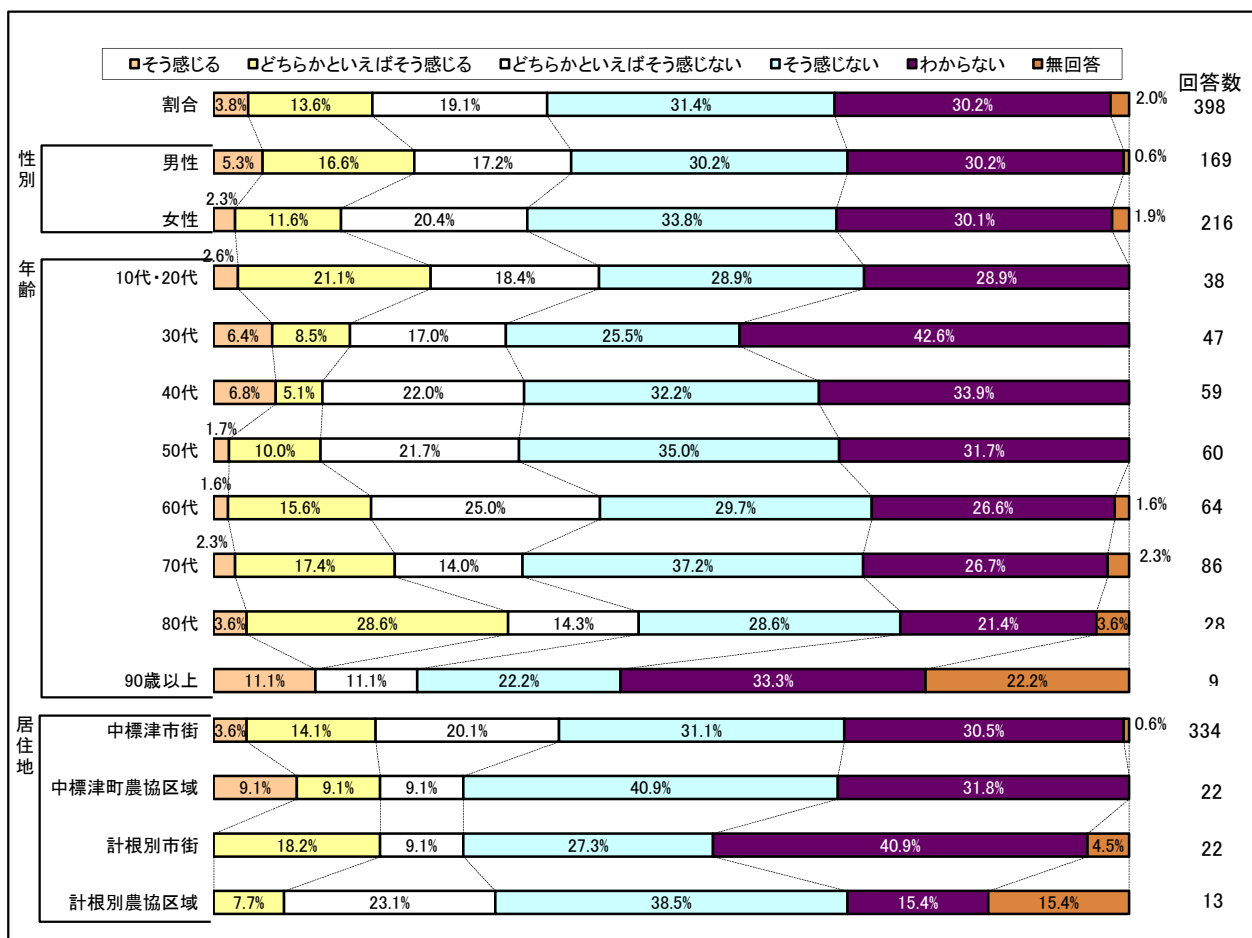
（そう感じる 3.8%	）	（そう感じない 31.4%	）
どちらかといえばそう感じる 13.6%	）	どちらかといえばそう感じない 19.1%	）

“そう感じる”人が17.4%となり、“そう感じない”人50.5%に対して大きく下回っています。これまでの推移をみると両方の人がR3からR4にかけて大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多く、その影響が大きいと思われます。【図表68】性別では“そう感じる”人は男性（21.9%）が女性（13.9%）より高く、年齢別では80代（32.2%）が最も高く、次いで10代・20代（23.7%）が高い結果となっています。【図表69】

図表68 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じる町民の推移



図表69 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している”が57.0%、“満足していない”が21.9%。

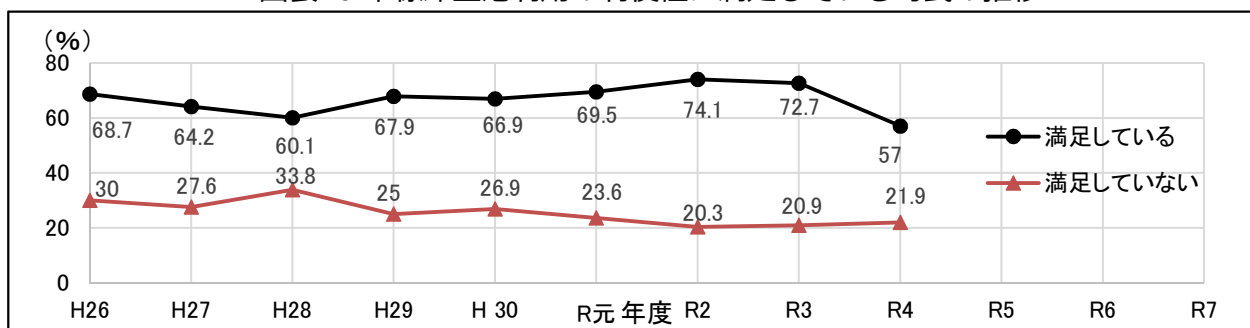
満足している 18.3%	満足していない 7.8%
どちらかといえば満足している 38.7%	どちらかといえば満足していない 14.1%

「満足している」（18.3%）と「どちらかといえば満足している」（38.7%）をあわせた“満足している”人は57.0%となりました。

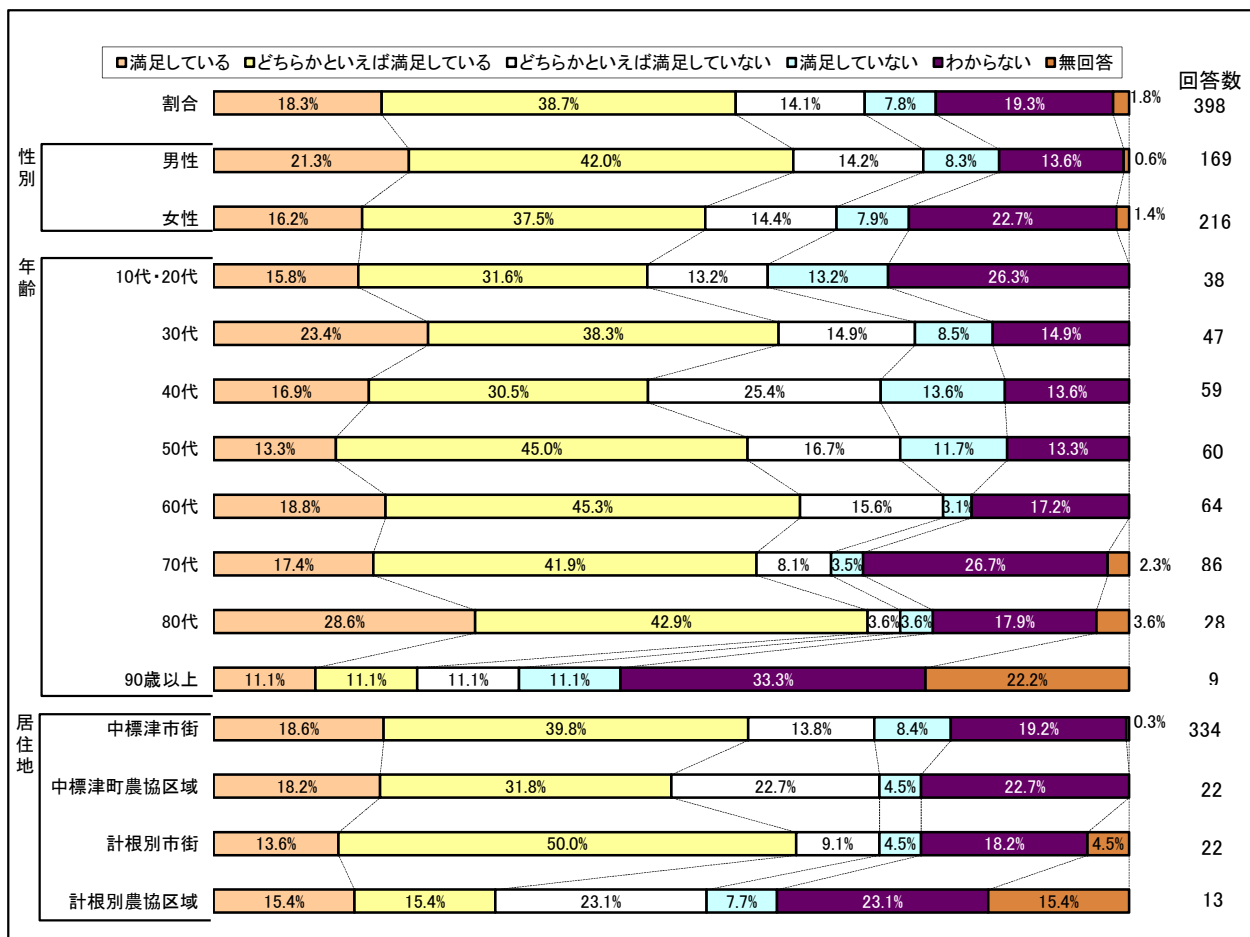
これまでの推移をみるとR3からR4にかけて大きく減少していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多く、その影響が大きいと思われます。【図表70】

年齢別では80代（71.5%）で最も高く、90歳以上（22.2%）で最も低い結果となり、居住地別では計根別農協区域（30.8%）で最も低い結果となりました。【図表71】

図表70 中標津空港利用の利便性に満足している町民の推移



図表71 中標津空港利用の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問28 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。



● “している”が55.2%、“していない”が41.7%。

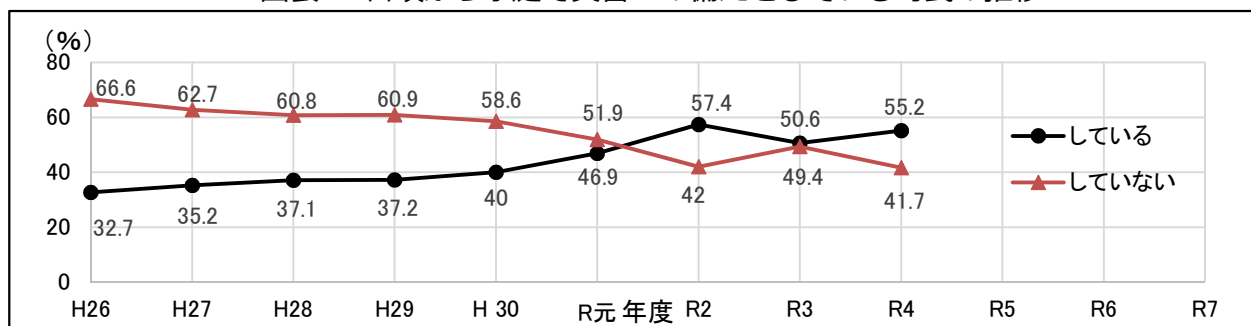
している 16.3% どちらかといえばしている 38.9%	していない 11.8% どちらかといえばしていない 29.9%
--	--

「している」（16.3%）と「どちらかといえばしている」（38.9%）をあわせた“している”人は55.2%となりました。

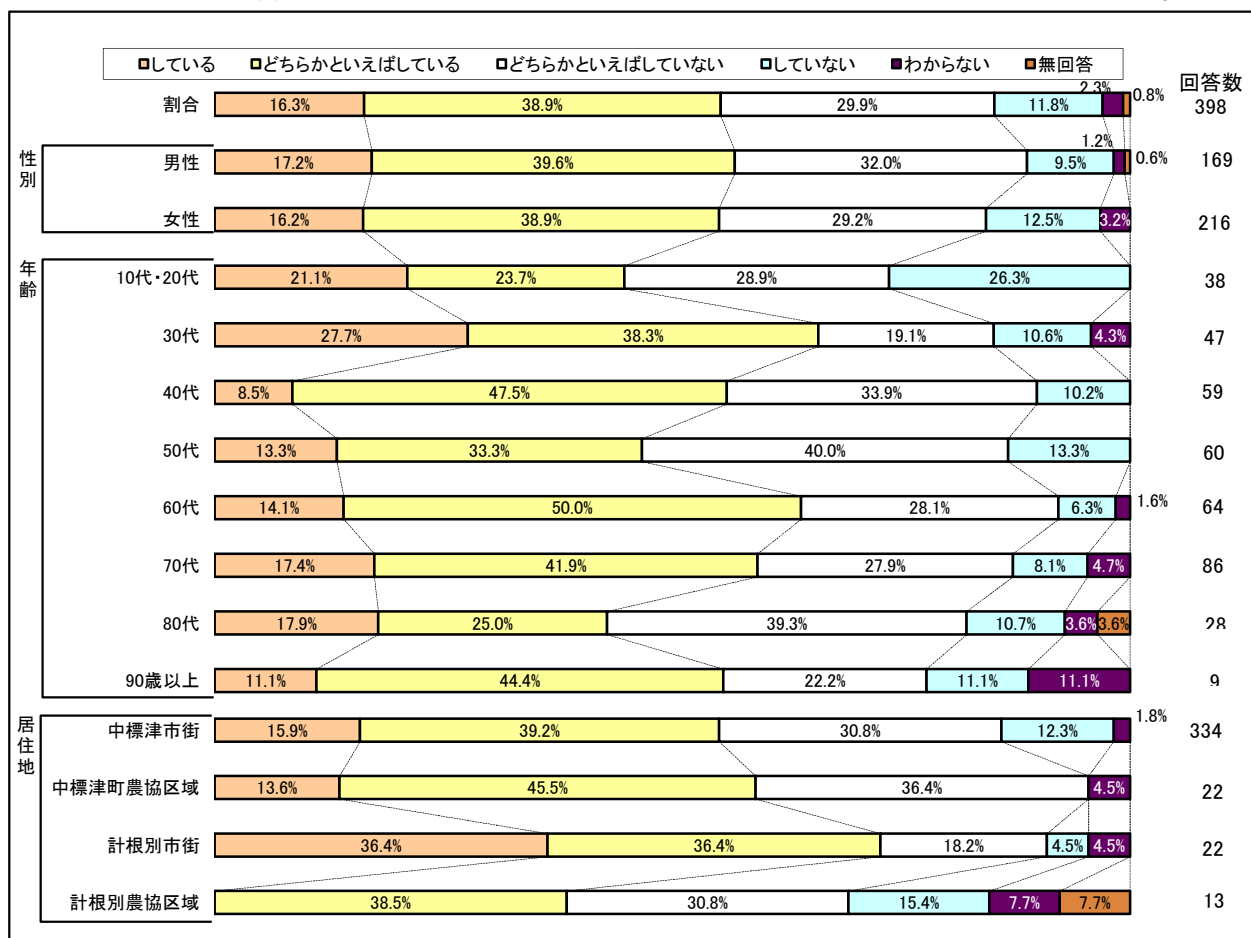
これまでの推移を見ると“している”人は増加傾向であることがわかります。【図表72】

年齢別では30代（66.0%）が最も高く、次いで60代（64.1%）、居住地別では計根別市街（72.8%）が最も高く、計根別農協区域（38.5%）で最も低い結果となりました。【図表73】

図表72 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の推移



図表73 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）

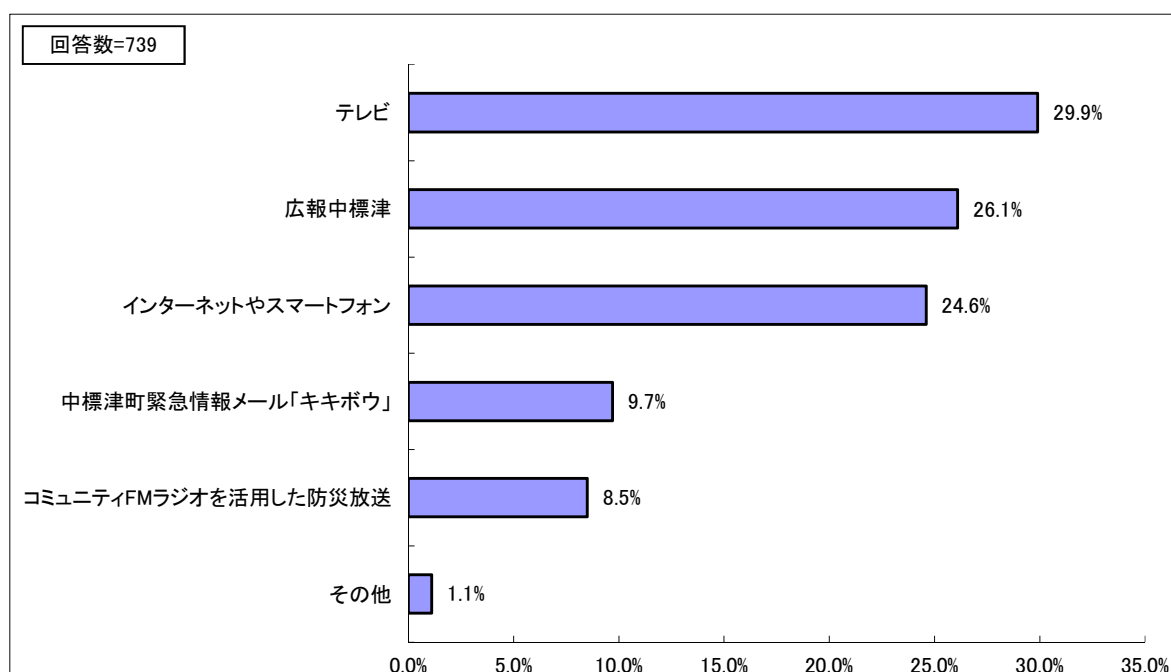


問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。【複数回答】

- 「テレビ」が第1位。次いで「広報中標津」、「インターネットやスマートフォン」の順。

防災のための情報をどこから得ているかたずねたところ「テレビ」が最も多く、次いで「広報中標津」、「インターネットやスマートフォン」が多くなりました。【図表74】
年齢別では10～50代で「インターネットやスマートフォン」が最も多くなった一方、70代以上では上位3項目に入りませんでした。「テレビ」「広報中標津」はすべての年代において高い回答割合となっています。【図表75】

図表74 防災のための情報をどこから得ているか（全体／複数回答）



図表75 防災のための情報をどこから得ているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	テレビ 30.6	インターネット・スマートフォン 25.2	広報中標津 21.6
	女性	広報中標津 29.9	テレビ 29.4	インターネット・スマートフォン 24.5
年齢	10代・20代	インターネット・スマートフォン 41.2	テレビ 30.9	広報中標津 16.2
	30代	インターネット・スマートフォン 41.9	テレビ 23.3	広報中標津 16.3
	40代	インターネット・スマートフォン 33.3	テレビ 26.9	広報中標津 23.1
	50代	インターネット・スマートフォン 30.8	広報中標津 25.0	テレビ 21.7
	60代	広報中標津 28.8	テレビ 27.3	インターネット・スマートフォン 20.1
	70代	テレビ 38.3	広報中標津 33.1	コミュニティFMの防災放送 9.7
	80代	テレビ 44.4	広報中標津 37.8	コミュニティFMの防災放送 6.7
	90歳以上	テレビ 71.4	広報中標津 28.6	回答なし -

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。



● “参加している”が12.5%、“参加していない”が78.9%。

参加している 5.0%
たまに参加している 7.5%

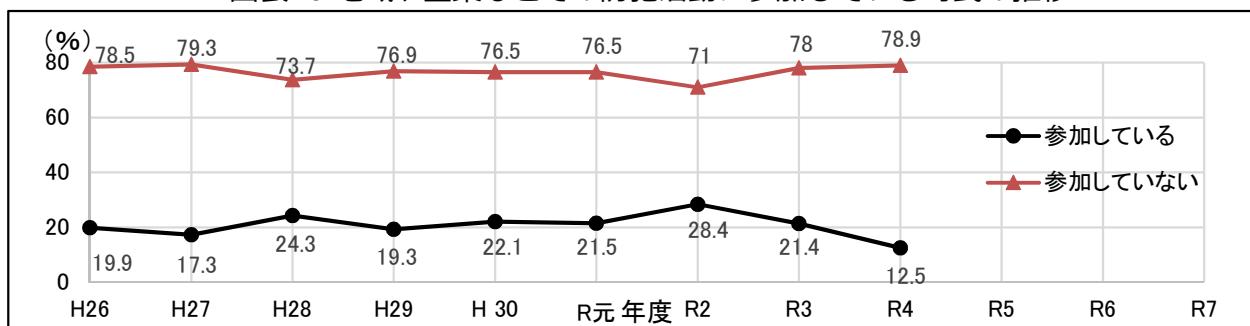
参加していない 64.1%
あまり参加していない 14.8%

「参加している」（5.0%）と「たまに参加している」（7.5%）をあわせた“参加している”人は12.5%となりました。

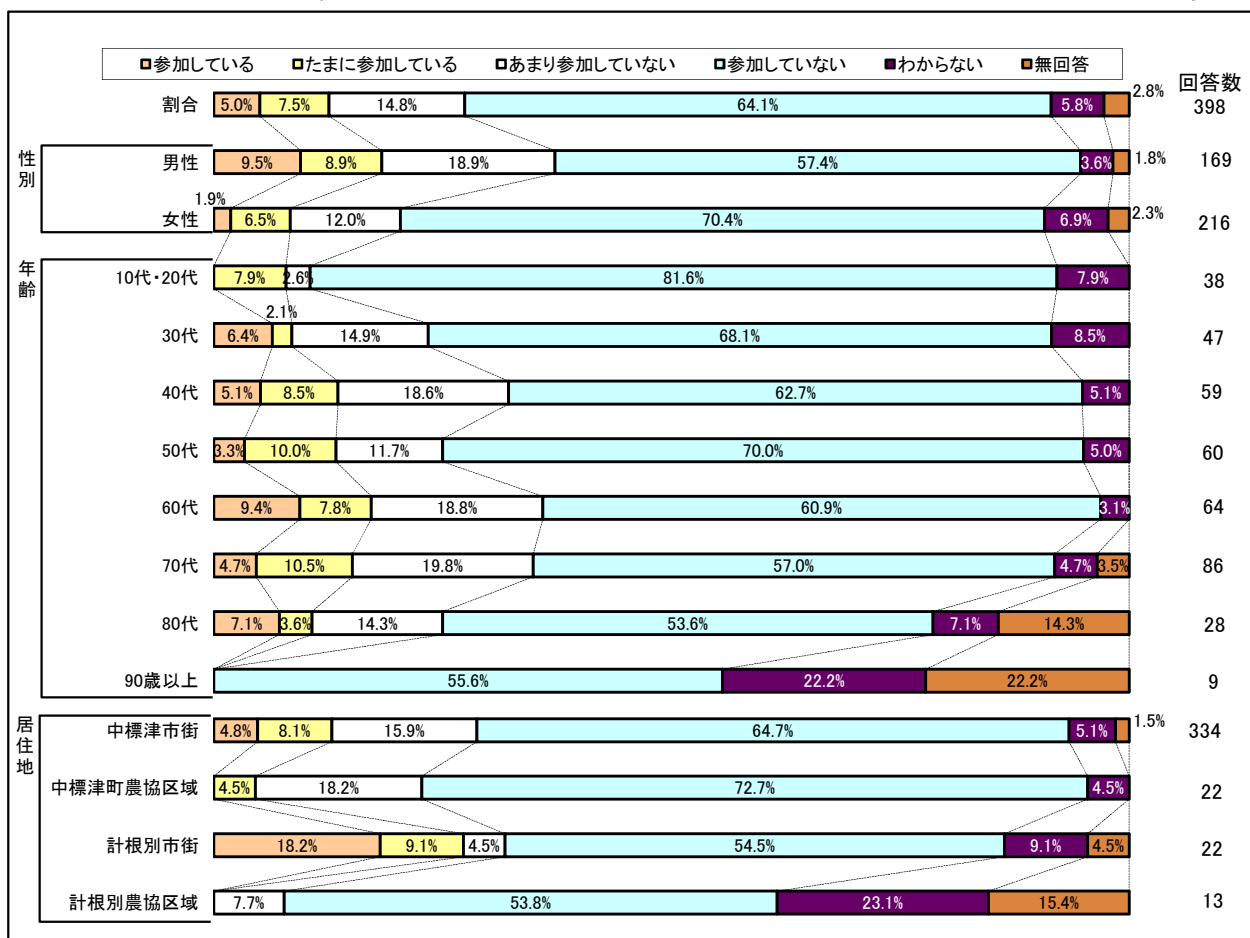
これまでの推移を見るとR2をピークに減少傾向であることがわかります。【図表76】

性別では男性（18.4%）が女性（8.4%）よりも高く、年齢別では60代（17.2%）が最も高く、居住地別では計根別市街（27.3%）が最も高い結果となりました。【図表77】

図表76 地域や企業などでの防犯活動に参加している町民の推移



図表77 地域や企業などでの防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。



● “そう感じる”が31.4%、“そう感じない”が45.5%。

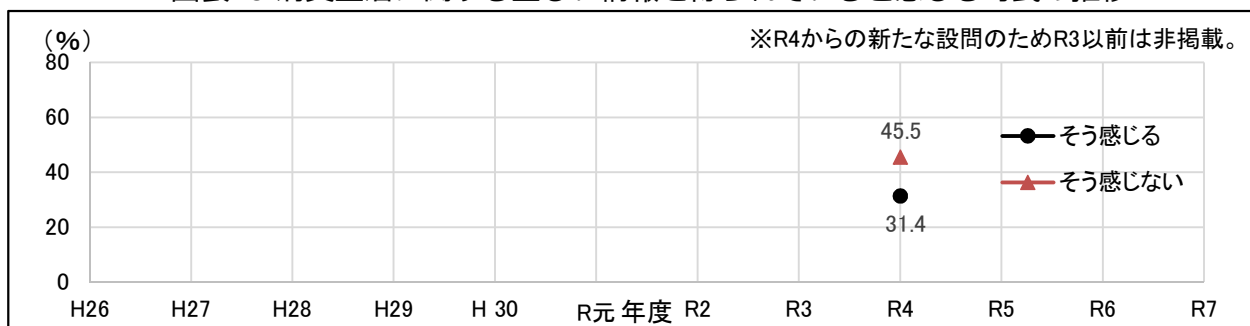
そう感じる 4.0% どちらかといえばそう感じる 27.4%	そう感じない 17.6% どちらかといえばそう感じない 27.9%
-----------------------------------	--------------------------------------

“そう感じる”人が31.4%に対し、“そう感じない”人は45.5%となりました。

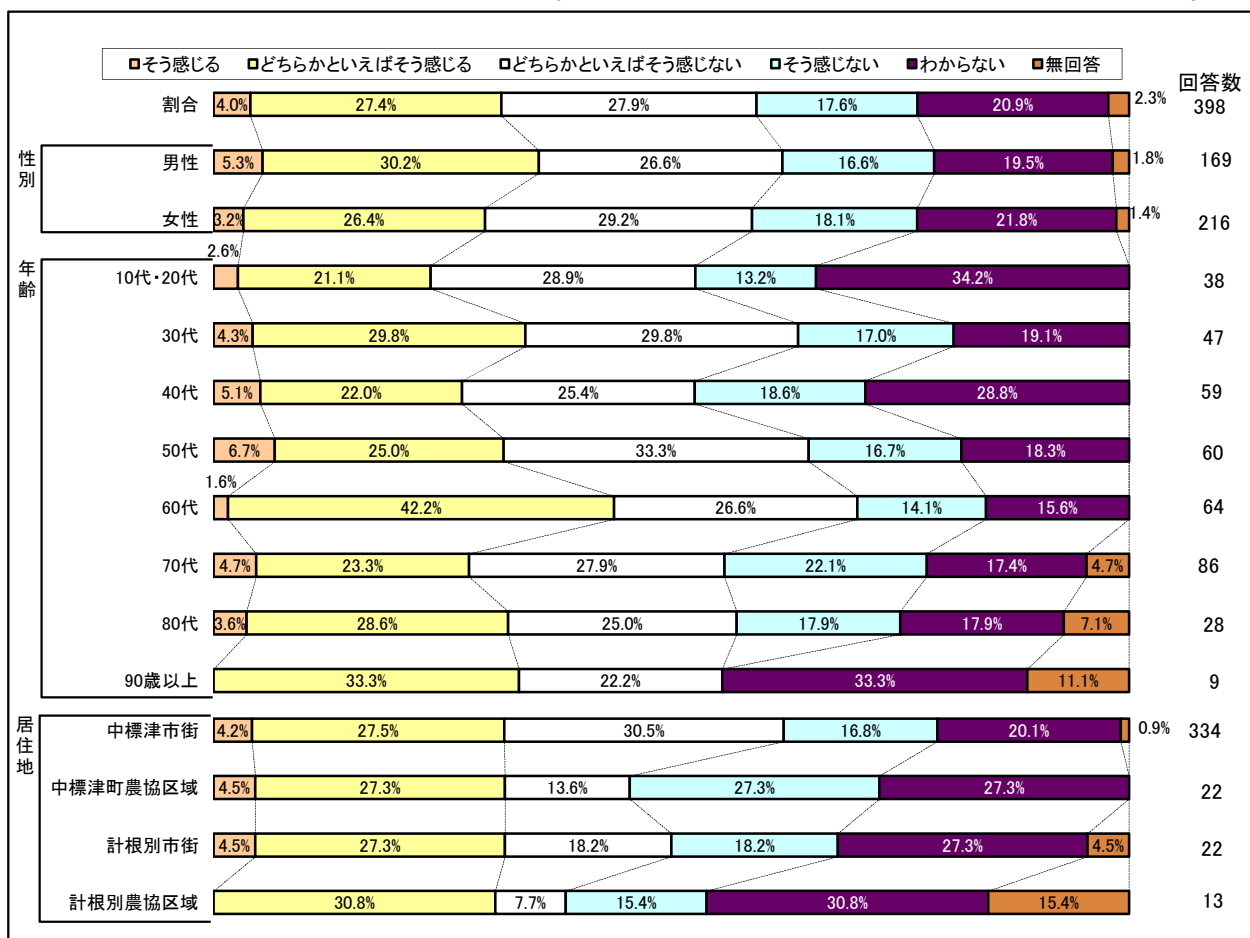
性別では男性（35.5%）が女性（29.6%）よりも高く、年齢別では60代（43.8%）が最も高く、10代・20代（23.7%）が最も低い結果となりました。

居住地別では、各地区とも“そう感じる”人の割合は同水準でしたが、“そう感じない”人の割合については中標津市街（47.3%）が最も高い結果となりました。【図表79】

図表78 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じる町民の推移



図表79 消費生活に関する正しい情報を得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問32 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意識していますか。

● “意識している”が80.6%、“意識していない”が16.1%。

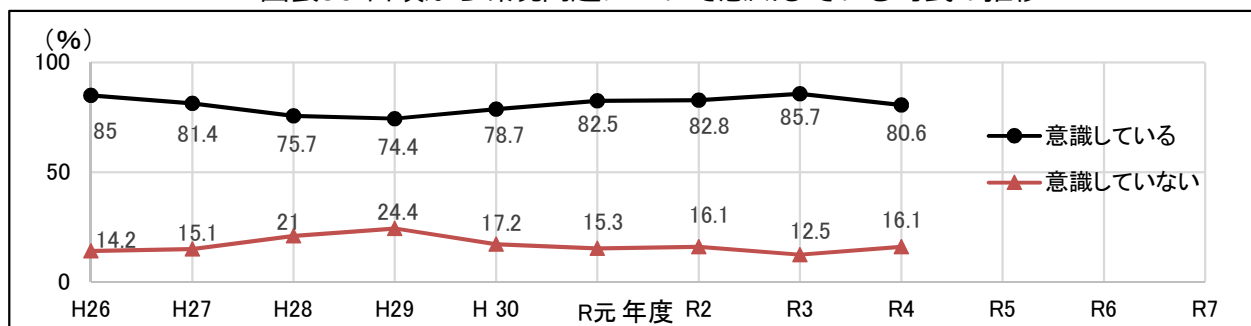
意識している 29.6%	意識していない 7.8%
どちらかといえば意識している 51.0%	どちらかといえば意識していない 8.3%

「意識している」（29.6%）と「どちらかといえば意識している」（51.0%）をあわせた“意識している”人は80.6%となりました。

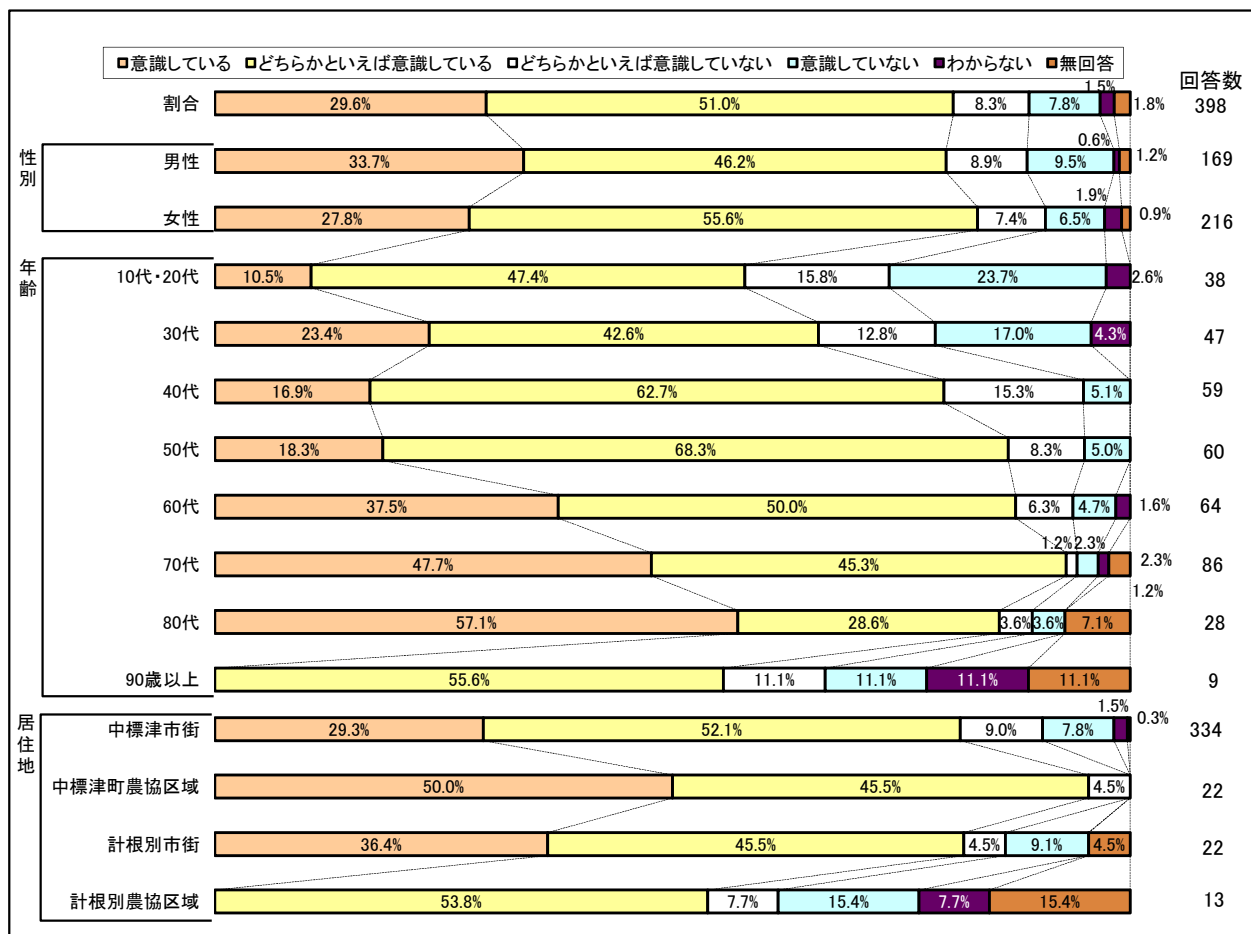
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表80】

年齢別では10代・20代（57.9%）から年齢が上がるに従って上がっていき70代（93.0%）で最も高い結果となりました。居住地別では中標津農協区域（95.5%）と最も高い結果となりました。【図表81】

図表80 日頃から環境問題について意識している町民の推移



図表81 日頃から環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問33 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している”が70.9%、“していない”が21.6%。

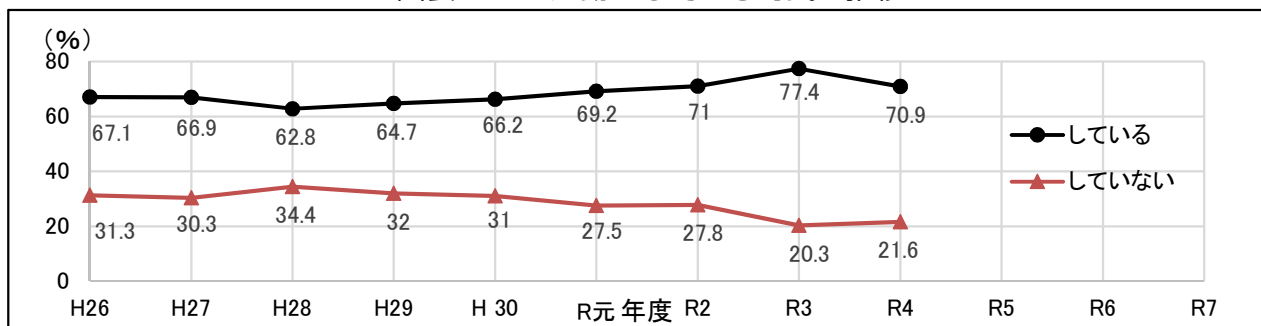
（している 22.4%	（していない 9.3%
どちらかといえばしている 48.5%	どちらかといえばしていない 12.3%

「している」（22.4%）と「どちらかといえばしている」（48.5%）をあわせた“している”人は70.9%となりました。

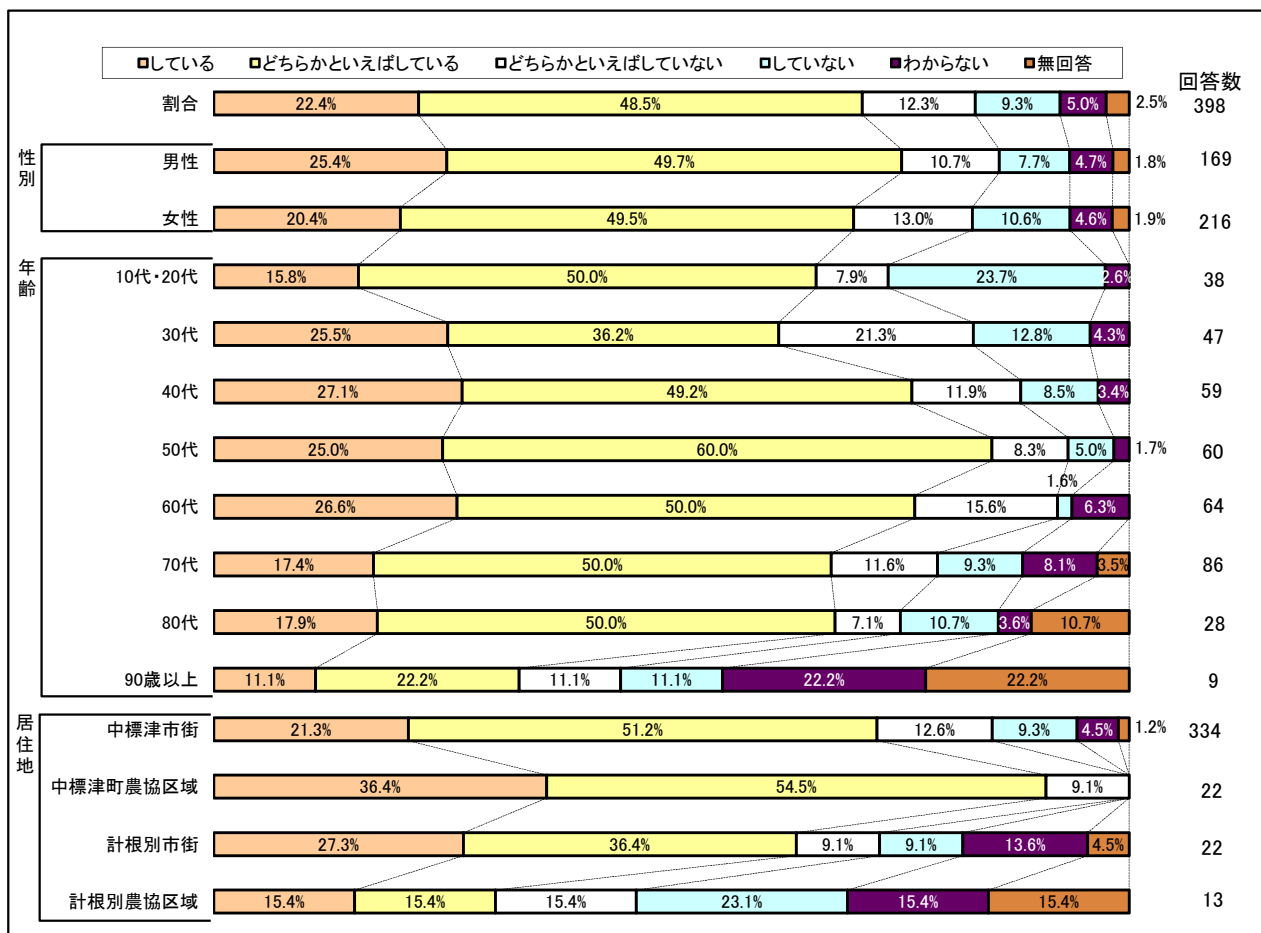
これまでの推移を見ると徐々に増加傾向であることが分かります。【図表82】

年齢別では50代（85.0%）で最も高く、居住地別では中標津農協区域（90.9%）で最も高く、計根別農協区域（30.8%）で最も低い結果となりました。【図表83】

図表82 3R運動をしている町民の推移



図表83 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。



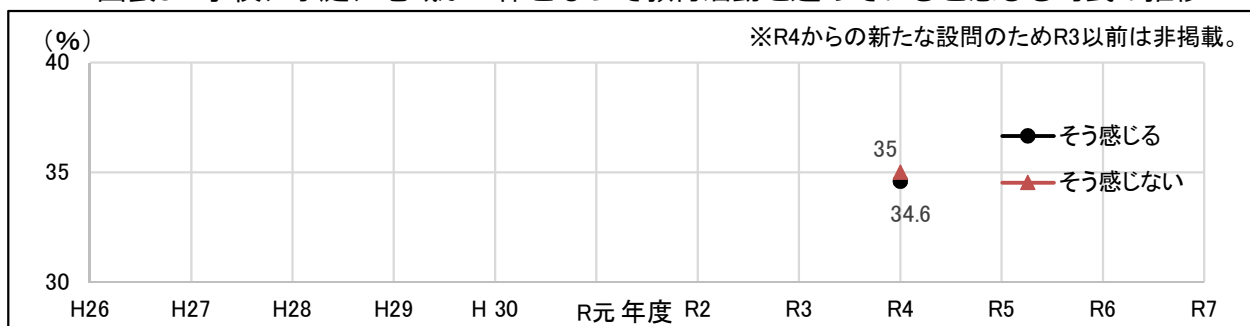
● “そう感じる”が34.6%、“そう感じない”が35.0%。

(そう感じる 6.5% どちらかといえばそう感じる 28.1%)	(していない 13.1% どちらかといえばしていない 21.9%)
-------------------------------------	--------------------------------------

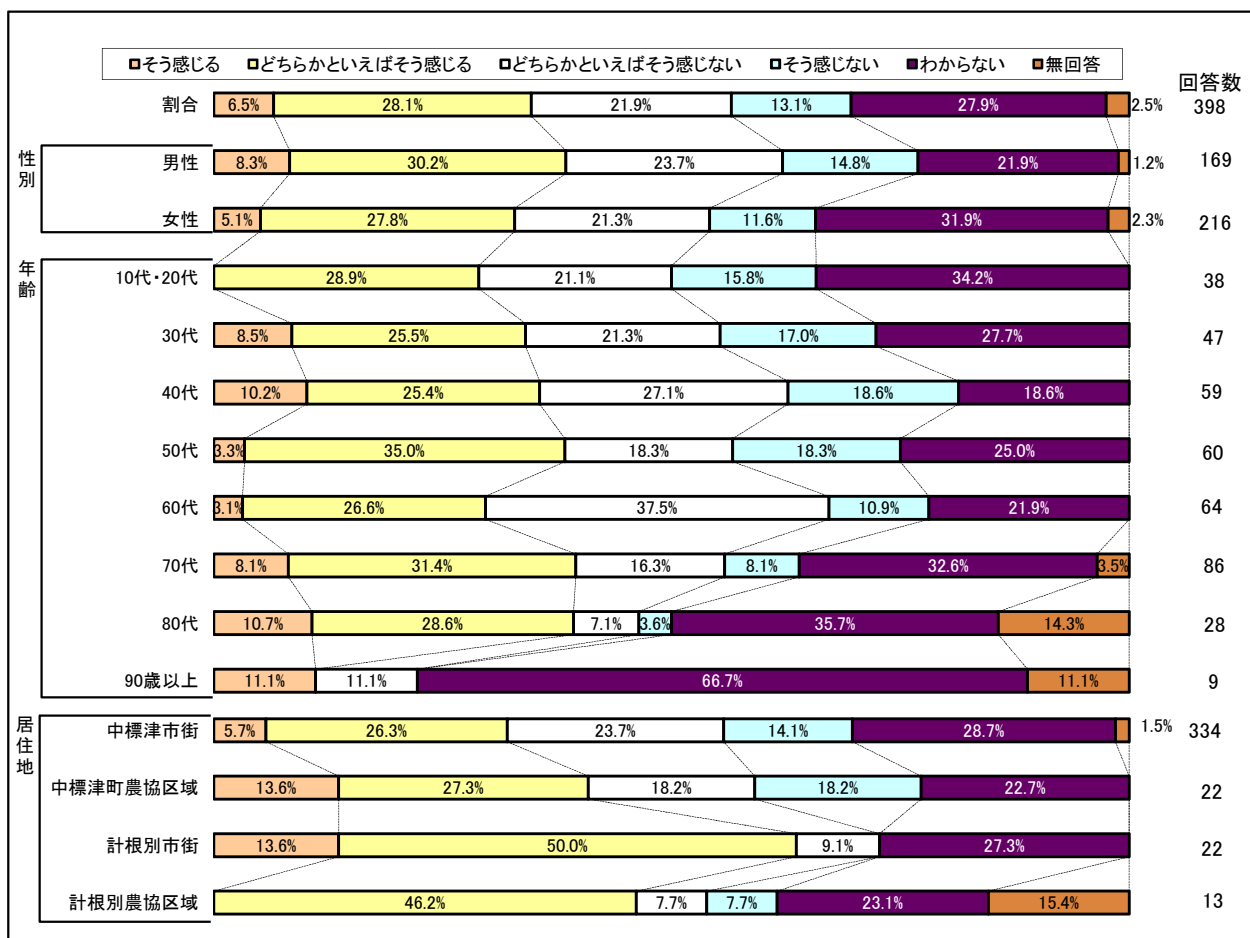
「そう感じる」（6.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（28.1%）をあわせた“そう感じる”人は34.6%となりました。

性別では男性（38.5%）が女性（32.9%）よりも高く、年齢別では70代（39.5%）、80代（39.3%）で特に高い一方、90歳以上（11.1%）で最も低い結果となり、居住地別では計根別市街（63.6%）で最も高い結果となりました。【図表85】

図表84 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じる町民の推移



図表85 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問35 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足していますか。



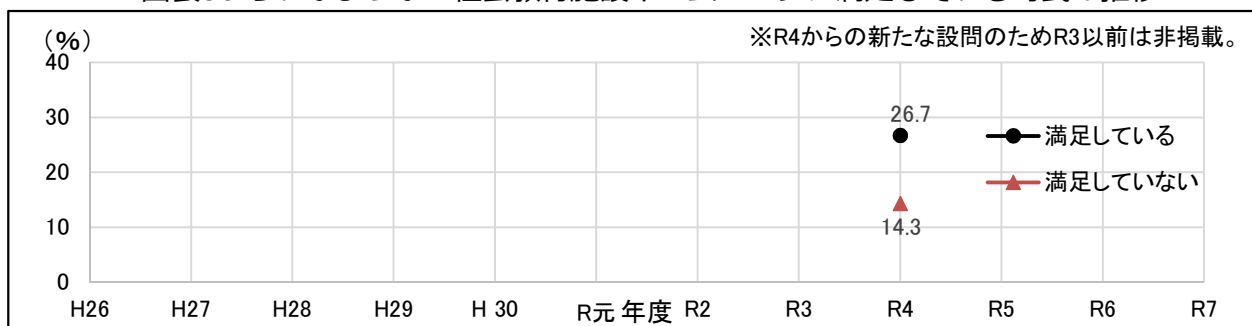
● “満足している”が26.7%、“満足していない”が14.3%。

満足している 3.3%	満足していない 5.3%
どちらかといえば満足している 23.4%	どちらかといえば満足していない 9.0%

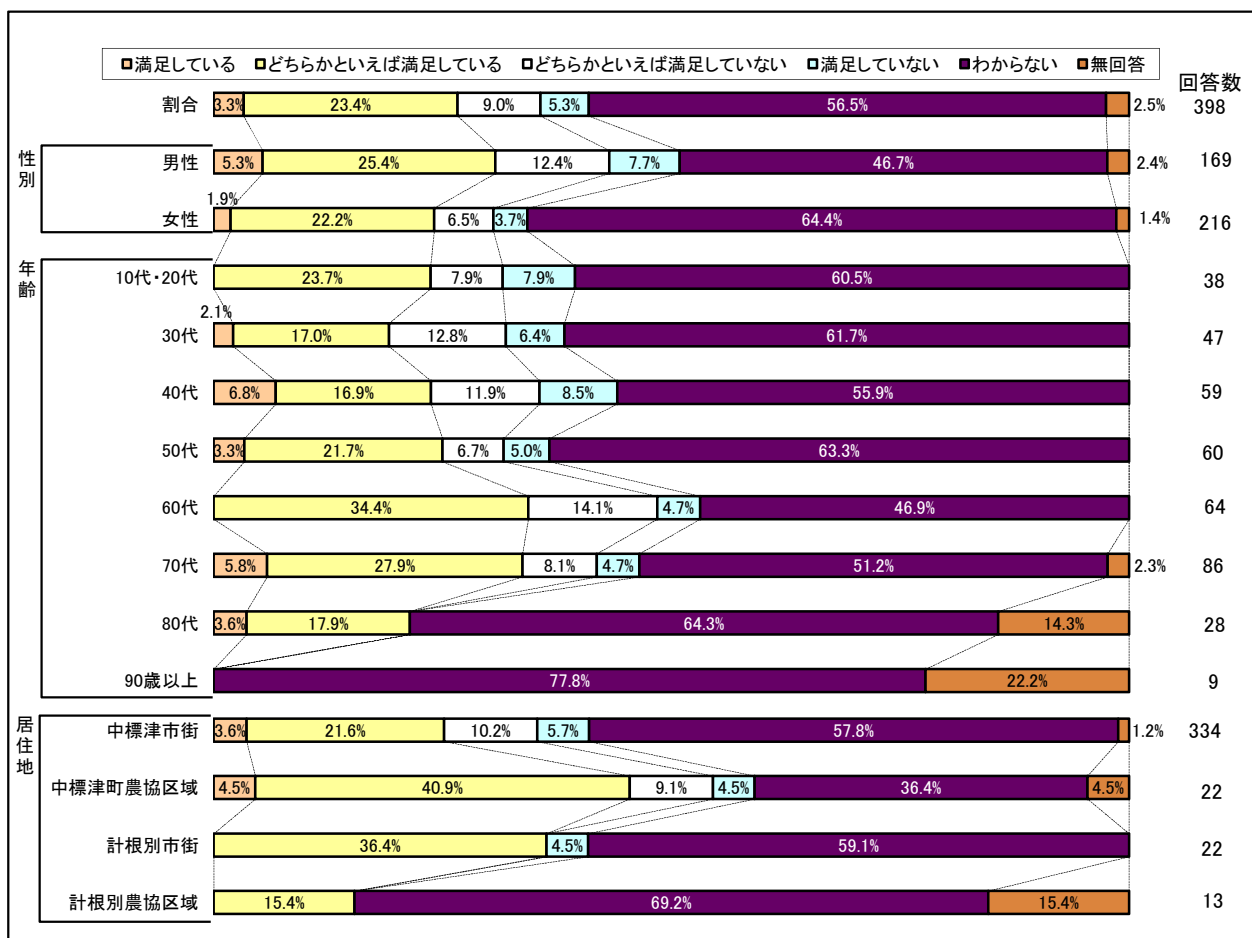
「満足している」（3.3%）と「どちらかといえば満足している」（23.4%）をあわせた“満足している”人は26.7%となりました。また、「わからない」を選んだ方が56.5%と半数以上となる結果となりました。

年齢別では60代（34.4%）、70代（33.7%）で特に高くなったほか、居住地別では中標津農協区域（45.4%）と最も高い結果となりました。【図表87】

図表86 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足している町民の推移



図表87 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

※生涯学習活動とは
学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等の学習。

● “そう感じる”が35.1%、“そう感じない”が22.4%。

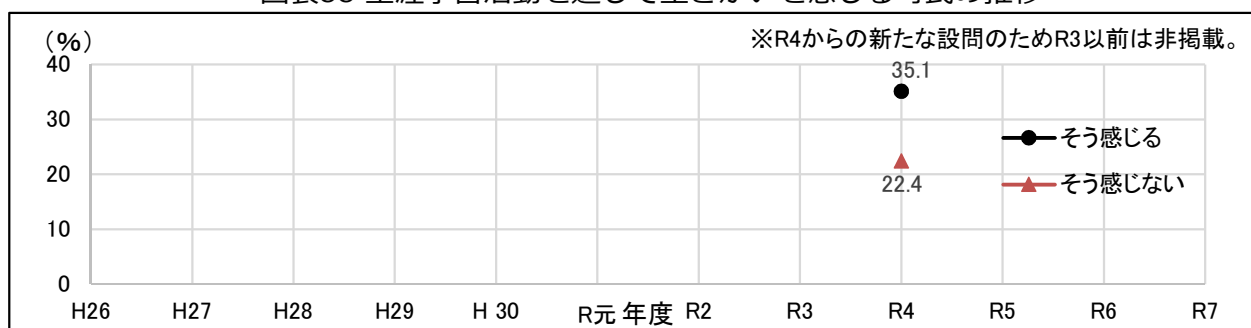
（そう感じる 9.0%
どちらかといえばそう感じる 26.1%）

（そう感じない 9.8%
どちらかといえばそう感じない 12.6%）

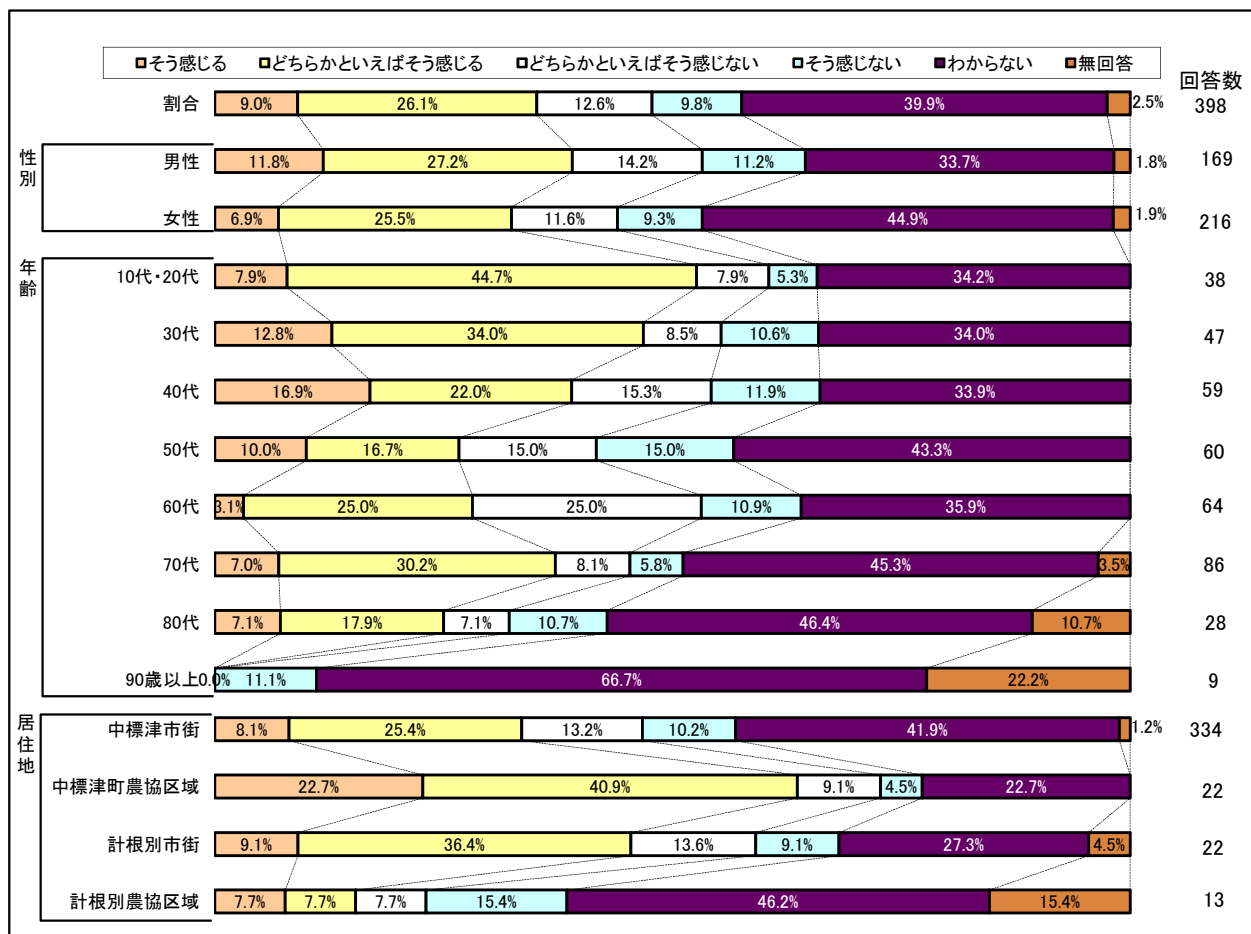
「そう感じる」（9.0%）と「どちらかといえばそう感じる」（26.1%）をあわせた“そう感じる”人は35.1%となりました。

性別では男性（39.0%）が女性（32.4%）より高くなり、年齢別では10代・20代（52.6%）で最も高くなり、年齢が若い方が“そう感じる”割合は高い傾向が見られました。居住地別では中標津農協区域（63.6%）が最も高く、計根別農協区域（15.4%）が最も低い結果となりました。【図表89】

図表88 生涯学習活動を通して生きがいを感じる市民の推移



図表89 生涯学習活動を通して生きがいを感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が35.9%、“取り組んでいない”が60.1%。

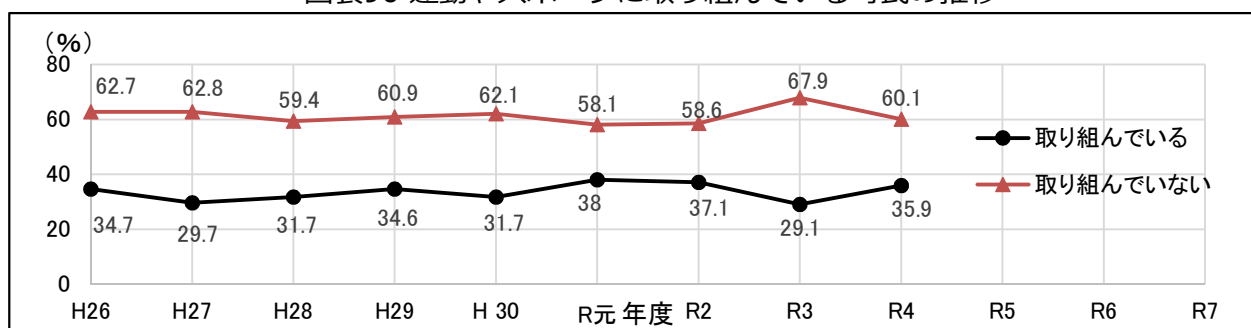
取り組んでいる 17.8%	取り組んでいない 33.2%
どちらかといえば取り組んでいる 18.1%	あまり取り組んでいない 26.9%

「取り組んでいる」（17.8%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（18.1%）をあわせた“取り組んでいる”人は35.9%となりました。

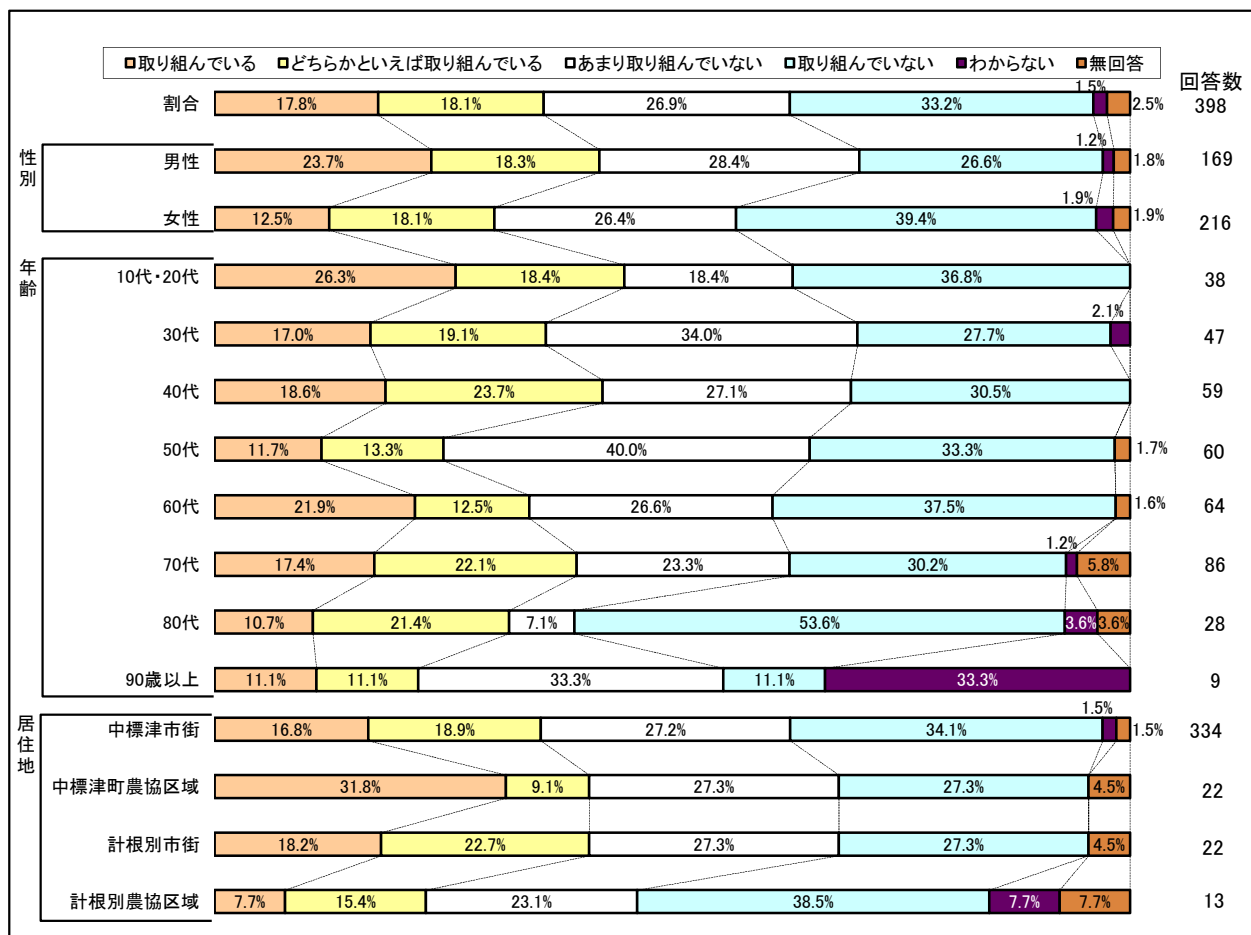
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表90】

性別では男性（42.0%）が女性（30.6%）より高くなり、年齢別では10代・20代（44.7%）が最も高く、次いで40代（42.3%）、対して“取り組んでいる”人が少ない年代は、90歳以上（22.2%）、50代（25.0%）となっています。【図表91】

図表90 運動やスポーツに取り組んでいる町民の推移



図表91 運動やスポーツに取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が15.3%、“取り組んでいない”が78.1%。

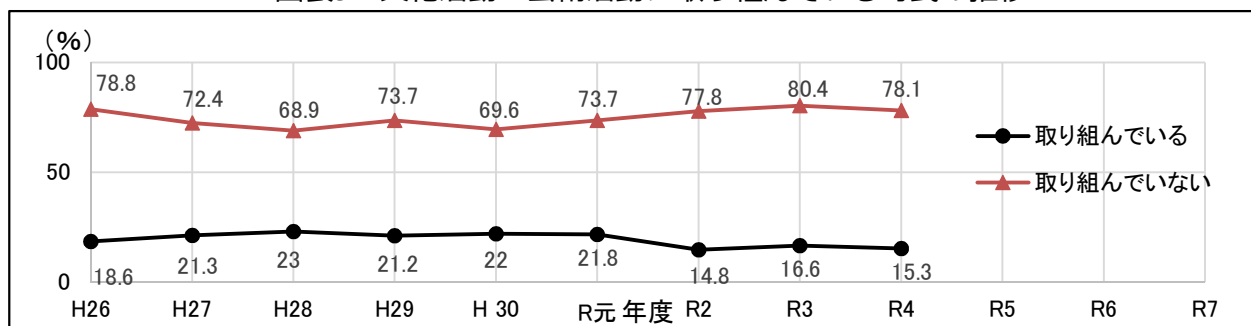
取り組んでいる 6.0%	取り組んでいない 52.5%
どちらかといえば取り組んでいる 9.3%	あまり取り組んでいない 25.6%

「取り組んでいる」（6.0%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（9.3%）をあわせた“取り組んでいる”人は15.3%となりました。

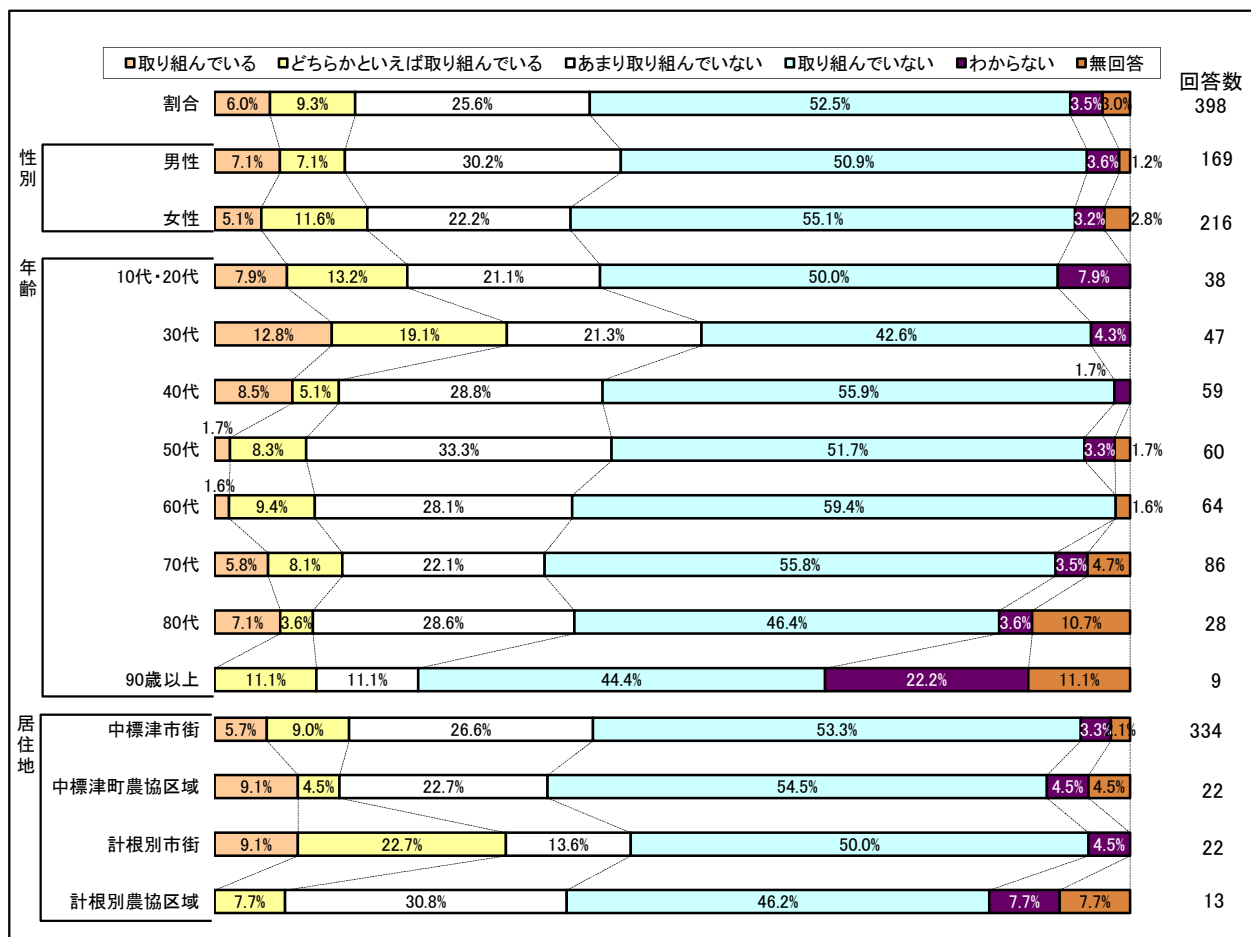
これまでの推移を見るとR2以降低い水準で推移していることが分かります。【図表92】

性別では女性（16.7%）が男性（14.2%）より高くなり、年齢別では30代（31.9%）が最も高く、次いで10代・20代（21.1%）となっています。居住地別では計根別市街（31.8%）が最も高い結果となりました。【図表93】

図表92 文化活動・芸術活動に取り組んでいる町民の推移



図表93 文化活動・芸術活動に取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

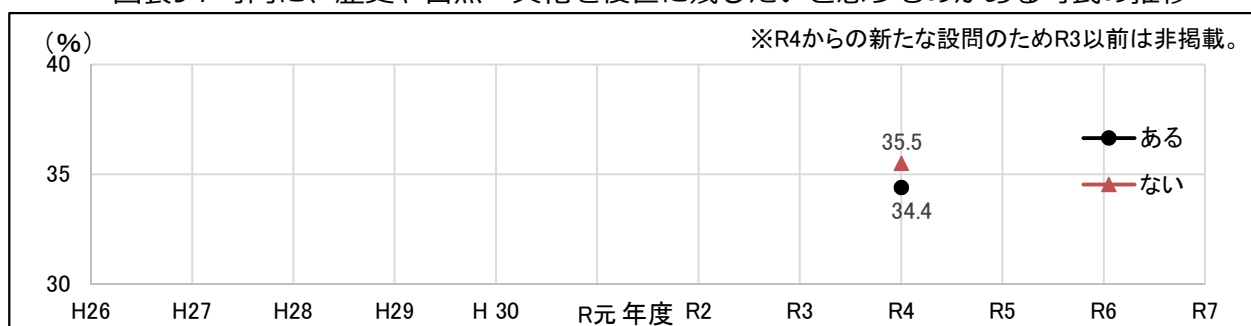
● “ある”が34.4%、“ない”が35.5%。

ある 15.8%	ない 20.4%
どちらかといえばある 18.6%	どちらかといえばない 15.1%

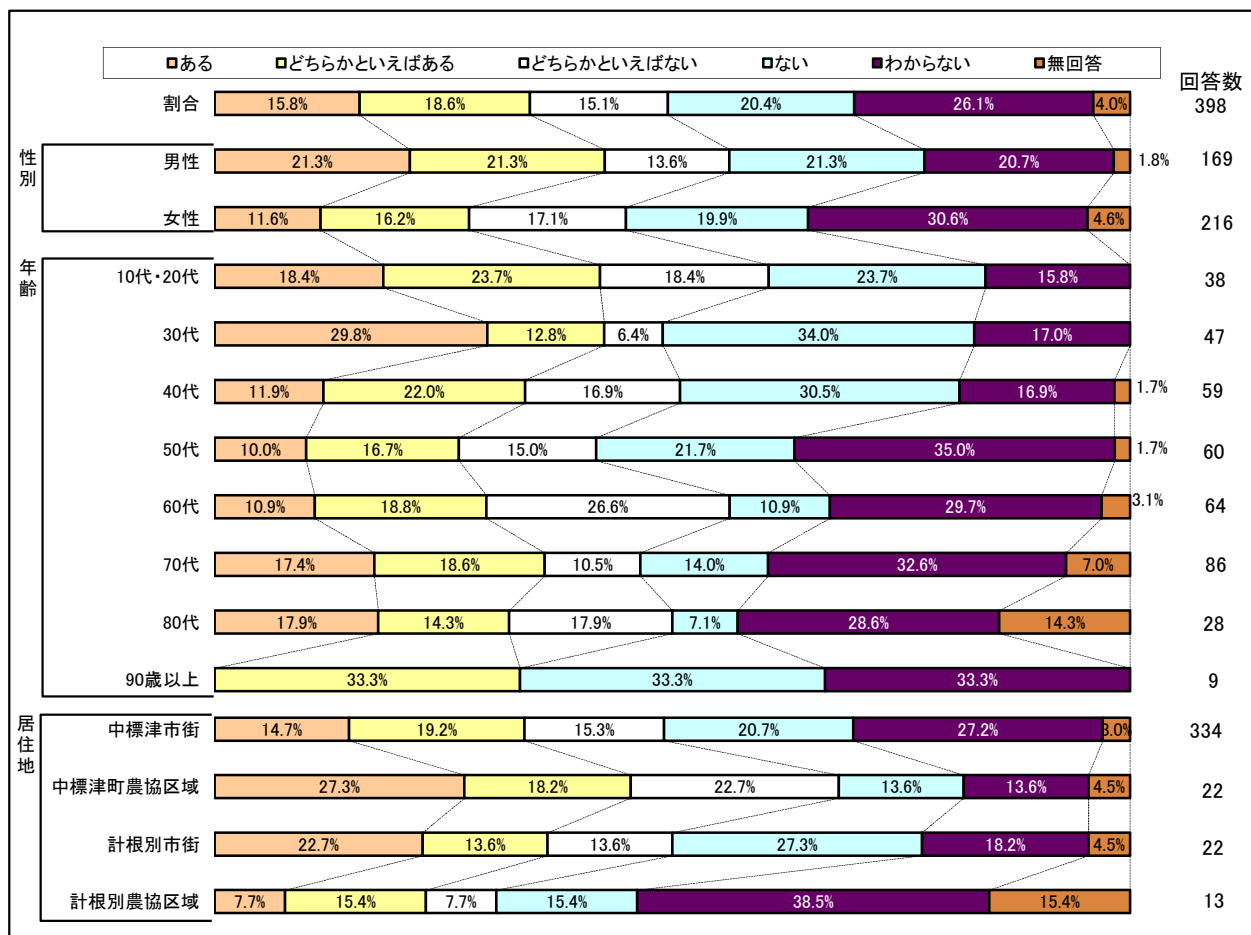
「ある」（15.8%）と「どちらかといえばある」（18.6%）をあわせた“ある”人は34.4%となりました。

性別では男性（42.6%）が女性（27.8%）より高くなり、年齢別では30代（42.6%）が最も高く、次いで10代・20代（42.1%）となっています。居住地別では中標津農協区域（45.5%）が最も高い結果となりました。【図表95】

図表94 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがある町民の推移



図表95 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがあるか（全体、性別、年齢、居住地）



問40 第7期中標津町総合計画では、まちづくりの基本理念として、
「住む人がつながるまち」、「そとの人とつながるまち」、「しごとが
つながるまち」、「まわりの自治体とつながるまち」の4項目を掲げ、具体的な目標として
下記を設定しました。それぞれについてあなたが感じる町の達成度合いをお聞
かせください。

【目標1】 町民・団体・企業・行政の協働

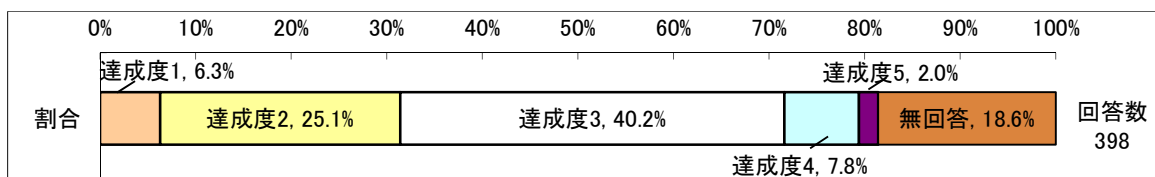
⇒町民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が対話・連携によりお互いを補い合う
協働のまちづくりを進めます。

平均達成度

2.7

図表96 横断的目標1の達成度

※達成度：1（低い）～5（高い）



【目標2】 関係人口・交流人口の拡大

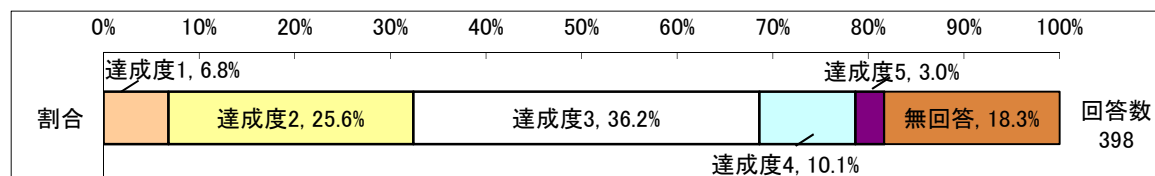
⇒より多くの人が集まり、関わり、交流する賑わいのあるまちづくりを進めます。

平均達成度

2.7

図表97 横断的目標2の達成度

※達成度：1（低い）～5（高い）



【目標3】 横断的連携の強化

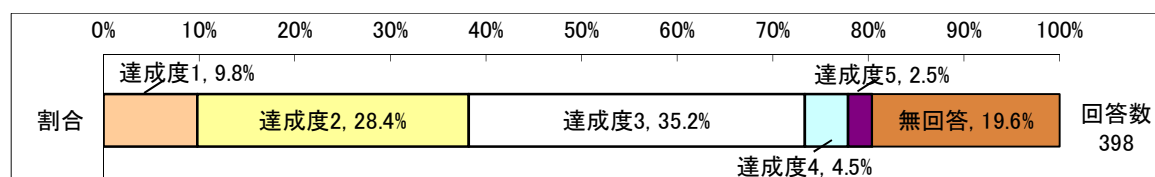
⇒あらゆる主体や行政組織がそれぞれの分野・固定概念に縛られず、垣根を超えた効果的
・効率的な連携により町の活性化につながるまちづくりを進めます。

平均達成度

2.5

図表98 横断的目標3の達成度

※達成度：1（低い）～5（高い）



【目標4】 広域連携の強化

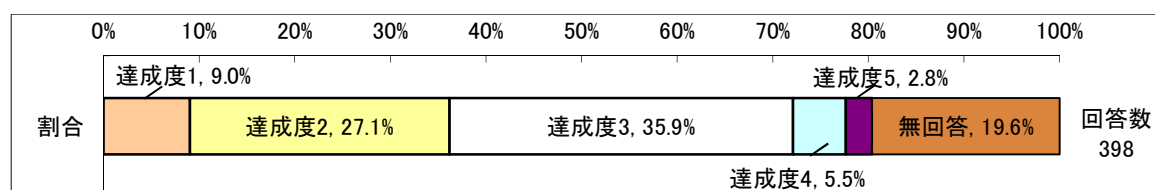
⇒近隣自治体等との広域連携を強化し、広域的な活性化や町単独では対応できない課題へ
対応するまちづくりを進めます。

平均達成度

2.6

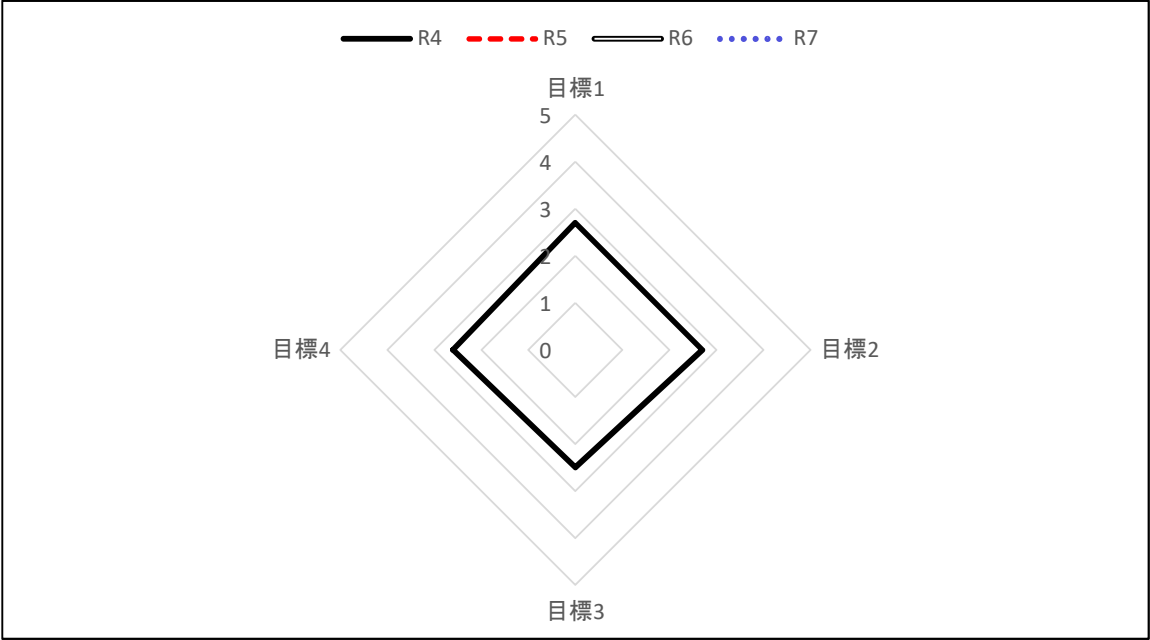
図表99 横断的目標4の達成度

※達成度：1（低い）～5（高い）



目標1～4の達成度をたずねたところ、その平均達成度は目標1・2で「2.7」、目標3で「2.5」目標4で「2.6」となりました。いずれの目標も達成度「3」を選ぶ方が最も多く、次いで達成度「2」を選ぶ方が多い結果となりました。【図表96～99】

図表100 横断的目標の平均達成度の推移



1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述

(1) 自由記述の記入状況

問 あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

自由記述に意見等を記入した人は、72人で、回答者(398人)に対する記入率は、18.1%となりました。

集約した意見を「行財政分野」「健康・福祉・子育て分野」「経済・産業分野」「都市基盤・生活環境分野」「教育・文化分野」の5つの分野で区分し、まとめる
と次のとおりとなります。[図表101]

図表101 自由記述一覧

分野	性別	年齢	意見集約
行財政分野	男性	40歳代	役場の中が少し暗い印象を持ちました。それは働いている方の表情が暗いのです。もちろん明るい方もいらっしゃることも承知しています。ちょっと心配だなと感じました。これからよろしくお願いします。 ・おためし居住(おもてなしを重視した)で中標津の住みやすさをもっと知ってもらう。(中標津町の人口を増やす努力)・SNSの得意な人に、上手に町の魅力を発信してもら。(若者、写真加工の上手な人。文章が得意な人。フォロワーの多い人。etc...)・ランニングやウォーキングがしやすい道をもっと増えたらいい。(そのコースのパンフレットができたらしらいい!)・道の駅(ドッグラン併設)があったらうれしい。・オシャレな美容師さんと、カメラマンさんと、レンタル着物屋(ドレス)さんのコラボで中標津のステキなロケーションをバックに、七五三やウエディングphotoの事業があったら面白そう!・使われていない古民家の良さを残しつつ、リノベーションして環境を整え、そこに町外からの居住者を呼び込む。(お店屋さんも◎)(もっと居住者の飲食店が増えたら、新しい風が吹いて(新たなアイデア)たのしもう!!)・体験型アクティビティーみたいなものを中標津でもいろいろやれる様になったら楽しい。(観光客獲得)(初心者の人が山登りや川で遊べる手助けをしてくれるガイドとか。自然をからめたアウトドアのあそび、キャンプ・グランピング・標津川でカヌーとかsupとかできない?!)・SHIRUBEの様なイベントが今後も続いてほしいし生まれてほしい。・しるべつと広場をもっと活用してほしい。(もったいない)フリーマーケットや、ヨガイベントや、キッチンカーや、小売店を集めたイベントなど。・車を置いて、歩いてみてまわれるお店や観光スポットのモデルコースなどが町内に何か所かできたら楽しそう!!! (都会の様にもっと歩きの人が増える町になってほしい。健康のためにも。)・町の景観や文化財をもっとアピールしてほしい。(それを入れた気軽なフォトコンなど。#ハッシュタグでつる。)伝成館や分館でのイベントなど!! (N高橋の白樺並木の活用!! 木を傷めない程度のライトアップウィークを作るとか。歩行者天国のイベントをやるとか。神社の縁日みたいなイベントとか。)・若者(学生も含め)を巻き込む(アイデアや意見、SNSなど)→イベントや宣伝につなげる。・一年草ではなくて、多年草を織り混ぜたナチュラルガーデンを造る。(オシャレなやつ!!) (一流のガーデナーを呼んで、デザインしてもらう)そこにベンチや鳥を呼ぶ小屋を設置して、憩いのスペースに◎お庭目あての観光客も呼べる様に。(その近くにカフェなどのお店があったら最高!!!) (まちでオシャレにガーデンニングしている人達に協力してもらう。意見や育て方など)・町の観光ガイドリストみたいなものが、わかりやすく、かわいく、できたらいい。(絵の得意な人に地図を描いてもらうなど)(東京蔵前でもらった地図がとってもステキだった。)・魅力的なイベントがあった時にシェアできる力(知ってもらう力)が強くなったらもっと人が集まって楽しいものになると思う!! =その連携がいつでもできたらいいのになと感じる。(各お店、若者、SNS、影響力のある人etc)※長々と外的なことばかり書いてしましますすみません。中標津が大好きです!!! まちづくりの意見をつるのを中標津LINEで気軽にできたらいいのになって最後に思いました!!! そうしたら老若男女いろんな意見が集まりそうな気がします。
		50歳代	町の税金を使ってアンケートをしている割にはたいして情報を得られる内容とも思わず、行う意味に若干の違和感と無駄遣い感を感じます。それと、この内容の回答時間を15分と目安している事自体、回答者を愚弄していると思う。そんな簡単に答えられる質問ではないと思う。
		60歳代	行政と町内会活動の連携強化。 もっと、これからの子育て世代の人の話を聞きなさい。今現状は20代・30代・40代の人に町はよりそってない。この現状では、子供は育てられないと思います。町民が役場をあてにしません。役場は、もっと町内会に人が入りたくなるような魅力的なことを考えてほしいです。町内に家は増えてますが町内会に入りません。町内会に若い人がいません。興味が持てる仕組みを作ってください。総務部政策推進課の皆さん、真剣に頑張ってください。宜しくお願い致します。

行財政分野	男性	70歳代	アンケートに頼らない行政運営されることを望みます。 以前にも、この様なアンケートをしたと思います。その結果どうだったのか？それに向けてどう対応したかと言う事です。その内容も知りたいので、記すべきだと思います。望む事はたくさんあります。町運営の介護施設が少ないので多くしてほしい。町運営の永代供養できる墓地を早くしてほしい。運転免許を返納すると他の町では何か特典があるとの事ですが、わが町ではどうなのですか？コロナの関係で病院の方は今回は黒字との事ですが、今後も黒字経営になる様にしてもらいたい。このアンケートが無意味にならない様にお願いします。
		80歳代	行政の皆様ご苦労様です。人口減少は、日本全体の地方自治の課題ですが、何とか企業の誘致を進めて、町の衰退を食い止めて下さい、この街の人口減少が少ないのは、これまでの皆様の努力の賜物と感謝しています。80歳を過ぎた年寄りのじゃれ事とお許しください。いつもありがとうございます。
	女性	10歳代・20歳代	役場などで手続きする時に職員さんがドライな感じがする。別海にいた頃は役場に行くと丁寧に対応してもらえていたんだと感じています。住宅を建設する時、子どもの出産・成長時、他の自治体のような手当てがほしい。小学生の医療費を無償化してほしい。
		30歳代	もっとSNSを使いましょう。カ入れましょう！もっと良くしたいです。Twitter、インスタ、Youtube、tiktok、SNSの時代です。情報を探したい時はネットの時代です。SNS発信してバンバン活用しましょう。お店、イベント、活気があれば住む人が増えます。景観も大事ですが公園ボロボロです！（墓地公園、丸山公園、森林公園）立ち入り禁止遊具！危ないです。330アリーナ、運動公園もっと使いたいです！昼間メインアリーナが空いているのに、ゴール出しをしなければの理由でバスケが夜しかメインアリーナが使えないのが本当に悲しいです。サブアリーナは4つしか使えずすぐあふれています。
			多文化共生政策(留学生、外国人労働者受け入れ推進)を進めるのであれば「外国人参政権の入口」と報道されている「自治基本条例」を見直すべきです。一部自治体では条例廃止の動きも出始めています。多文化共生政策の町民への説明も不十分だと思います。(日本語学校の宣伝を聞かされるだけ)こうした町のあり方を大きく変えてしまう政策は、すべて決まってから宣伝文句を聞かせる様なやり方ではなく、事前に町民にメリット、デメリットを示して理解を得てから進めるべきだったのではないのでしょうか。大変不信を感じております。
			役場職員の指導強化。すぐに回答できない。必要な書類等の連絡不足。二度手間。1つの手続きで1人に対して時間かかりすぎ。閉庁時間近くに行くとイヤイヤな態度で対応。土・日・祝・休日であれば平日しっかり仕事してほしい。一日中座って何をしてるんですか？もっと働くべき。町民のためにと思って仕事をする人はいないですね。なぜ、その職についたのですか？土日祝休日だからですか？町民が町のため人のため、がんばって仕事をしていても役場の職員がだらしない、今後の中標津町はどうなっていくのか不安でしかないですね。毎日もっと、てきぱき仕事、きちんとした回答など、説明ができるように教育してください。町の一番だらしない施設ですよ。
		40歳代	確定申告、待ち時間が長すぎる。期間を限定しないようにしたり、予約ができるようにしてほしい。
		50歳代	町のことに関心がない訳ではありませんが、生活する上で中標津町の発信・シンボル等分かりにくい。何を基盤にしたいですか？老後10年先、20年先、町の姿が見えますか？町の職員の方の考えはあるのでしょうか？
		60歳代	まちづくりのアンケートなのに無作為のたった1,000名でいいのですか？対象者はもっと多くても良いのではないですか。1,000名のアンケートにしたのは何故か知りたいです。 回答時間が15分では終わらなかった。最初主人に忙しいので回答してもらいましたが、“本人が”とありましたので、再度、自分で読み判断しました。はっきりしない、どう判断して良いかわからない項目もあり微妙でした。
			田舎のおばさんであまり色々な人と関わる事がないので、町で取り組んでいる事に疎くて申し訳ないです。中標津もご多分にもれず、人口がジワジワと減少している様に感じますが、次世代を担う人達が、次の世代を生み育てて行かなければ、先は皆さんご存じの通りだと思います。中標津は便利で住みやすい所ですが、はたしてそれだけでいいのでしょうか。住みやすいがゆえに他人と関わらなくてもよくなるし、まわりに気を使わなくてもよくなるし、そのせいか道路はゴミだらけ。郊外の道路はゴミでひどいものです。酪農家は、臭いをまき散らす。そんな町に訪れた観光客は又来たいと思うのでしょうか。色々努力されている事もわかりますが『中標津ってあれもこれもちょっとずつ手を出す』というイメージが強いです。行政やまちづくりにもっと関心を持っていたら書く事も違ってたと思いますが、感じるままに書いてしまいました。(15分どころか2日がかかりました・・・)
		70歳代	町民が安心して暮らせる様に一丸と成り頑張って欲しい。
	無回答	無回答	役場の職員は仕事が出来ないのかしないのか。人事の入替でも引継ぎも満足にできていない。内部を知っている者については不満が多い。再考の余地有りと思う。 先ず、アンケートの質問事項が多すぎます。もう少し考えてください。
健康・福祉・子育て分野	男性	40歳代	他市町村と比較して助成が少なく感じる場面が多い。
		50歳代	医者をもっと充実してほしい。
		70歳代	町に入る税金は集まっているとは言え、益々老人高齢者は増えます。老人高齢者にやさしい目に見える施策を今後共に宜しくお願い致します。

健康・福祉・子育て分野	男性	70歳代	地域センター病院として、大変だと思いますけど将来脳神経外科を開設してはどうでしょうか。入院施設も整ってますので。中標津に脳神経外科がありますが入院施設がないため釧路まで行かなければ高齢者は大変です。高度医療のため、先生はじめ、スタッフを用意するには大変ですが、将来の展望として要望したいと思います。
	女性	10歳代・20歳代	コロナ禍で過ごし方がかなり変わってしまった。マスク着用はもちろんだが、我が家には小さな子供がいるため、日常の生活で刺激になるものや触れあいがなくなってしまった。人はもちろん買い物先でもなんでも「さわっちゃいけない」が当たり前になってしまった。上の子と下の子のときでは違いが大きくありすぎて、また、さまざまな状況が悪い方で、物価は高いが給料は変わらない。そして、町として支援も少ない。子育て世帯だけではなく40代～も経済状況等は厳しく、福祉施設は高く入居しにくい、サービスを受けにくいなど『「高齢化がすすむ」それに合わせた取組』が町として出来ているのか。わたしたちが高齢になっても住んでいたい、住みやすい、生活できるまち、であってほしいと思います。
		30歳代	子育て支援。他町(近隣)の様に。医療費の補助の期間をもう少し長くする(高校生までや中学生まで)等、福祉牛乳等、目に見えて、子育て支援をしてもらっているなど感じる事を考えてほしい。少子化は問題と言いつつも、あまり子供を産んで良かった、この町で子育てがしたいと思える、感じる事がないと思っている人が多いと思います。子育てのしやすい町になってほしい。
			子育てサークルなど、出生後の交流場所がほしい。入園までの預かり(突発的な)の施設の充実。校区予定の中学校に指定のジャージ・制服がないと聞きました。ぜひ、指定で作ってください。高校進学時に郊外へ出る時援助が欲しい。町立病院ももっとレベル上げてほしい。出張医の先生も時間におわれているのか全然診察の内容が納得できません。健康診断や通院時など町立しかないので行きますが、全体的な病院のレベル上げてほしいです。妊婦や乳幼児がいると釧路への通院が辛いです。西の方にも(俣落遠くて)児童館(みらい館)のような施設がほしいです。
			3歳未満の保育料の助成や、子育て家族の支援などがほしい。他の町(標津町)などと比べると何もないので。土地代の補助など…。やはり、お金の面の助成があると嬉しいです。
		60歳代	どうしてもコロナ禍の中、どう活動していけばいいのか。どう参加していいのかわかりません。今はがまんの時なのでしょう。子供達との係わり方、親として、どう対応してよいか。自分は良いと思って相手も良く思わないとか、いろいろと制限されているのが実態です。活気のある生活に早く戻りたいです。役場の方々も苦労がたえないと思いますが、どうぞ無理をせずに、ゆっくりと元の生活をとり戻せるよう、イベントなどをお願い致します。
			・医療、循環器、脳神経外科、耳鼻科etcを増やしてほしい。・交通充実してほしい。バスの本数を増やす。70歳以上交通料金無料にするとか。・商店、企業。・サークル活動がもっと増えたらいいと思う。・リサイクル類(衣類、くつ、バッグ、etc)入れるBOX設置し、再利用してほしい。⇒再利用する施設があったらいい。・子供、高齢者、障がいのある人が生活しやすいのが、住みやすい町になるのではないかと考えます。子供、高齢者、障がいのある人の立場、目線で、何が不足でどうしたら良くなるのかを実行していくことが第一歩と考えます。・大学、専門学校etcができれば人口も増えていくと考えます。・産業の活性化。・農業、酪農業の活性化。・独居の方の支援活動。(独居の方が増えているように感じる)・情報発信の工夫。(パソコン、スマートフォンが苦手な方もいると思う。)・福祉施設の充実。
			中標津町は買物などは比較的しやすく空港もあり過ごしやすいと思うが、高齢になって車の運転ができなくなったり病気になるったりすると不安な町です。TEL1本でハイヤーが来てくれたり交通費のサービス券があったり、病院の料を充実させたり、他の町への通院をしやすくさせたり、高齢者が楽しめるサロン・文化活動・医療付介護施設の充実を希望します。
	80歳代		老人が集まって楽しめる行事を増やしてほしい。
			「中標津は福祉の町」といっているがそうではない。そう話していた友人、母親と2人暮らしだった。親戚がいなく老人をかかえ不安だったのだろう。まわりには数名の友人もいて常に声をかけ交流もしていたが、それでも不安の日々だったようだ。中標津を去った。中標津町では現在孤独死・いじめ等を聞いていない。うれしい。個人プライバシーととても難しい問題があり、ふみこめないこともあるだろうが、民生委員の活動はどうなっているのだろう。児童民生委員の活動は見えているが…。中標津は大好きです。
経済・産業分野	男性	10歳代・20歳代	私は中標津、別海は酪農だと思っている。日本酪農のメッカと言っても良い。そのため中標津、別海には、その中心となるべく、様々な酪農にかかわるイベントや施設を整えて、全国から酪農に関わる人々が訪れる場所を目指すべきと思う。具体的には、酪農技術・知識にかかわるイベント(セミナー)をしかけ、全国から技術者・酪農家を呼び込む。8月末には独自勉強会を予定し、全国から人が来るようにしてある。多くは飛行機で来町する。牛に関わるミュージアムを作りたい。アメリカにはある。そこで、酪農の歴史、牛の事、搾乳、哺乳などの体験もできる。酪農の町をアピールするイベント、施設をしかけメッカにしたい。
		40歳代	雇用についてのセミナー案内が届きますが、経営者として求められているものと違う。また、ラジオなどは防災・防犯の手段というより今はエンターテイナーやバラエティ化してしまった様な気がする。なので町の情報入手手段としていざと言う時に活用してもらう為の手段を周知してもらうには、もう少し内容を変更してほしいと思っています。文化会館で行われるイベントもターゲットが低年齢化しているので幅を広げたら良いかも。大型商業よりも旧商店(古くから地元で経営する地元店)を大事にする活動を！それが地元民が地元根付く根源になるのでは？と思います。
		60歳代	道の駅を立ち上げて、中標津町のPRに努めていただきたい。

経済・産業分野	男性	70歳代	農業の本当の素晴らしさを忘れ、規模拡大に走り家族経営の限界を超えてしまっていて苦労している農民が増加しているのではないかと感じています。農業の本当の素晴らしさを取り戻す努力をすべき時代が来ていると感じています。農村人口をこれ以上、減らさないことを国や道とも、知恵を出し合って対応していただきたい。
		80歳代	私が中標津町に来た時、酪農家の方々が野菜づくりをしていない事におどろきました。土地があるのに野菜を作らず買っている？野菜づくりの普及に努めました。今ではあたりまえ…。まだまだ広大な土地が無駄に使われている様に思います。行政として他地方他国々の事例、作物等、中標津町で作れる作物等の発掘、開発も必要ではないですか。農業、酪農は農家、農協まかせ、工業、商業は商工業者まかせでは町の指導性は見えません。一考願いたいと思います。政策推進課同様、町開発研究課の様な、先の先を見つめて発想するプロジェクトチームがあっても良いと思うのですが。
	女性	10歳代・20歳代	取組などではありませんし、何もわからない20代なので、何をすれば良いのかもわかりませんが、もっと活気のある町になってほしいと思っています。道外の方より、中標津は住みやすい町(道内の中で)と、評価されているようなので、様々な取組次第でもっと良い町になっていけると 생각합니다。観光地や特産品などは多くあると思うので、そこをPRしつつ、大きな町になってほしいと願っています。(行政や町づくりではなく申し訳ありません。)
		70歳代	中標津町温泉めぐり一月に1回無料(全国に拡散すると良い)商工会で年に何回か買物物産展と子供買物店バザー(5%引き全商品)(例)野菜デイ、魚デイ、肉デイ、チャリティショー、他の地域にバスで買物ツアー、芸術ツアー他。コロナなくなりましたら。外国ツアー直行(いける方全員)1.イタリア、2.他
	無回答	40歳代	街のにおいを無くしてほしいです。窓も開けられず外に洗濯物を干す事ができません。頭痛がする時もあります。中標津町＝くさい町と他の町に住んでいる親族から言われます。どうにかありませんか。
都市基盤・生活環境分野	男性	10歳代・20歳代	共用のお墓が欲しいです。(無縁ではなくきちんと名前を刻んだもの)理由として、子供が少ない現代、個人(各家)でお墓(納骨堂)を持ってもそう遠くない将来それを引き継ぐ子供が地元に住まない可能性が高く町で「共同のお墓」に入れてもらえるとお墓も粗末にならないと考えます。宗教、宗派の違い等色々な問題があると存じますが何とか実現して下さいますようお願い致します。費用についてはある程度の負担は必要ではと考えます。
		30歳代	イベントが増えて欲しい。鉄道会社を誘致して欲しい。
			・0歳児を保育してもらえる施設があると良いです。・よく公園へ子供をつれて行きますが、犬のフンがそのままだったり、遊具にごみがあったり、環境が良くない場所もあるので、子供が遊びやすく、衛生的な環境がどの公園も整っていたら良いと思います。・公園によっては駐車スペースが全くないところもあるので、確保していただけるとありがたいです。・年内に新居を建設予定です。家の前の道路を舗装にしてほしいです。舗装が割れているところもあるので整備してもらえるとありがたいです。
		40歳代	適切な場所に信号の設置を希望したいです。トーヨーグランドホテル側からビッグハウス側への道路、横断歩道が2か所あるがどちらも交通量が多く、子供が横断するのに危険です。白線も薄くなっています。警察署に問い合わせしたら個人での信号設置の要望では難しいと言われました。中標津町は車中心の生活の人が多いですが、子供、老人は徒歩で移動になるので、事故が起きる前に行政で信号設置の対応をして欲しいです。昨年、町内会に加入しましたが加入率の低さにびっくりしました。町内会の役割はまだ必要です。加入率増加するためには行政の協力が必要だと思いました。
		50歳代	交通の取り締まりの強化。通学路等を高速で走る車が多い。高齢者の運転が危険。特に町の中心の道路を80km以上で走る車が多数見られる。非常に危険なので取り締まりを強化してほしい。
			人口減少を止める。町所有の空き地、有効活用、転入者へ無料又は格安で(標津町)。河川敷の丸山公園から東橋までの延長(標茶町)。道の駅の建設。人口減少を止め、税金収入を維持、もっと観光客を呼ぶ事を考え町の活性化。空地は標津町が取り組み、河川敷は標茶町がすばらしいと思います。老人がいきいきしていました。
		70歳代	下水道の清掃。除雪(交差点)の雪を道路に置いていかないで下さい。
			ペットブームという時代、道路にフン尿があり人間の散歩意欲がなくなります。飼い主のマナーを徹底して欲しいです。 市街地公園等空地等に花の咲く大木を植えて、示々に管理しては。春夏秋等に映える木を。連立植をして目立つ物にする。
	女性	30歳代	近所の方も道が悪く困っていると言っていました。 道の管理はどうなっているんだ？と感じます。スーパーなど多い地域なのに一本道に入れば砂利道に。砂利道が穴ボコになれば毎年砂利を上からのせての繰り返し。砂利をのせるお金を舗装にあてて欲しい位です…。中標津町の魅力がどこに行けばわかるのか…。魅力ある所があってもバラバラで一体感がない感じ。ぶちある(街の駅)はなぜあんなに小さいのか。他町・市・県から来てくれた人は街の駅などでその街を知るのももっと真剣に考えてほしい。

都市基盤・生活環境分野	女性	30歳代	・中標津町内に空き家があちこちにあると思いますが、家を建てたい人も毎年一定数いるため、空き家の解体や土地の売買などで、何か町が支援してくれるシステムがあればいいかと思います。・自然が好きなので、子供から大人まで中標津の自然を伝えていけるような施設だったり団体があると良いのではと思います。今年、美幌町の博物館に行ってきましたが、美幌町の博物館は子供にもわかりやすく、そして楽しく、地元の自然を伝えるものがあってとても素晴らしかったです。中標津の自然を後世に伝えていくためにもぜひ！！ご検討願います。・漫画喫茶が欲しいです。漫画もたくさん読めて、何かを勉強しながら(学生は学校の勉強、社会人は資格の勉強等)飲食できるお店が中標津にはないため。・町内の信号にて、歩行者用の信号機がついていない所にも歩行者用の信号機つけてほしいです。主に車で移動しますが、歩行者用の信号機がついていない交差点は黄色の信号で止まりづらいです。(昨年、町内のほくでんの付近の交差点で交通事故を目撃しました。歩行者用の信号機がついていたら事故の発生を防げたのではないかと思います。ほくでんの交差点、北や南の方の道路に歩行者用の信号機がありません。・釧路にはパソコンにてエクセルやワードを学べる教室がありますが、中標津にはたしか無かったと思うので、パソコンに関する事が学べる教室があると良いなと思います。・がん検診にて、厚生労働省の指針で乳がん検診の対象者は40歳以上となっていますが、30歳以上とか、25歳以上とかにできないでしょうか。同級生で30代半ばで乳がんが原因で他界した人がいます。近年若くしてがんを発症する人が増えてきている気がします。一部自己負担でもかまわないと思いますので、がん検診の対象者の年齢引き下げを検討してほしいです。・私の周りで映画館が中標津にほしいと言っている人が何人かいました。・厚岸の子野日(ねのひ)公園(?)に以前あったと思うのですが、大人も子供も遊べるアスレチックがあると良いなと思います。・色々書いていたらみ出て書いてしまいました。わかりづらければすみません。
		40歳代	住みやすい街づくり。中標津のためにありがとうございます。 公共バスの利便性の向上。
		50歳代	バス路線広げてほしいです。料金上げてもいいから。東武からいつもタクシーでホームマックってなんかおかしい。
		60歳代	免許返納に伴う、お年寄りの交通費の町負担とかがあればすごく助かると思います。冬の除雪・排雪ですが、使用している個人のもしくは会社の駐車場に雪をなげている人がいます。結局、自腹で排雪した時もあります。困ったものです。 私の住む町内は自宅の奥の方は新しい家がどんどんふえて昔からの家はあまりなくなり、町内会に入る家はあまりなく、むしろだんだん少なくなっています。もっと増えると良いと思いますが、最近是不幸があってもお寺でやらないせいか町内会からむしろやる家もあります。 高齢者の免許返納について、ある程度の年齢になったら返納を考えているが、返納後の交通手段に不安があります。何らかの補助を望みます。 町外から来ている方々が非常に道路の整備状態が悪く町のイメージがよろしくないとの意見をよく耳にします。標津の街は素晴らしい！！と聞きます。宜しくお願い致します。
		70歳代	年よりが買物などいける様にのりあいタクシーなどを。くらしやすい日々にしてほしいと思います。 税金が高いわりにゴミの収集やバスが充実していない様な気がする。高齢者はダンボールを決められた場所に持っていく事が出来ないで困っている。バスの本数も少ないので車を運転できない高齢者は買い物や用事を足す時にとても不便を感じている。町立病院を受診しても診断に不信感をもつ事もあり、結局釧路まで行って違う診断がくだされ治療のため釧路に通わざるをえないので、医療の充実を希望する。役場の職員の対応には満足している。親切に接して、いろいろ教えて頂いている。 高齢者の免許証の返納後の助成等を考えてほしいと思います。 道路の劣化が激しいので良くしてほしい。よそから来た人に対してもはずかしい。みずぼらしい町に見えるので移住しようとする人もいるでしょう。
		80歳代	このアンケートにつきまして色々勉強になりました。一言、町もいいですが、私達が住んでいる所の道路の事です、道路を作った時にフチにハギを植えてくださったのに、今年の冬に全滅折られて、今はすごい事になってます。毎日の散歩にさびしく思っています。花も命はあると思います。みんな折られて泣いていると思います。町に力を入れる事も良いですが田舎には力を入れてはもらえないのですか。本当に道路にきれいに咲いていたハギの花が、これからもずっとみれないと思うと悲しく思います。ひどい事をしてくれたと思います。何とかお願い致します。 都会にあるような共同お墓を中標津にも早く作ってほしい願っています。
		無回答	10歳代・20歳代 ・スポーツ用品店を増やしてほしい。・子供や大人が遊べる場がもっと欲しい。・このご時世難しいとは思いますがバザーなどの機会がもう少し欲しい。・広い土地をもっと有効活用出来る気がします。・外灯設置。・誰もが目にできるような中標津町に関する情報提供。
	教育・文化分野	10歳代・20歳代	大学誘致！大型商業施設の誘致！
		30歳代	とにかく住みやすさ重視。まちがっても意識高い系のめんどくさい町にはしてほしくない。給食費無償化など、子供たちのためになるよう教育に投資してほしい。町長の給料が高すぎる。時代遅れが実は田舎の良さであるとの認識が広まるといい。スマホを持たない全町民に配り随時操作方法を教え込むべき。

教育・文化分野	女性	40歳代	学校や幼稚園の休校・休園など、日本でも自治体が町民と話し合いアンケートをとったりし、独自に行動を進めている所もある。現に休みばかりにされると親も休まないといけいない。自営者は保障もない。マスクも自由化なのに義務になり、しないと悪口を言われる。「できる人」「できない人」「したくない人」がいる事を考えて町でやってほしいですね。ネットで調べると情報が入ってくると思うので、マスコミやテレビだけではなく、活動している自治体の事を参考にしてほしいです。
			・みどりのふるさと研修舎のトタンがはがれそうで、とても危ないです。修繕をお願いします。・元気クラブ、子どもエコサークルなど、学校外で子どもが活動できる機会を作って下さり、とてもありがたいです。(キッズベーシックスイムなどもとても貴重な機会でした。)※スイミング(小中学生)(町主催のなかしべつSS)がなくなってしまったのが、とても残念です。⇒指導者を確保して、是非復活させてほしいです。・少年団の指導者を探したり、確保するのに苦労しています。子どもたちの健やかな育成のためにも「指導者リスト」みたいなものを作成し、その中から探してほしいができるようにしていただけると、大変ありがたいです。子どもたちの地域離れ、スポーツ離れにならないように町としてやっていただけると嬉しいです。・ふるさと納税をもっと気軽にできるようにするといいなと思います。

IV 参考資料

まちづくり町民アンケート回答用紙

留意事項

1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
2. ご回答は**6月17日（金）**までにお願いいたします。
3. 「その他」を選ばれた場合は、（ ）内にその内容等を回答願います。
4. ご回答方法は「郵送」又は「インターネット」の2通りからお選びいただけますので、下記の回答方法を参考にご回答をお願いいたします。

回答時間 目安

15分

回答方法

1. 郵送による回答の場合

- ①次ページ以降の設問へ回答（該当番号をペン等により○印を記入）
- ②記入した回答用紙を同封の返信用封用に入れ、ポストへ投函（切手は不要）

2. インターネットによる回答の場合

- ①下記からサイトへアクセス



URL : <https://www.harp.lg.jp/YZEcC7IF>

- ②インターネット回答用 ID（下記）を入力
- ③表示されている設問へ回答
- ④最下段の確認ボタンを押す
- ⑤内容を確認し、送信ボタンを押す

インターネット回答用 ID :

※ID は重複回答を防ぐために使用し、回答者を特定するものではありません。

問い合わせ先

中標津町 総務部 政策推進課

電 話 : 0153-73-3111（内線 324）

あなた自身のことについてお伺いします

問 1 それぞれの項目ごとに当てはまる番号1つに○印をつけてください。

(1)性別	①男性	②女性
	③無回答	
(2)年齢	①10歳代・20歳代	⑤60歳代
	②30歳代	⑥70歳代
	③40歳代	⑦80歳代
	④50歳代	⑧90歳以上
(3)職業 (主なもの)	①農林漁業	⑤パートタイム・アルバイト
	②製造業・建設業	⑥主婦・主夫
	③卸小売業・飲食業	⑦無職
	④その他サービス業等 (公務員を含む)	⑧学生・その他
(4)通勤・通学先	①町内	③該当なし・その他
	②町外	
(5)家族構成	①夫婦(子どもはいない)	④単身(あなた1人)
	②親子(2世代)	⑤その他
	③親・子・孫(3世代)	
(6)出身地	①中標津町	⑤道外
	②根室管内	⑥国外
	③道内	
(7)居住地	①中標津市街	③計根別市街
	②中標津町農協区域	④計根別農協区域
(8)居住年数	①1年未満	③5年以上20年未満
	②1年以上5年未満	④20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①感じている | ③どちらかといえば感じていない |
| ②どちらかといえば感じている | ④感じていない |

【自由記述欄】

問 3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①住み続けたい | ③どちらかといえば住みたくない |
| ②どちらかといえば住み続けたい | ④住みたくない |

※①または②を選んだ方にお伺いします。

※③または④を選んだ方にお伺いします。

住み続けたい主な理由は何ですか。
(複数選択可)

住みたくない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①自然が豊かだから
- ②教育環境がよいから
- ③通勤や通学が便利だから
- ④医療や福祉が充実しているから
- ⑤日常の買い物が便利だから
- ⑥生活する環境が便利だから
- ⑦職場があるから
- ⑧親や親戚がいる住み慣れた土地
だから
- ⑨友人など人間関係があるから
- ⑩町の将来に希望がもてるから
- ⑪特に理由はない
- ⑫その他

(具体的に:)

- ①日常の買い物が不便
- ②道路事情や交通の便が悪い
- ③地域の行事や近所づきあいが面倒
- ④子どもの保育・教育のことが心配
- ⑤町内に適当な職場が少ない
- ⑥保健・医療・福祉分野のサービスや
施設が不十分
- ⑦消防・防災・防犯体制に不安を感じる
- ⑧スポーツ施設や文化施設が不十分
- ⑨生活基盤施設の整備が遅れている
- ⑩コミュニティ活動など住民の交流がない
- ⑪情報通信基盤が整っていない
- ⑫その他

(具体的に:)

まちの取り組みについてお伺いします

問 4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①関心を持っている | ③どちらかといえば関心を持っていない |
| ②どちらかといえば関心を持っている | ④関心を持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

※③または④を選んだ方にお伺いします。

特にどのような情報が不足していると感じますか。

(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①まちの計画や取り組みに関する情報 | ⑤防災情報 |
| ②支援制度に関する情報 | ⑥情報発信の中身がわかりづらい |
| ③役場での手続きに関する情報 | ⑦情報発信の手段が不足している |
| ④イベント開催情報 | ⑧その他
(具体的に:) |

問 6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 7 あなたは町内会に加入していますか。

(1つに○印を付けてください)

①加入している	②加入していない
---------	----------

※①を選んだ方にお伺いします。

加入している主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①いざという時の助け合いのため
- ②地域コミュニティに参加するため
- ③勧誘されて断れなかったため
- ④人づきあいが好きのため
- ⑤様々な情報が得られるため
- ⑥以前から加入している
- ⑦特に理由はない
- ⑧その他
(具体的に:)

※②を選んだ方にお伺いします。

加入していない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①必要性を感じないから
- ②会費の負担があるから
- ③町内会役員等の仕事を避けたいから
- ④近所づきあいが面倒だから
- ⑤加入の方法がわからないから
- ⑥勧誘に来なかったから
- ⑦特に理由はない
- ⑧その他
(具体的に:)

問 8 国際交流、地域間交流(他の市町村との交流)が行われていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問10

男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参加できていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

※③または④を選んだ方にお伺いします。

そう感じない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

①男女の固定的な役割分担がある	⑤男女問わず能力に応じて評価されない (キャリアを築けない)
②女性が働きたい職種が不足している	⑥出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない
③女性が働きやすい労働環境が整備されていない(休暇制度・採用等)	⑦女性の意見が言いにくい風潮がある
④男女で就労条件に差がある(給与面等)	⑧その他 (具体的に:)

問11

男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

(複数選択可)

①女性の働きたい職種の充実	⑥男女の固定的な役割分担など意識解消に向けた啓発
②女性が働きやすい労働環境の整備(休暇の種類充実、採用面等)	⑦保育や介護サービスの充実
③女性の就労条件(給与面等)など企業への啓発	⑧町の審議会や委員会などへの女性の登用
④男女問わず能力に応じて評価される環境の整備	⑨女性のための相談窓口の充実
⑤女性のための職業訓練機会の提供	⑩その他 (具体的に:)

問12

情報通信機器(スマートフォンやパソコン等)を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

(1つに○印を付けてください)

①ある	②ない
-----	-----

※①を選んだ方にお伺いします。

主に何からまちの情報を取得しますか。
(複数選択可)

①広報紙・チラシ折込	④役場窓口・電話
②FMラジオ	⑤知り合い・家族から
③町ホームページ・SNS	⑥その他 (具体的に:)

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

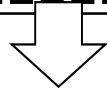
【自由記述欄】

問16

あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。

(1つに○印を付けてください)

①現在参加しているし今後も参加したい ②現在参加していないが今後は参加したい	③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない ④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない
---	--



※①または②を選んだ方にお伺いします。

あなたは、今後(今後とも)どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。
(複数選択可)

①町内会や自治会などの活動	⑩高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
②公園・道路の清掃や花壇の世話	⑪通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
③自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	⑫募金や寄付、バザー等に関する活動
④農協や商工会などの活動	⑬地域づくりやまちおこしに関する活動
⑤老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	⑭自主防災や災害援助に関する活動
⑥子育て支援に関する活動	⑮交通安全に関する活動
⑦PTA、青少年の健全育成に関する活動	⑯パトロールなど防犯に関する活動
⑧教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	⑰外国人住民との交流
⑨伝統芸能の保存に関する活動	⑱その他 (具体的に:)

問17

町立病院の医療体制に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

①満足している	③どちらかといえば満足していない
②どちらかといえば満足している	④満足していない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問19 地元の農畜産物(乳製品、肉、野菜、加工品等)を身近に感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ①参加したいと思う | ③どちらかといえば参加したくない |
| ②どちらかといえば参加したいと思う | ④参加したくない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①持っている | ③どちらかといえば持っていない |
| ②どちらかといえば持っている | ④持っていない |
| ⑤わからない(回答無効) | |

【自由記述欄】

問23 雇用対策(通年雇用、雇用の創出・確保等)に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| ⑤わからない(回答無効) | |

【自由記述欄】

問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| ⑤わからない(回答無効) | |

【自由記述欄】

問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| ⑤わからない(回答無効) | |

【自由記述欄】

問26 公共交通(バス)を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問28 日頃から家庭で災害(地震や風雪災害など)への備えをしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。

(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ①広報中標津 | ④コミュニティFMラジオを活用した防災放送 |
| ②中標津町緊急情報メール「キキボウ」 | ⑤テレビ |
| ③インターネットやスマートフォン | ⑥その他
(具体的に:) |

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------|--------------|
| ①参加している | ③あまり参加していない |
| ②たまに参加している | ④参加していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問32 日頃から環境問題(温暖化、省エネルギー、ごみ減量等)について意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問33 3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生使用)をしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問35 らいふまっぷ(生涯学習情報誌)・社会教育施設ホームページに満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

(1つに○印を付けてください)

※生涯学習とは

一般には人々が生涯に行うあらゆる学習を意味します。

すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|--------------|
| ①取り組んでいる | ③あまり取り組んでいない |
| ②どちらかといえば取り組んでいる | ④取り組んでいない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|--------------|
| ①取り組んでいる | ③あまり取り組んでいない |
| ②どちらかといえば取り組んでいる | ④取り組んでいない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------|--------------|
| ①ある | ③どちらかといえはない |
| ②どちらかといえばある | ④ない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

第7期中標準津町総合計画では、まちづくりの基本理念として、「住む人がつながるまち」、「そとの人とつながるまち」、「しごとがにつながるまち」、「まわりの自治体とつながるまち」の4項目を掲げ、具体的な目標として下記を設定しました。それぞれについてあなたが感じる町の達成度合いをお聞かせください。

目標1 町民・団体・企業・行政の協働

町民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が対話・連携によりお互いを補い合う
協働のまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array of five cells, each containing a number from 1 to 5. Above the array is a long double-headed arrow spanning the entire width of the five cells, indicating the range of the array.

目標2 関係人口・交流人口の拡大

より多くの人が集まり、関わり、交流する賑わいのあるまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array of five cells. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width. The cells are labeled with the numbers 1, 2, 3, 4, and 5 from left to right.

目標3 横断的連携の強化

あらゆる主体や行政組織がそれぞれの分野・固定概念に縛られず、垣根を超えた効果的・効率的な連携により町の活性化につながるまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array of five cells, each containing a number from 1 to 5. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width of the five cells, indicating the range of the array.

目標4 広域連携の強化

近隣自治体等との広域連携を強化し、広域的な活性化や町単独では対応できない課題へ対応するまちづくりを進めます

低い 達成度 高い

A diagram showing a horizontal array with five cells. Above the array is a double-headed arrow spanning the entire width. The cells are labeled with the numbers 1, 2, 3, 4, and 5 from left to right.

【自由記述欄】

あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

【自由記述欄】

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいたアンケートは6月17日(金)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】シラカバ



【町の花】エゾリンドウ

«発 行» 中標津町 総務部 政策推進課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153)73-3111 FAX (0153)73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～ 住みたいまち 住み続けたいまち ～